第４　県内の特定事故の発生状況

１　死亡事故

(1)　発生件数、死者数

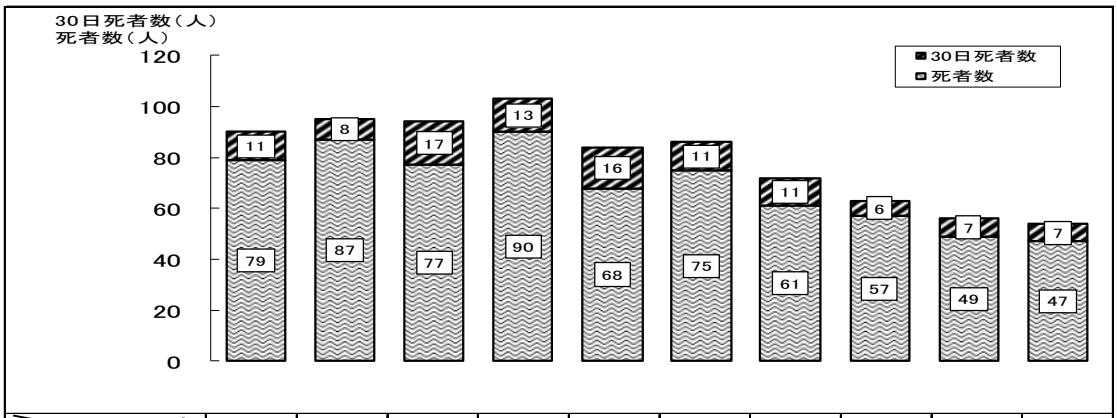
令和４年の死亡事故は、前年に比べ発生件数、死者数とも減少した。

発生件数　　46件（前年比　　－２件　　4.2%減）

死者数　　47人（前年比　　－２人　　4.1%減）

過去10年間の推移をみると、死者数に増減はあるものの減少傾向にあり、令和４年では平成25年の６割まで減少している。

（単位：件・人）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件数		76	82	77	88	64	74	60	54	48	46
	指数	100	108	101	116	84	97	79	71	63	61
死者数		79	87	77	90	68	75	61	57	49	47
	指数	100	110	97	114	86	95	77	72	62	59
人口10万人あたりの死者数		4.1	4.5	4.0	4.7	3.6	4.0	3.3	3.1	2.7	2.6
	指数	100	110	98	115	88	98	80	76	66	63
30日死者		11	8	17	13	16	11	11	6	7	7

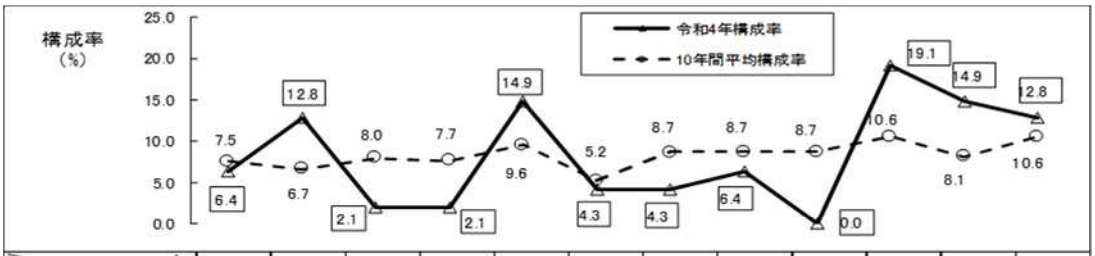
(2)　死亡事故の特徴

ア　月　　別

死者は、10月が最多の９人、最少は９月の０人となっている。

月間死者数の構成率が過去10年間の各月平均を上回ったのは２月、５月、10月、11月、12月となった。

（単位：人・%）



区分＼年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
令和4年死者数	3	6	1	1	7	2	2	3	0	9	7	6
構成率(%)	6.4	12.8	2.1	2.1	14.9	4.3	4.3	6.4	0.0	19.1	14.9	12.8
10年間平均死者数	5.2	4.6	5.5	5.3	6.6	3.6	6.0	6.0	6.0	7.3	5.6	7.3
構成率(%)	7.5	6.7	8.0	7.7	9.6	5.2	8.7	8.7	8.7	10.6	8.1	10.6

イ　時間別・曜日別

時間別では、17時～18時の７人が最も多くなっている。

曜日別では、金曜日が最多の10人、月曜日が最少の４人となっている。

（単位：人）

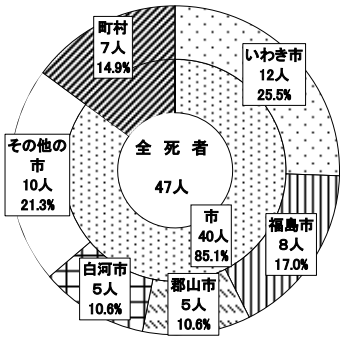
時間／曜日	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	合計
日		1									1			1	1			1			1				6
月		1								1	1			1											4
火		1			1		1	1	1						1	1			1						8
水											2							3	1					1	7
木						1								1				2	1	1					6
金									1	2			1	2	1			1	1				1		10
土			1									1					1		1			1		1	6
合計	0	3	1	0	1	1	1	1	2	3	4	1	1	5	3	1	1	7	5	1	1	1	1	2	47

ウ　市町村別

死者数の最も多い市町村はいわき市が12人、次いで福島市が８人、郡山市と白河市が５人の順に多い。

また、市部全体の死者数は40人で、全死者の85.1％を占めている。

市町村別

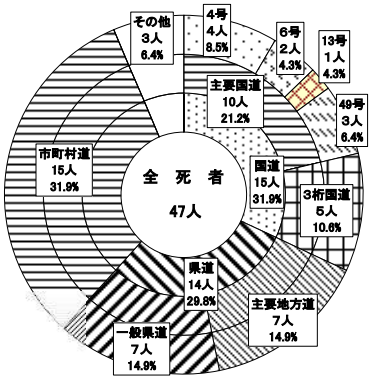


エ　道路別、道路線形別、形状別

（ｱ）　道路別

市町村道と国道での死者がともに15人（31.9％）で最も多く、次いで県道14人（29.8％）となっている。

道路別



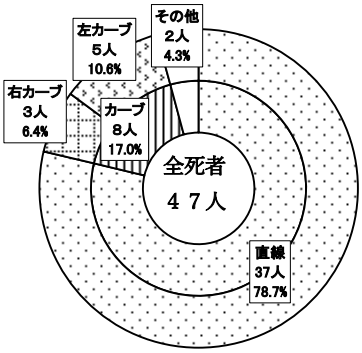
（ｲ）　道路線形別

直線道路での死者は37人で全死者の78.7％を占めカーブでの死者は８人で、うち右カーブが３人、左カーブが５人となっている。

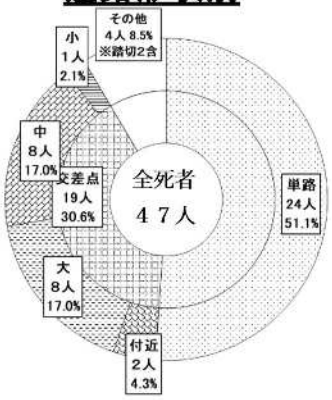
（ｳ）　道路形状別

単路での死者は24人で全死者の51.1％を占め、交差点での死者は19人で30.6％を占めている。

道路線形別



道路形状別



（注）
大交差点
　道路幅員13m以上
中交差点
　道路幅員
　　5.5m以上13m未満
小交差点
　道路幅員5.5m未満

オ　第１当事者別（46件）

(ｱ)　車種別

普通乗用車の事故が17件で全死亡事故の37.0％を占め最も多く、次いで軽乗用車11件、軽貨物車６件の順となっている。

(ｲ)　年齢別

70代による事故が10件で最も多く、次いで50歳代が９件、40歳代が７件、30歳代、20歳代が５件の順になっている。

（単位：件）

当事者／年齢		乗用車 大型	乗用車 中型	乗用車 準中型	乗用車 普通	乗用車 軽	貨物車 大型	貨物車 中型	貨物車 準中型	貨物車 普通	貨物車 軽	特殊車	二輪車 自動二輪	二輪車 原付	自転車	歩行者	その他	合計
16歳未満																		0
16～19歳					1	1												2
20歳代	20～24歳				1	1			1									3
	25～29歳				1						1							2
30歳代	30～34歳				1													1
	35～39歳				1	1			1					1				4
40歳代	40～44歳				2				1									3
	45～49歳				2	1			1									4
50歳代	50～54歳				3		1			1		1						6
	55～59歳		1		1		1											3
60歳代	60～64歳				2						1							3
	65～69歳					1					3							4
70歳代	70～74歳				2	4		1	1									8
	75～79歳					1					1							2
80歳以上						1												1
その他（当事者不明）																		0
合計		0	1	0	17	11	2	1	5	1	6	1	0	1	0	0	0	46
内数	子ども 幼児																	0
	子ども 小学生																	0
	子ども 中学生																	0
	高校生																	0
	高齢者				2	7		1	1		4							15
	男性		1		15	6	2	1	5	1	5	1	1					38
	女性				2	5					1							8
	県外居住者				1		1											2

(ｳ)　年齢別・死亡事故発生率

免許人口1万人に対する死亡事故率は、全体の0.4に対して10歳代が1.5と高い。

（単位：件・人）

区分／年齢		男性 免許人口	男性 件数	男性 免許人口1万人当たり事故率	女性 免許人口	女性 件数	女性 免許人口1万人当たり事故率	合計 免許人口	合計 件数	合計 免許人口1万人当たり事故率
青年	10歳代	7,162	2	2.8	5,999	0	0.0	13,161	2	1.5
	20～24歳	36,683	3	0.8	31,699	0	0.0	68,382	3	0.4
	計	43,845	5	1.1	37,698	0	0.0	81,543	5	0.6
25～29歳		38,361	2	0.5	33,440	0	0.0	71,801	2	0.3
30歳代		93,380	4	0.4	83,980	1	0.1	177,360	5	0.3
40歳代		117,768	5	0.4	108,545	2	0.2	226,313	7	0.3
50歳代		116,633	9	0.8	110,706	0	0.0	227,339	9	0.4
60～64歳		61,572	2	0.3	58,301	1	0.2	119,873	3	0.3
高齢者		212,635	11	0.5	153,247	4	0.3	365,882	15	0.4
合計		684,194	38	0.6	585,917	8	0.1	1,270,111	46	0.4

（注１）自転車・歩行者の第１当事者は含まない　　（注２）免許人口は令和４年12月末現在

(ｴ)　車種別、免許経過年数別

運転免許を要しない第１当事者の死亡事故については発生しなかった。

運転免許を要する車両による死亡事故 46 件中、10 年以上経過した者による事故が 38 件で 82.6%を占めている。

（単位：件）

経過年数＼車種		乗用車 大型	乗用車 中型	乗用車 準中型	乗用車 普通	乗用車 軽	貨物車 大型	貨物車 中型	貨物車 準中型	貨物車 普通	貨物車 軽	特殊車	二輪車 小型二輪	二輪車 軽二輪	二輪車 二種原付	二輪車 原付	合計
有資格	1 年 未 満					1											1
	1 ～ 2 年				1												1
	2 ～ 3 年				2				1								3
	3 ～ 4 年					1				1	1						3
	4 ～ 5 年																0
	10 年 未 満								1								1
	10 年 以 上		1		14	9	2	1	3	1	5	1				1	38
免許外･無免許																	0
合　計		0	1	0	17	11	2	1	5	2	6	1	0	0	0	1	47

(ｵ)　違反別

悪質違反による事故が15件となっており、全死亡事故の32.6%を占めている。

違反別でみると安全運転義務違反（前方不注意、安全不確認）がそれぞれ９件と最も多い。

（単位：件）

違反別			件数
車両の違反	悪質違反	信号無視	1
		最高速度	1
		通区・追越	5
		歩行者妨害	6
		一時不停止	2
		酒酔い運転	
	計		15
	横断等禁止		
	車間距離不保持		
	進路変更禁止		
	右折違反		
	左折違反		
	優先通行妨害等		2
	交差点安全進行義務		1

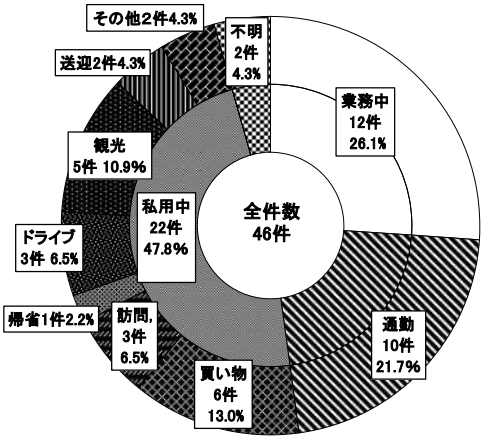
違反別			件数
車両の違反	徐行違反		
	過労等運転		
	安全運転義務	ハンドル操作不適	1
		ブレーキ操作不適	2
		前方不注意	9
		動静不注視	1
		安全不確認	9
		安全速度	
		予測不適	
		その他	
	違反計		22
	ドア開放等		
	その他		2
	計		42

違反別			件数
歩行者の違反	信号無視		
	横断	横断歩道外横断	
		斜め横断	
		走行車両直前直	
		横断禁止場所	
	計		0
	飛び出し		
	その他		
	計		0
不明			4
合計			46
内数（飲酒運転）			2

(ｶ)　通行目的別

業務中に発生した事故が12件と全事故の26.1%通勤が10件と全事故の21.7%を占めている。

私用中に発生した事故が22件と全事故の47.8%を占めており、その中でも買物の６件が最も多く、次いで観光の５件となっている。



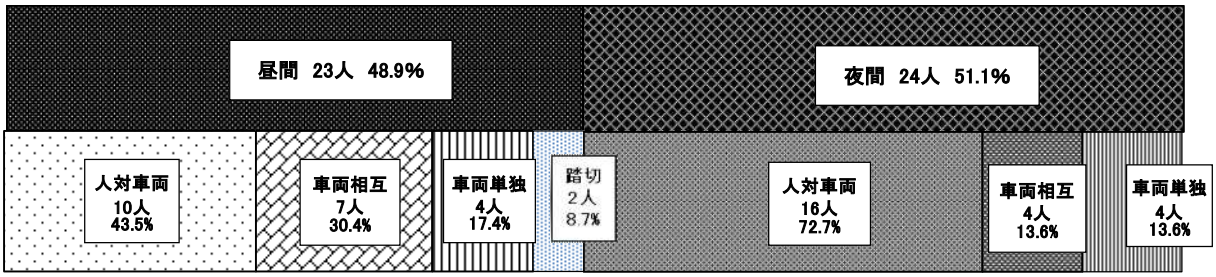
カ　事故類型別死者数

人対車両　　26人（全死者の　55.3%）

車両相互　　11人（全死者の　23.4%）

車両単独　　８人（全死者の　17.0%）

となっており、昼間・夜間ともに人対車両の死亡事故に続き、車両相互・車両単独の死亡事故の割合が高くなっている。

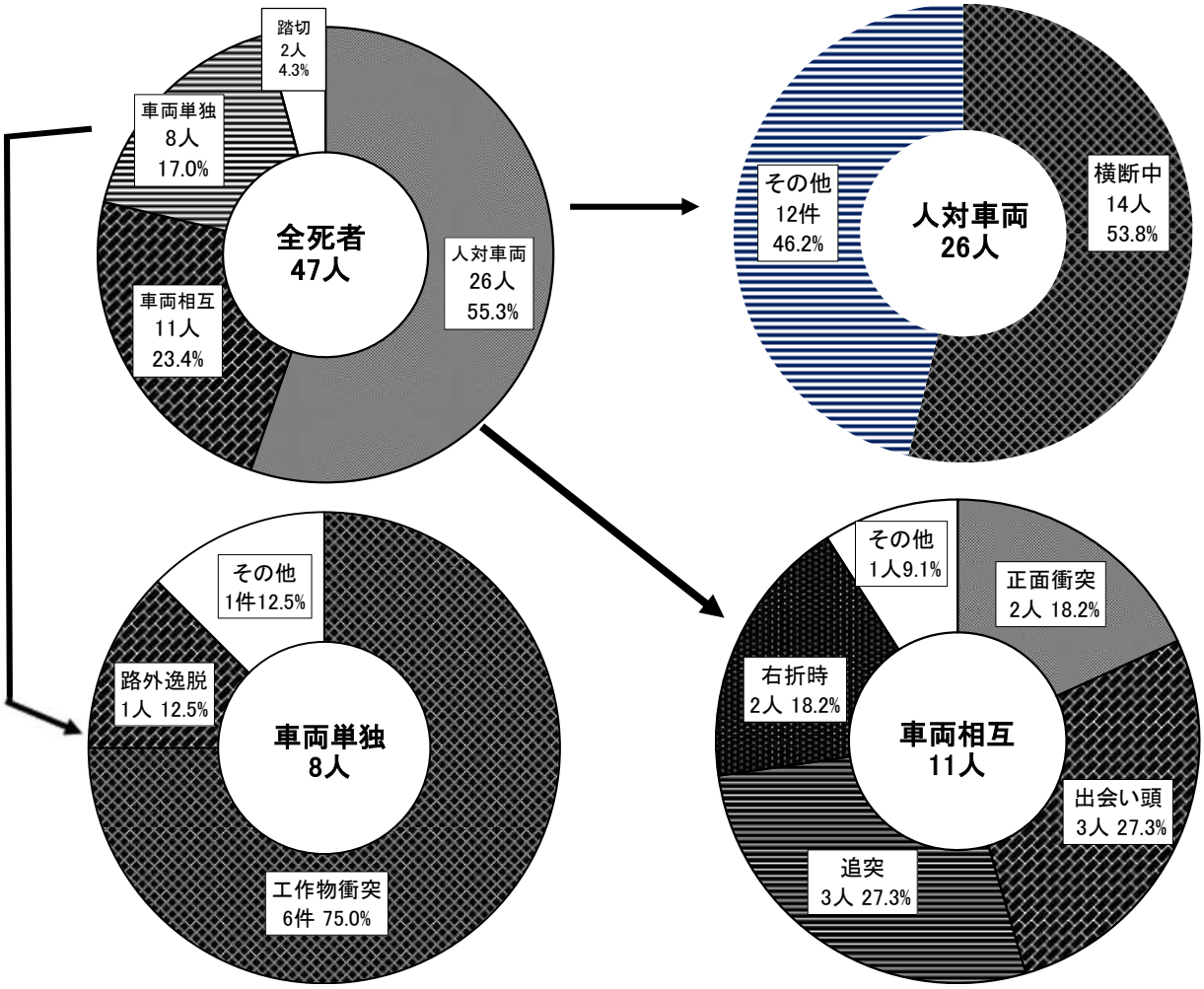


各事故類型でみると

人対車両…横断中が14人と最も多く53.8%を占めている。

車両相互…出会い頭と追突がそれぞれ３人と最も多く27.3%を占めている。

車両単独…工作物衝突が６人と最も多く75.0%を占めている。



(3)　死者の状態

ア　当事者別

歩行中の死者が26人（55.3%）で最も多く、次いで自動車運転の死者が13人（27.7%）、自動車同乗中と自転車乗車中がそれぞれ３人（6.4%）となっている。

（単位：人・%）

区分＼状態	自動車 運転中 1当	自動車 運転中 2当	自動車 同乗	自動二輪 運転中 1当	自動二輪 運転中 2当	自動二輪 同乗	原付 乗車中 1当	原付 乗車中 2当	自転車 乗車中 1当	自転車 乗車中 2当	歩行中 1当	歩行中 2当	その他	合計
死者	12	1	3	0	2	0	0	0	0	3	0	26	0	47
構成率(%)	25.5	2.1	6.4	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	0.0	55.3	0.0	100.0

イ　年齢別・状態別

高齢者の死者は30人（全死者の63.8%）で、うち歩行者の死者は19人と多く高齢死者の63.3%を占めている。

歩行中の死者に占める高齢者の割合は26人中19人（73.1%）と構成率が高くなっている。

（単位：人）

年齢＼状態		自動車 運転中 乗用車	自動車 運転中 貨物車	自動車 運転中 特殊車	自動車 同乗	自動二輪 運転	自動二輪 同乗	原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	合計
16歳未満										1		1
16～19歳												0
20歳代	20～24	1	1									2
	25～29		1									1
30歳代	30～34				1					1		2
	35～39	1				1						2
40歳代	40～44					1				1		2
	45～49									1		1
50歳代	50～54	1	1							1		3
	55～59									1		1
60歳代	60～64								1	1		2
	65～69		2						1	5		8
70歳代	70～74	3	2		1					3		9
	75～79								1	1		2
80歳以上					1					10		11
合計		6	7	0	3	2	0	0	3	26	0	47
内数 子ども	幼児									1		1
	小学生											0
	中学生											0
高校生												0
高齢者		3	4		2				2	19		30
男性		5	6			2			2	12		27
女性		1	1		3				1	14		20

ウ　職業別

無職が23人と最も多く全死者の48.9%を占め、次いでサービス業が８人、運輸・郵便業が３人と多くなっている。

（単位：人）

職業＼状態	自動車 運転中 乗用車	自動車 運転中 貨物車	自動車 運転中 特殊車	自動車 同乗	自動二輪 運転	自動二輪 同乗	原付 乗車中	自転車 乗車中	歩行中	その他	合計
職業運転者											0
公務員	1								1		2
農・林・漁業	1	1									2
鉱業											0
建設業									1		1
製造業	1				1						2
卸・小売業	1								1		2
運輸・郵便業		1			1				1		3
医療・福祉											0
電気・ガス・水道業		1									1
サービス業		4		1				1	2		8
子供									1		1
高校生											0
学生											0
主婦											0
無職	2			2				1	17	1	23
その他								1	1		2
合計	6	7	0	3	2	0	0	3	25	1	47

エ　状態別の違反

(ｱ)　歩行者

歩行者の死者26人のうち、14人(歩行者死者の53.8%)には何らかの違反があり、横断中の違反のある死者が６人と多く、違反のある歩行者死者の約４割を占めている。

（単位：人）

区分＼違反等	信号無視	通行区分	横断 横断歩道外	横断 斜め横断	横断 駐停車車両直前直後	横断 走行車両直前直後	横断 横断禁止場所	横断 計	幼児のひとり歩き	はいかいていい	路上作業	飛び出し	その他	違反なし	合計
１　当								0							0
２当以下	1	2	5				1	6		2		1	2	12	26

(ｲ)　自転車

自転車乗用中の死者３人のうち、２人（66.7%）に違反がある。　（単位：人）

区分＼違反	信号無視	右側通行	横断等禁止	右折違反等	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	灯火違反	酒酔い運転	徐行場所違反	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	その他	違反なし	合計
１　当																0
２当以下		1											1		1	3

(ｳ)　原付

原付乗車中の死者は無かった。　（単位：人）

区分＼違反	信号無視	最高速度	通行区分	横断等禁止	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	徐行	酒酔い運転	ハンドル操作不適	ブレーキ操作不適	前方不注意	その他	違反なし	合計
１　当																0
２当以下																0

(ｴ)　自動二輪

自動二輪車乗車中の死者２人ともに違反がある。　（単位：人）

区分＼違反	信号無視	最高速度	通行区分	右折違反	一時不停止	優先通行妨害	交差点安全	酒酔い運転	徐行	ハンドル操作不適	前方不注意	安全不確認	安全速度	その他	違反なし	合計
１　当																0
２当以下							2									2
同　乗																0

(ｵ)　自動車

自動車乗車中の死者は、運転中死者16人、同乗中死者２人の合計18人である。

運転中死者の違反別では、信号無視、最高速度、通区・追越、一時不停止の悪質違反によるものが４人で、運転中死者の25.0%を占めている。

事故類型別では、車両単独による死者が、運転中死者８人で、自動車乗車中の死者全体の44.4%を占めている。

（単位：人）

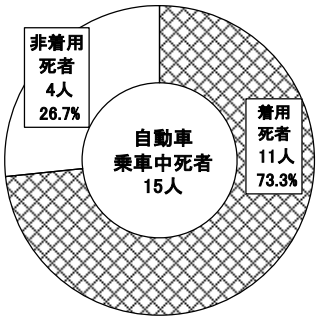
区分＼違反		運転中																		同乗中	合計
		信号無視	最高速度	通区・追越	一時不停止	酒酔い運転	優先通行妨害等	交差点安全進行	横断等禁止	過労等運転	安全運転義務 ハンドル・ブレーキ操作	前方不注意	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他	その他	違反なし	計		
当事者	１　当	1	1	1	1						2						6		12		12
	２　当							2									1		3		3
	３当以下																	1	1	2	3
事故類型 車両相互	正面衝突			1															1	1	2
	追突																1		1	1	2
	出会い頭				1														1		1
	追越・追抜																1		1		1
	転回時																		0		0
	右折時							2											2		2
	その他																		0		0
	計	0	0	1	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	6	2	8
	車両単独	1	1								2						3	1	8		8
	列車																2		2		2
合計		1	1	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	0	0	0	7	1	16	2	18

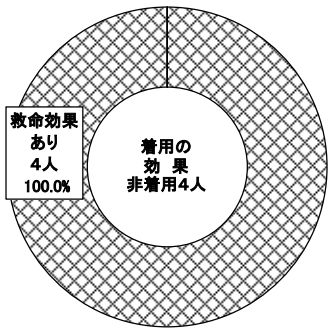
オ　シートベルト・ヘルメット着用状況

(ｱ)　シートベルト

着用不明の１人を除く自動車乗車中の死者15人中シートベルトを着用していたのは11人で、着用率は73.3%であった。

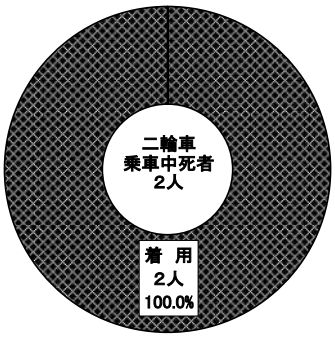
また、非着用死者４人中４人（非着用で死亡した者全員）は、シートベルトを着用していれば救命効果があったと認められる。





(ｲ)　ヘルメット

二輪乗車中の死者は２人で、２人ともヘルメットを着用していた。



2　歩行者の事故

(1)　概況

交通事故で死傷した歩行者は、

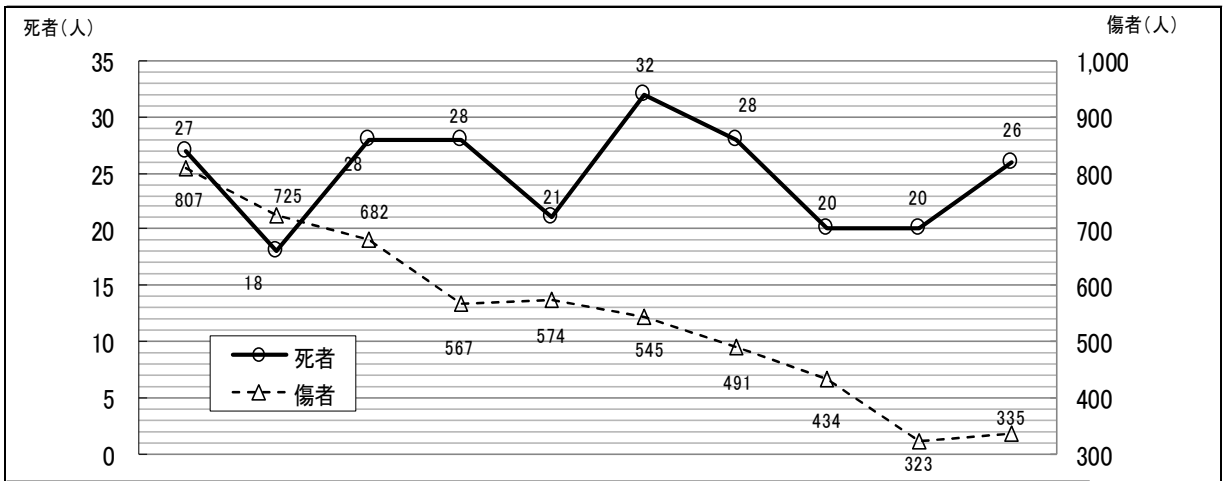
死者数　　26人　（前年比　＋６人　30.0%増）

傷者数　335人　（前年比　＋12人　3.7%増）

で、死者数・傷者数ともに前年より増加した。

全死者・傷者数に占める割合は、死者数は55.3%で14.5ポイント増加し、傷者数は10.7%で1.3ポイント増加した。

（単位：人・%）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
死傷者	死　者	27	18	28	28	21	32	28	20	20	26
	指　数	100	67	104	104	78	70	104	74	74	96
	傷　者	807	725	682	567	574	545	491	434	323	335
	指　数	100	90	85	70	71	73	61	54	40	42
全死者・全傷者に占める割合	死　者	34.2	20.7	36.4	31.1	30.9	32.0	45.9	35.1	40.8	55.3
	傷　者	7.3	7.7	8.2	8.0	8.6	9.9	10.5	11.3	9.4	10.7

(2)　月別

死者は２月と10月が５人で最も多く、次いで５月と12月が４人となっている。

傷者数は12月が44人で最も多く、次いで10月の43人となっている。

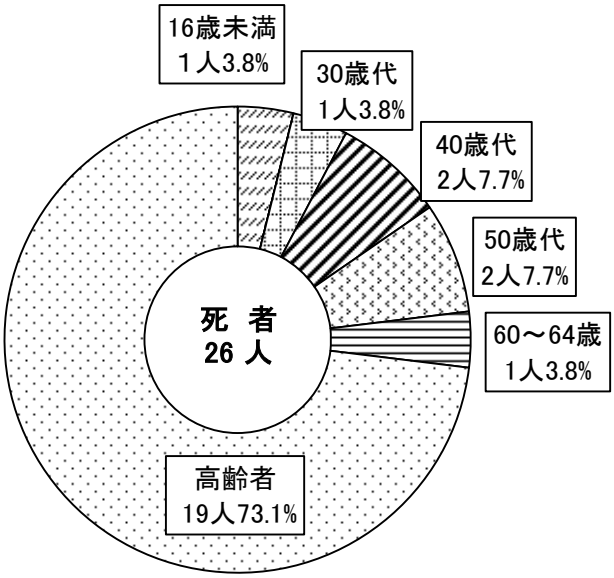
（単位：人・%）

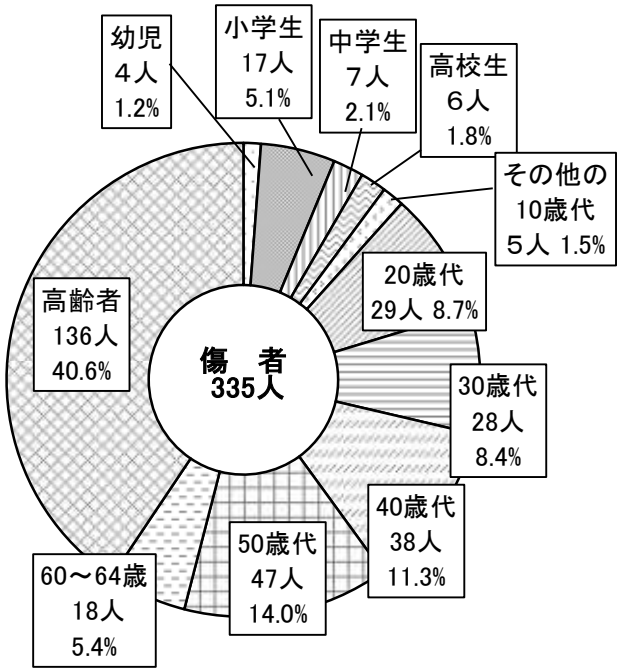
区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死　者	1	5	1	0	4	1	1	1	0	5	3	4	26
	傷　者	23	26	23	28	22	27	26	21	24	43	28	44	335
全死者・全傷者に占める割合	死　者	33.3	83.3	100.0	0.0	57.1	50.0	50.0	33.3	－	55.6	42.9	66.7	55.3
	傷　者	9.7	10.3	9.1	11.2	9.3	9.5	11.9	8.8	9.4	13.6	9.9	14.3	10.7

(3)　年齢別

ア　死者は高齢者が19人で最も多く、歩行者死者の73.1%を占めている。

傷者も高齢者が136人と最も多く、歩行者傷者の40.6%を占めている。





イ　歩行者とその他の死傷者の比較

構成率で比較すると、歩行者の高齢者死者は73.1%であり、その他の高齢者死者の52.4%を大きく上回る数値となっている。

歩行者の傷者のうち高齢者の占める割合は40.6%であり、その他の傷者の高齢者が占める割合15.6%の約2.6倍となっている。

(単位：人・%)

区分 / 年齢			死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)
歩行者の死傷者	16歳未満		1	3.8	28	8.4
	16～19歳			0.0	11	3.3
	20歳代			0.0	29	8.7
	30歳代		1	3.8	28	8.4
	40歳代		2	7.7	38	11.3
	50歳代		2	7.7	47	14.0
	60歳代	60～64	1	3.8	18	5.4
		65～69	5	19.2	21	6.3
	70歳代	70～74	3	11.5	28	8.4
		75～79	1	3.8	25	7.5
	80歳以上		10	38.5	62	18.5
	合計		26	100.0	335	100.0
	内訳	幼児	1	3.8	4	1.2
		小学生		0.0	17	5.1
		中学生		0.0	7	2.1
		高校生		0.0	6	1.8
		高齢者	19	73.1	136	40.6

区分 / 年齢			死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)
その他の死傷者	16歳未満		0	0.0	135	4.8
	16～19歳		0	0.0	142	5.1
	20歳代		3	14.3	436	15.6
	30歳代		3	14.3	505	18.1
	40歳代		1	4.8	562	20.1
	50歳代		2	9.5	420	15.0
	60歳代	60～64	1	4.8	162	5.8
		65～69	3	14.3	159	5.7
	70歳代	70～74	6	28.6	133	4.8
		75～79	1	4.8	63	2.3
	80歳以上		1	4.8	80	2.9
	合計		21	100.0	2,797	100.0
	内訳	幼児	0	0.0	27	1.0
		小学生	0	0.0	49	1.8
		中学生	0	0.0	39	1.4
		高校生	0	0.0	106	3.8
		高齢者	11	52.4	435	15.6

(4)　時間別・昼夜別

ア　時間別

死者は18時～20時の５人が最も多く、歩行者死者の19.2%を占めており、次いで８～10時の４人となっている。

傷者については、16～18時の63人が最も多く、歩行者傷者の18.8%を占めており、次いで18～20時の52人となっている。　（単位：人・%）

区分＼時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死　　者	2	1	1	0	4	2	3	1	3	5	2	2	26
構成率(%)	7.7	3.8	3.8	0.0	15.4	7.7	11.5	3.8	11.5	19.2	7.7	7.7	100.0
傷　　者	4	2	8	26	44	45	25	34	63	52	19	13	335
構成率(%)	1.2	0.6	2.4	7.8	13.1	13.4	7.5	10.1	18.8	15.5	5.7	3.9	100.0

イ　昼夜別

死者は夜が12人と多く、歩行者死者の46.2%を占めている。

傷者は昼間が186人と多く、歩行者傷者の55.5%を占めている。　（単位：人・%）

区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死　　者		10		10	3	12	1	16	26
構成率(%)	0.0	38.5	0.0	38.5	11.5	46.2	3.8	61.5	100.0
傷　　者	5	186	18	209	43	78	5	126	335
構成率(%)	1.5	55.5	5.4	62.4	12.8	23.3	1.5	37.6	100.0

ウ　年齢別・昼夜別

夜間の死者16人中11人が高齢者で、歩行者死者の42.3%を占めている。

傷者は昼間に高齢者の被害が多くなっている。　（単位：人・%）

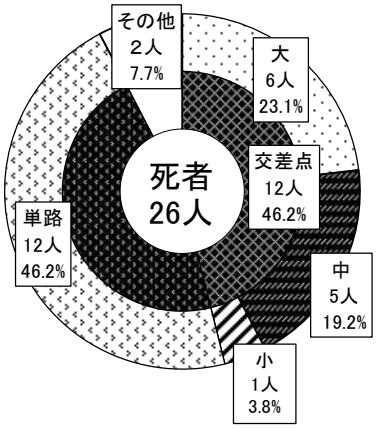
区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死　　者	1	8	1	10		11	5	16	26
構成率(%)	3.8	30.8	3.8	38.5	0.0	42.3	19.2	61.5	100.0
傷　　者	26	101	82	209		35	91	126	335
構成率(%)	7.8	30.1	24.5	62.4	0.0	10.4	27.2	37.6	100.0

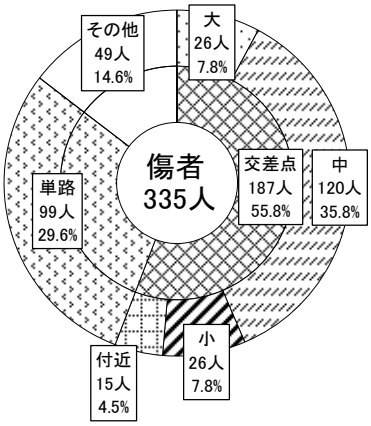
(5)　場所別

ア　道路形状別

歩行中の死者は単路と交差点が12人で、それぞれ46.2%を占めている。交差点での死者の内訳は、「大交差点」は６人、「中交差点」は５人、「小交差点」は１人であった。

傷者は交差点が187人と多く、55.8%を占めており、なかでも「中」交差点の占める割合が高い。





イ　道路形状別・信号機の有無・歩車道の区分別

信号機の有無で比較すると、信号機のない単路での死者は12人で、歩行者死者の46.2%を占めている。

歩車道の区分別では、区分ありでの死者が多く、21人と歩行者死者の80.8%を占め、傷者についても 240人で歩行者傷者の71.6%を占めている。　(単位：人)

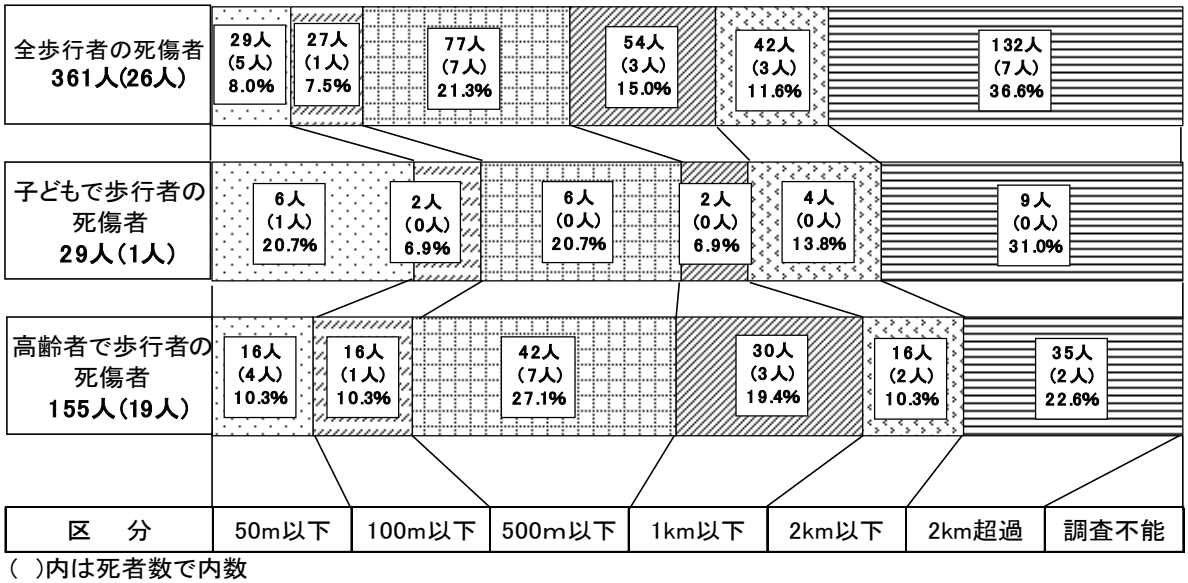
信号機、歩車道区別の有無 ＼ 道路形状			交差点 大	交差点 中	交差点 小	交差点 付近	計	単路	その他	合計
信号機	信号機あり	死者	3	3			6			6
		傷者	22	74	13	3	112	2		114
	信号機なし	死者	3	2	1		6	12	2	20
		傷者	4	46	13	12	75	97	49	221
合計		死者	6	5	1	0	12	12	2	26
		傷者	26	120	26	15	187	99	49	335

歩車道	区分あり	防護柵等	死者	2				2	1		3
			傷者		2	2		4	3		7
		縁石等	死者	4	4	1		9	5	1	15
			傷者	26	103	13	8	150	38	1	189
		路側帯	死者		1			1	2		3
			傷者		7	7	6	20	24		44
	区分なし		死者					0	4	1	5
			傷者		8	4	1	13	34	48	95
合計			死者	6	5	1	0	12	12	2	26
			傷者	26	120	26	15	187	99	49	335

ウ　自宅からの距離

自宅から500m以内の死傷者が133人で歩行者死傷者の36.8%を占めている。

また、子供と高齢者の死者についても自宅から500m以下が13人で最も多く、歩行者死者の半数を占めている。

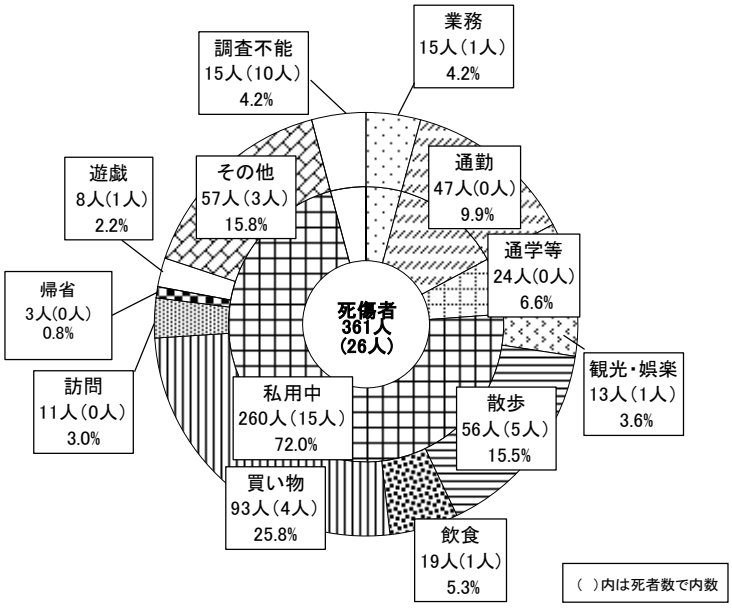


( )内は死者数で内数

(6)　通行目的別

歩行者の死傷者のうち私用中の事故が260人で72.0%を占めている。

うち買い物目的が最も多く93人で25.8%を占めている。



(7)　状態別等

ア　状態別

死者、傷者とも道路横断中が多く、死者は14人で歩行者死者の53.8%、傷者は208人で歩行者傷者の62.1%を占めている。

(単位：人・%)

区分＼状態	人対車両													人対車両以外	合計
	対面通行中	背面通行中	横断中					路上遊戯中	路上作業中	路上停止中	歩道通行中	路側帯通行中	その他		
			横断歩道	横断歩道付近	横断歩道橋付近	その他	計								
死者	1	3	7	0	0	7	14	1	1	0	1	0	5		26
構成率(%)	3.8	11.5	26.9	0.0	0.0	26.9	53.8	3.8	3.8	0.0	3.8	0.0	19.2	0.0	100.0
傷者	17	23	146	2	0	60	208	0	9	3	8	4	54	9	335
構成率(%)	5.1	6.9	43.6	0.6	0.0	17.9	62.1	0.0	2.7	0.9	2.4	1.2	16.1	2.7	100.0

イ　横断場所・道路形状別

横断中の死者14人のうち、交差点での死者は10人で横断中死者の71.4%を占め、交差点内の傷者162人のうち、140人（86.4%）が横断歩道を横断中に事故に遭っている。

横断歩道等以外のその他横断中の死者は７人で横断中死者の半数を占めている。

(単位：人・%)

横断場所＼道路形状		交差点				計		その他		合計		構成率(%)	
		交差点内		交差点付近									
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
横断中	横断歩道	7	140		3	7	143		3	7	146	50.0	70.2
	横断歩道付近		1		1	0	2			0	2	0.0	1.0
	横断歩道橋付近					0	0			0	0	0.0	0.0
	その他	3	21		6	3	27	4	33	7	60	50.0	28.8
合計		10	162	0	10	10	172	4	36	14	208	100	100

ウ　横断開始場所

横断中の死傷者の横断開始場所は「その他」が最も多く、死者は13人（92.9%）、傷者は166人（85.1%）となっている。

「車両の陰から」の傷者は７人で、うち３人（42.9%）は子どもの傷者となっている。

（単位：人・%）

区分＼横断場所		車両の陰から 駐車車両	車両の陰から 停止車両	車両の陰から 進行車両	建物から	物陰から	路地から	その他
子ども	死者							
	傷者		2	1	1		3	15
高齢者	死者						1	11
	傷者		2		3	1	4	71
その他	死者							2
	傷者	1	1		2	2	6	80
合計	死者	0	0	0	0	0	1	13
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	92.9
	傷者	1	5	1	6	3	13	166
	構成率(%)	0.5	2.6	0.5	3.1	1.5	6.7	85.1

(8)　違反別

ア　違反状況をみると、何らかの違反があった死者は14人で53.8%を占め、傷者は66人で19.7%となっている。

イ　死者の違反は、横断中が６人と多く、違反あり死者の42.9%を占め、次いで通行区分と酩酊・徘徊が２人となっている。

横断中では、横断歩道外横断が５人、横断禁止場所横断が１人なっている。

傷者の違反は横断中が38人と多く、違反あり傷者の57.6%を占めている。

（単位：人・%）

違反＼死傷者		死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)
信号無視		1	3.8	4	1.2
通行区分		2	7.7	9	2.7
横断中	横断歩道外	5	19.2	32	9.6
	斜め横断		0.0	1	0.3
	駐停車車両直前・直後		0.0	2	0.6
	走行車両直前・直後		0.0	3	0.9
	横断禁止場所	1	3.8		0.0
	計	6	23.1	38	11.3
酩酊・徘徊		2	7.7	5	1.5
路上遊戯		1	3.8	1	0.3
路上作業			0.0	3	0.9
飛び出し		1	3.8	4	1.2
その他の違反		1	3.8	2	0.6
違反なし		12	46.2	269	80.3
合計		26	100.0	335	100.0

3　自転車の事故

(1)　概況

交通事故で死傷した人は

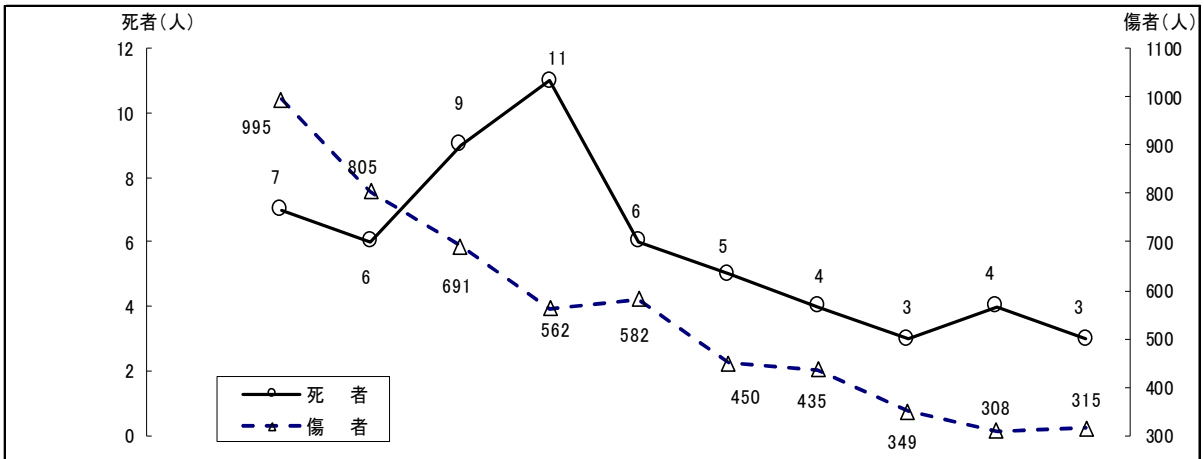
死者数　　３人　　(前年比　　－１人　25.0%減)

傷者数　　315人　　(前年比　　＋７人　2.3%増)

で、死者数は減少したが、傷者数は僅かに増加した。

全死者数に占める割合は 6.4%で1.8ポイントの減少、全傷者数に占める割合は10.1%で1.2ポイント増加した。

(単位：人・%)



区分＼年			平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
死傷者	死　者		7	6	9	11	6	5	4	3	4	3
		指数	100	86	129	157	86	71	57	43	57	43
	傷　者		995	805	691	562	582	450	435	349	308	315
		指数	100	81	69	56	58	45	44	35	31	32
全死者・全傷者に占める割合		死者	8.9	6.9	11.7	12.2	8.8	6.7	6.6	5.3	8.2	6.4
		傷者	9.0	8.5	8.3	7.9	8.7	8.2	9.3	9.0	8.9	10.1

(2)　月別

死者数は２月に１人、12月に２人となっている。

傷者数は、10月が47人と最も多く、次いで11月の36人の順となっている。

上半期、下半期で比較すると死傷者数は下半期が多い。

(単位：人・%)

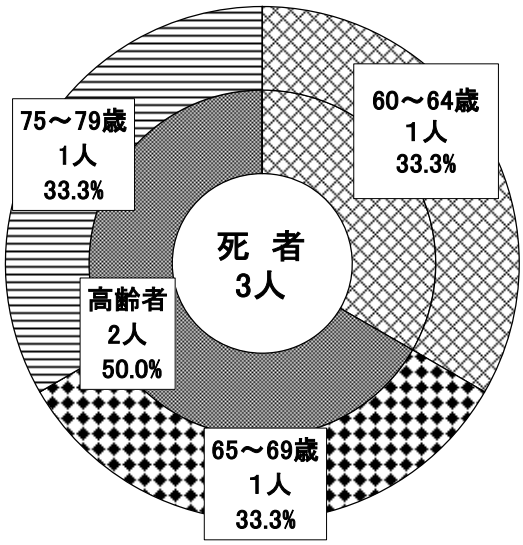
区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被害	死者		1										2	3
	傷者	11	19	21	19	32	34	24	23	25	47	36	24	315
全死傷者に占める割合	死者	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	33.3	6.4
	傷者	4.6	7.5	8.3	7.6	86.5	12.0	11.0	9.7	9.8	14.9	12.7	7.8	10.1

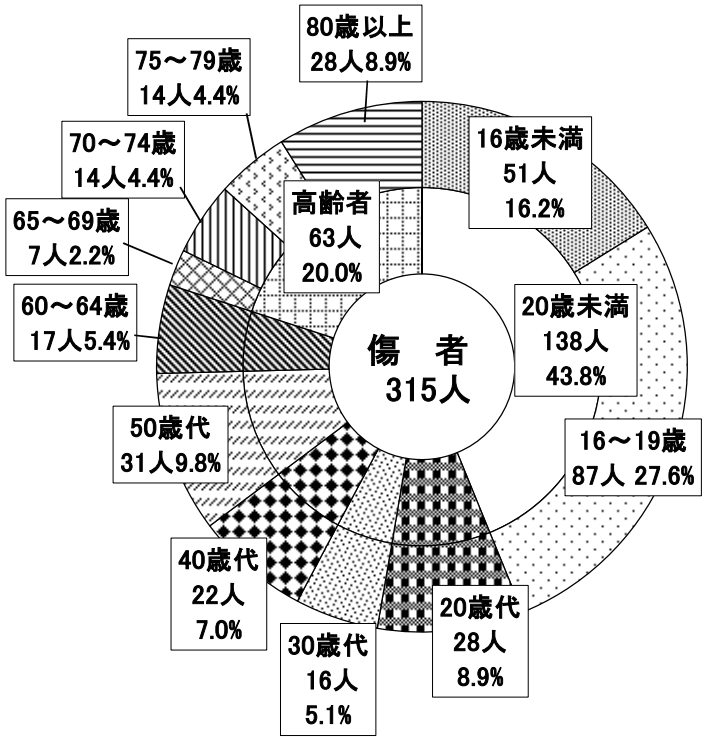
(3)　年齢別

ア　年齢別

自転車死者３人中２人が高齢者であった。

傷者は20歳未満が138人と多く、自転車傷者の43.8%を占めている。





イ　自転車とその他の死傷者の比較

自転車の死傷者とその他の死傷者を比較すると、その他の死傷者に比べ20歳未満死傷者の占める割合が高い。

（単位：人・%）

区分			死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)
自転車の死傷者	16歳未満			0.0	51	16.2
	16～19歳			0.0	87	27.6
	20歳代			0.0	28	8.9
	30歳代			0.0	16	5.1
	40歳代			0.0	22	7.0
	50歳代			0.0	31	9.8
	60歳代	60～64	1	33.3	17	5.4
		65～69	1	33.3	7	2.2
	70歳代	70～74		0.0	14	4.4
		75～79	1	33.3	14	4.4
	80歳以上			0.0	28	8.9
	合計		3	100.0	315	100.0
	内訳	幼児		0.0	1	0.3
		小学生		0.0	9	2.9
		中学生		0.0	26	8.3
		高校生		0.0	86	27.3
		高齢者	2	66.7	63	20.0

（単位：人・%）

区分			死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)
その他の死傷者	16歳未満		1	2.3	112	4.0
	16～19歳		0	0.0	66	2.3
	20歳代		3	6.8	437	15.5
	30歳代		4	9.1	517	18.4
	40歳代		3	6.8	578	20.5
	50歳代		4	9.1	436	15.5
	60歳代	60～64	1	2.3	163	5.8
		65～69	7	15.9	173	6.1
	70歳代	70～74	9	20.5	147	5.2
		75～79	1	2.3	74	2.6
	80歳以上		11	25.0	114	4.0
	合計		44	100.0	2,817	100.0
	内訳	幼児	1	2.3	30	1.1
		小学生	0	0.0	57	2.0
		中学生	0	0.0	20	0.7
		高校生	0	0.0	26	0.9
		高齢者	28	63.6	508	18.0

(4)　時間別・昼夜別

ア　時間別

死者は10～12時、14～16時、16～18時の間に各１人となっている。

傷者は16～18時が61人で最も多く、自転車傷者の19.4%を占めており、次いで６～８時の47人の順となっている。

（単位：人・%）

区分＼時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
死　者						1		1	1				3
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	100.0
傷　者	1	0	4	47	44	35	32	40	61	36	13	2	315
構成率(%)	0.3	0.0	1.3	14.9	14.0	11.1	10.2	12.7	19.4	11.4	4.1	0.6	100.0

イ　昼夜別

死者数、傷者数ともに昼間が多くなっている。

（単位：人・%）

区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	薄明	昼	薄暮		薄暮	夜	薄明		
死　者		2		2		1		1	3
構成率(%)	0.0	66.7	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0
傷　者	12	208	27	247	29	39		68	315
構成率(%)	3.8	66.0	8.6	78.4	9.2	12.4	0.0	21.6	100.0

ウ　年齢別・昼夜別

死者は昼間・夜間とも高齢者が１人で66.7%を占めている。

傷者は、昼間の高齢者が57人と多く、自転車傷者の18.1%を占めている。

（単位：人・%）

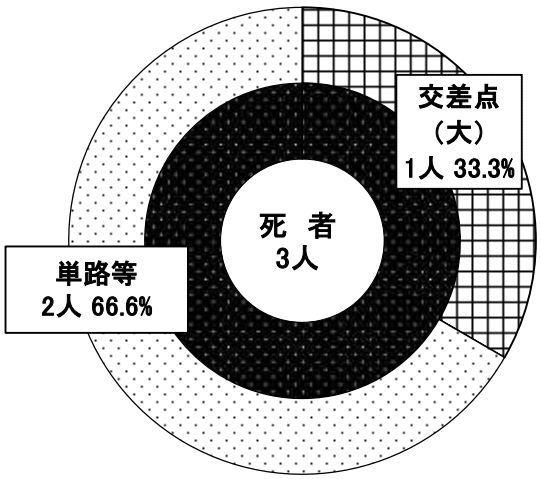
区分＼昼夜	昼間			計	夜間			計	合計
	子ども	高齢者	その他		子ども	高齢者	その他		
死　者		1	1	2		1		1	3
構成率(%)	0.0	33.3	33.3	66.7	0.0	33.3	0.0	33.3	100.0
傷　者	29	57	161	247	7	6	55	68	315
構成率(%)	9.2	18.1	51.1	78.4	2.2	1.9	17.5	21.6	100.0

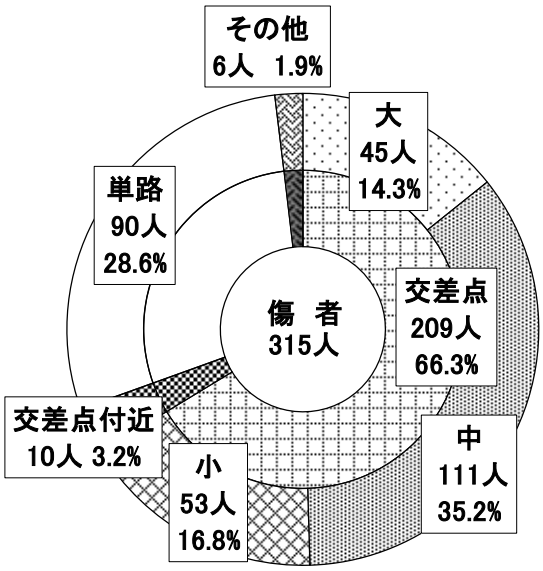
(5)　場所別

ア　道路形状別

死者は単路２人、交差点（大）１人となっており、傷者は交差点と交差点付近合わせて219人で自転車傷者の69.5%を占めている。

交差点の大きさで見ると、交差点（中）での発生が多い。





イ　道路形状別・信号機の有無別

自転車死者は信号機のない交差点で１人、単路で２人となっている。

（単位：人）

信号機の有無 ＼ 道路形状			交差点 大	交差点 中	交差点 小	交差点 付近	計	単路	その他	合計
信号機	信号機あり	死者					0			0
		傷者	41	39	7	1	88			88
	信号機なし	死者	1				1	2		3
		傷者	4	72	46	9	131	90	6	227
合計		死者	1	0	0	0	1	2	0	3
		傷者	45	111	53	10	219	90	6	315

(6)　道路形状別・事故類型別

死者は交差点で１人となっており、傷者は交差点とその付近で219人(69.5%)となっている。

事故類型別では、車両相互の出会い頭による死者が２人(66.7%)、傷者が175人(55.6%)と多くなっている。

（単位：人・%）

事故類型 ＼ 道路形状		交差点 交差点内 死者	交差点 交差点内 傷者	交差点 交差点付近 死者	交差点 交差点付近 傷者	計 死者	計 傷者	その他 死者	その他 傷者	合計 死者	合計 傷者	合計 構成率(%) 死者	合計 構成率(%) 傷者
人対車両						0	0			0	0	0.0	0.0
車両相互	正面衝突		1			0	1		3	0	4	0.0	1.3
	追突				1	0	1	1	4	1	5	33.3	1.6
	出会い頭	1	118		4	1	122	1	53	2	175	66.7	55.6
	追越・追抜		1			0	1		7	0	8	0.0	2.5
	転回・後退時		1		1	0	2		5	0	7	0.0	2.2
	進路変更時					0	0			0	0	0.0	0.0
	すれ違い時				1	0	1		2	0	3	0.0	1.0
	左折時		42		1	0	43		11	0	54	0.0	17.1
	右折時		46		1	0	47		5	0	52	0.0	16.5
	その他					0	0		5	0	5	0.0	1.6
計		1	209	0	9	1	218	2	95	3	313	100.0	99.4
車両単独					1	0	1		1	0	2	0.0	0.6
列車						0	0			0	0	0.0	0.0
合計		1	209	0	10	1	219	2	96	3	315	100.0	100.0

(7)　自宅からの距離

事故発生場所から自宅までの距離をみると、死者は500m以内で１人、２km超過で２人となっており、全体の傷者数は自宅からの距離が遠くなるにつれて構成率の上昇が見られる。

（単位：人・%）

区分 ＼ 距離		50m以内	100m以内	500m以内	1km以内	2km以内	2km超過	調査不能	合計
子ども		1		7	12	8	8		36
	構成率(%)	2.8	0.0	19.4	33.3	22.2	22.2	0.0	100.0
高齢者		1	4	① 8	11	16	① 25		② 65
	構成率(%)	1.5	6.2	12.3	16.9	24.6	38.5	0.0	100.0
その他		1	6	23	43	49	① 95		① 217
	構成率(%)	0.5	2.8	10.6	19.8	22.6	43.8	0.0	100.0
合計		3	10	① 38	66	73	② 128		③ 318
	構成率(%)	0.9	3.1	11.9	20.8	23.0	40.3	0.0	100.0

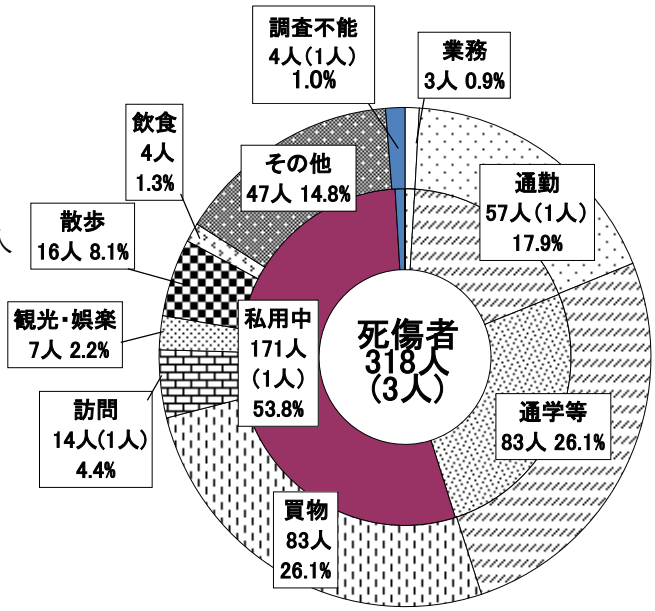
○は死者数で内数 ※同乗者を含まない。

(8)　通行目的別

通行目的は、私用中が171人で53.8%を占めている。

主な内訳は、買物と通学等がそれぞれ83人で26.1%と高い割合を占めている。

この他、通勤が57人（17.9%）と多い。



(9)　違反別

( )内は死者数で内数

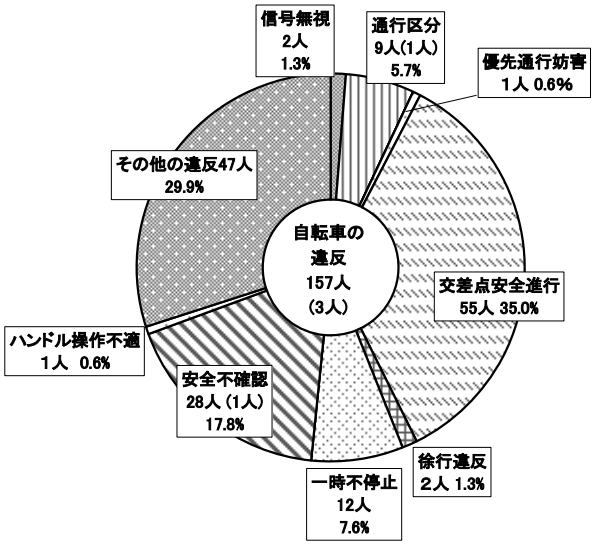
死者のうち何らかの違反があったのは２人（66.7%）、同じく傷者では155人（49.2%）となる。

（単位：人・%）

区分 / 違反	死者	構成率	傷者	構成率
信号無視		0.0%	2	0.6%
通行区分	1	33.3%	8	2.5%
横断等禁止		0.0%		0.0%
右折違反		0.0%		0.0%
優先通行妨害		0.0%	1	0.3%
交差点安全進行		0.0%	55	17.5%
徐行違反		0.0%	2	0.6%
一時不停止		0.0%	12	3.8%
酒酔い運転		0.0%		0.0%
安全不確認	1	33.3%	27	8.6%
ハンドル操作不適		0.0%	1	0.3%
その他の違反		0.0%	47	14.9%
違反なし	1	33.3%	160	50.8%
合　計	3	100.0%	315	100.0%

内数					
	夜間事故	1	33.3%	68	21.6%
	うち無灯火	1	100.0%	6	8.8%

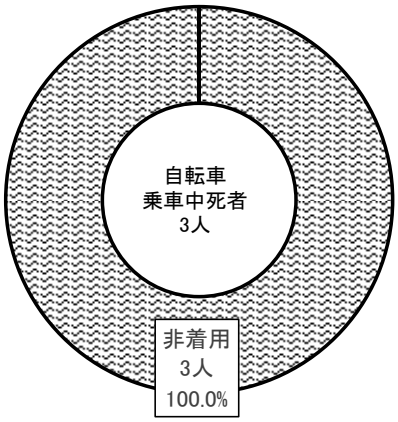
※同乗者は含まない

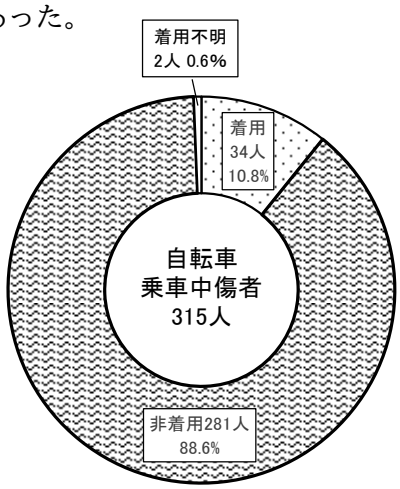


( )内は死者数で内数

(10) ヘルメット着用状況

自転車乗車中死者は３人であり、全員ヘルメット非着用であった。また、自転車乗車中の傷者は315人で、そのうち非着用者が281人（88.6%）であった。





4　子供の事故

(1)　概況

交通事故により死傷した子供は、

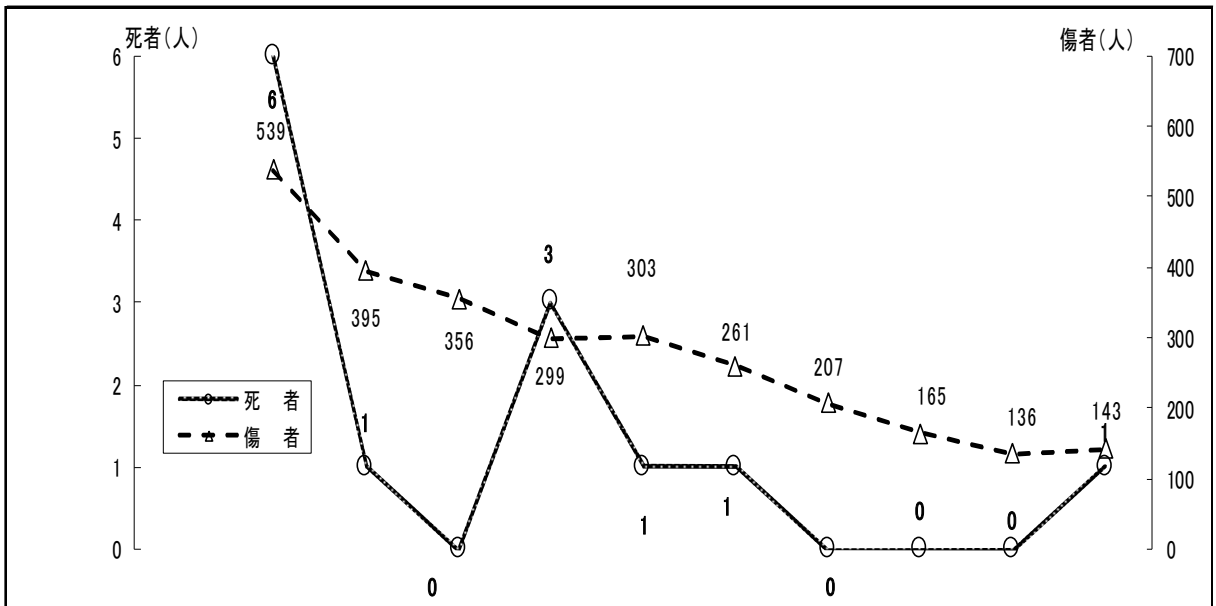
死者数　　１人（前年比　＋１人）

傷者数　143人（前年比　＋７人　　5.1%増）

で、死者数・傷者数ともに増加に転じた。

全死者に占める割合は2.1%で 、全傷者に占める割合は4.6%で0.7ポイント増加した。

（単位：人・%）



区分 ＼ 年			平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
死傷者	死　者		6	1	0	3	1	1	0	0	0	1
		指数	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
	傷　者		539	395	356	299	303	261	207	165	136	143
		指数	100	73	66	55	56	73	38	31	25	27
全死者・全傷者に占める割合		死者	7.6	1.1	0.0	3.3	1.5	1.3	0.0	0.0	0.0	2.1
		傷者	4.9	4.2	4.3	4.2	4.5	4.8	4.4	4.3	3.9	4.6

(2)　月別

傷者数は８月と11月の18人が最も多く、次いで５月が17人となっている。　（単位：人・%）

区分 ＼ 月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
被　害	死者					1								1
	傷者	7	10	8	9	17	10	10	18	10	12	18	14	143
全死者・全傷者に占める割合	死者	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	－	0.0	0.0	0.0	2.1
	傷者	3.0	4.0	3.2	3.6	7.2	3.5	4.6	7.6	3.9	3.8	6.4	4.5	4.6

(3)　状態別

傷者は自動車同乗中の73人（51.0%)が最も多く、次いで自転車乗用中の36人（25.2%）の順となっている。

（単位：人・%）

区分＼状態	自動車同乗中	自動二輪乗車中		原付乗車中		自転車乗用中		歩行者	その他	合計
		運　転	同　乗	運　転	同　乗	運　転	同　乗			
死　　者								1		1
構成率(%)								100.0		100.0
傷　　者	73		1			36		28	5	143
構成率(%)	51.0	0.0	0.7	0.0	0.0	25.2	0.0	19.6	3.5	100.0

(4)　状態別・学齢別

（単位：人）

傷者は、幼児の31人が最も多く、次いで中学１年生の19人、中学２年生の15人の順となっている。

歩行者の傷者は、幼児、小学１・２年生と中学１年生の４人が最も多く、次いで小学３年生と中学３年生の３人となっている。

自転車の傷者は、中学生１年生の11人が最も多く、次いで中学２年生の10人の順となっている。

学齢＼状態		歩行者		自転車		その他		合　計	
		死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
幼児	未就園児	1	3				13	1	16
	幼稚園児		1		1		13	0	15
計		1	4	0	1	0	26	1	31
小学生	1　年		4		1		5	0	10
	2　年		4				5	0	9
	3　年		3		1		7	0	11
	4　年		2		2		8	0	12
	5　年		2		2		6	0	10
	6　年		2		3		9	0	14
計		0	17	0	9	0	40	0	66
中学生	1　年		4		11		4	0	19
	2　年				10		5	0	15
	3　年		3		5		4	0	12
計		0	7	0	26	0	13	0	46
合　　計		1	28	0	36	0	79	1	143

(5)　時間別・昼夜別

（単位：人・%）

傷者は昼間が多く82.5%を占めている。

時間別では、下校時間帯及び放課後となる16～18時の36人が最も多く、次いで14～16時の30人の順となっている。

区分＼昼夜	昼　間		夜　間		合　計	
		薄　暮		薄　暮		薄　暮
死　　者	1				1	
構成率(%)	100.0				100.0	
傷　　者	118	12	25	8	143	20
構成率(%)	82.5	8.4	17.5	5.6	100.0	14.0

＊薄暮時は内数

（単位：人・%）

区分＼時間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合　計
死　　者							1						1
構成率(%)													0.0
傷　　者			1	19	16	10	15	30	36	8	5	3	143
構成率(%)	0.0	0.0	0.7	13.3	11.2	7.0	10.5	21.0	25.2	5.6	3.5	2.1	100

(6) 学齢別・通行目的別

学齢でみると、幼児は買物での被害が多く、小学生は買物と下校時、中学生は登校時の被害が多い。

通行目的の中に占める通学等の割合は、幼児が6.7%、小学生は14.3%、中学生は17.4%となっている。

(単位：人・%)

通行目的＼学齢		幼児	構成率(%)	小学生	構成率(%)	中学生	構成率(%)	合計	構成率(%)
通学等	登校		0.0	5	7.9	15	32.6	20	14.4
	学業中		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	下校	2	6.7	9	14.3	8	17.4	19	13.7
私用	観光・娯楽		0.0	5	7.9	1	2.2	6	4.3
	ドライブ	2	6.7		0.0		0.0	2	1.4
	散歩	2	6.7	4	6.3	1	2.2	7	5.0
	飲食		0.0	2	3.2	1	2.2	3	2.2
	買物	10	33.3	17	27.0	12	26.1	39	28.1
	訪問	3	10.0	6	9.5	1	2.2	10	7.2
	帰省	1	3.3		0.0		0.0	1	0.7
	遊戯(路上)	2	6.7	3	4.8		0.0	5	3.6
	疾病徘徊		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	その他	8	26.7	12	19.0	7	15.2	27	19.4
調査不能			0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計		30	100.0	63	100.0	46	100.0	139	100.0

(7) 場所別等

ア 道路形状別等

子供の死傷者のうち67.4%が、交差点で事故に遭っている。

学齢と道路形状でみると、幼児、小・中学生とも交差点での事故が多い。

特に、小学生歩行者の交差点事故が14人と多い。

(単位：人・%)

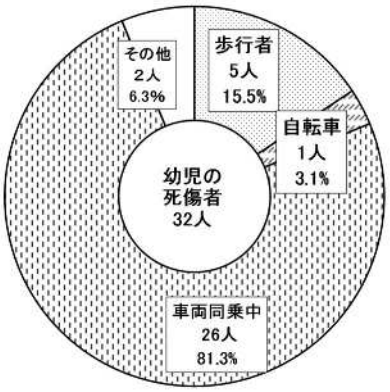
形状＼区分		歩行者	自転車	その他	合計
交差点		21	26	50	97
	構成率(%)	21.6	26.8	51.5	
単路		7	9	21	37
	構成率(%)	18.9	24.3	56.8	
駐車場等		1	1	8	10
	構成率(%)	10.0	10.0	80.0	
合計		29	36	79	144
	構成率(%)	20.1	25.0	54.9	

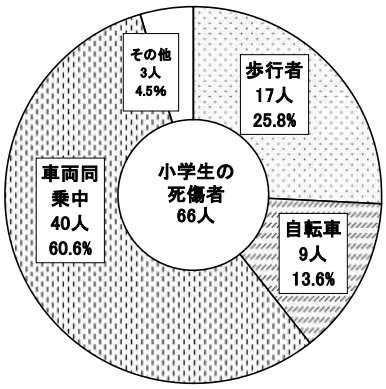
(単位：人)

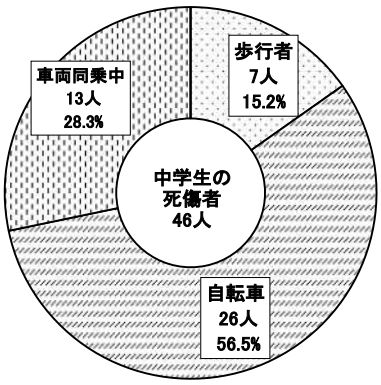
学齢＼区分	交差点 歩行者	交差点 自転車	交差点 その他	交差点 計	単路 歩行者	単路 自転車	単路 その他	単路 計	駐車場等 歩行者	駐車場等 自転車	駐車場等 その他	駐車場等 計
幼児	2		14	16	① 2	1	10	① 13	1		2	3
小学生	14	4	28	46	3	4	8	15		1	4	5
中学生	5	22	8	35	2	4	3	9			2	2
合計	21	26	50	97	7	9	21	37	1	1	8	10

イ　死傷者の割合等

学齢別死傷者の状況をみると、幼児については車両同乗中が圧倒的に多く81.3%を占め、小学生についても60.6%と比率が高くなっている。







ウ　自宅からの距離

子供の死傷者で、歩行者、自転車乗用中の事故発生場所から自宅までの距離をみると、歩行者では自宅から500メートル以内での事故が48.3%を占め、自転車乗車中については自宅から１㎞メートル以内での事故が55.4%を占めている。

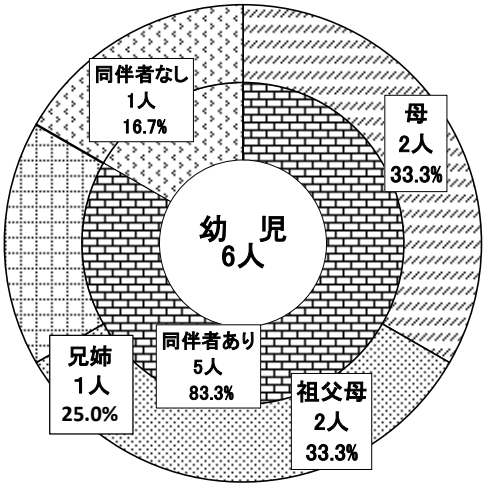
（単位：人・%）

区分 / 距離	歩行者								自転車								合計	
	幼児		小学生		中学生		小計		幼児		小学生		中学生		小計			
		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)		構成率(%)
50ｍ以下	1	20.0	5	29.4		0.0	6	20.7	1	－		0.0		0.0	1	2.8	7	10.8
100ｍ以下		0.0	2	11.8		0.0	2	6.9		－		0.0		0.0	0	0.0	2	3.1
500m以下	1	20.0	3	17.6	2	28.6	6	20.7		－	2	22.2	5	19.2	7	19.4	13	20.0
1ｋｍ以下		0.0		0.0	2	28.6	2	6.9		－	4	44.4	8	30.8	12	33.3	14	21.5
2ｋｍ以下		0.0	4	23.5		0.0	4	13.8		－	2	22.2	6	23.1	8	22.2	12	18.5
2ｋｍ超過	3	60.0	3	17.6	3	42.9	9	31.0		－	1	11.1	7	26.9	8	22.2	17	26.2
調査不能		0.0		0.0		0.0	0	0.0		－		0.0		0.0	0	0.0	0	0.0
合計	5	100.0	17	100.0	7	100.0	29	100.0	1	－	9	100.0	26	100.0	36	100.0	65	100.0

エ　幼児の同伴者

幼児が歩行中または自転車乗用中に事故に遭った傷者６人のうち、「同伴者あり」は５人で、「同伴者なし」は１人となっている。

同伴者は母親・祖父母・兄姉となっている。

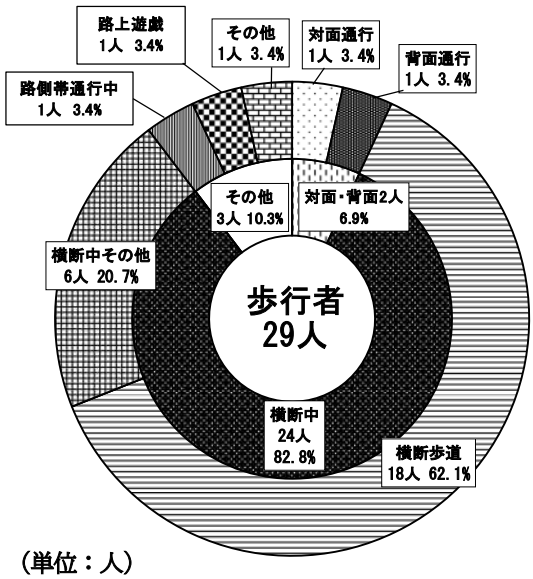


(8)　事故類型

ア　歩行者

事故類型別では横断中が24人と多く、歩行者被害の82.8%を占め、中でも横断歩道での傷者が18人と多く、横断中傷者の７割以上を占めている。

また、横断中の事故について、学齢と横断歩道信号機の有無で比較すると、信号機がある横断歩道で小学生の傷者が多くなっている。



（単位：人）

横断場所 / 学齢	横断歩道		横断歩道以外	
	信号あり	信号なし	信号あり	信号なし
幼児	2			1
小学生	7	3		4
中学生	3	3		1

イ　自転車

事故類型別では、出会い頭事故の傷者が26人で、自転車乗用中傷者の72.2%を占め最も多い。

また、道路形状別では、交差点での傷者が19人と多く、自転車乗用中傷者の52.8%を占めている。

（単位：人・%）

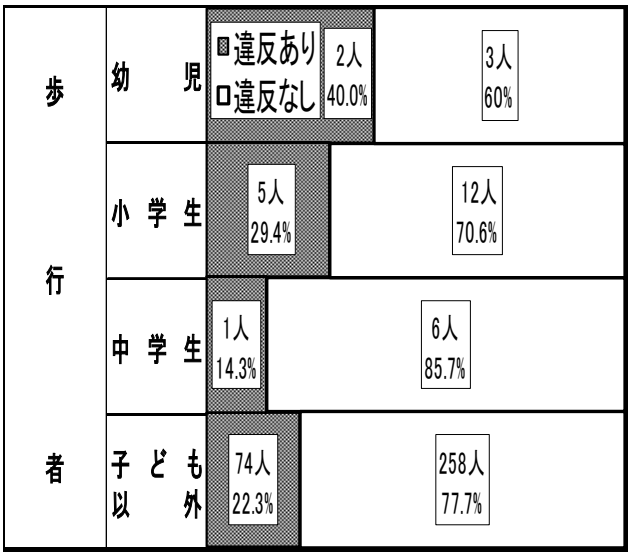
道路形状等 / 事故類型		交差点		計	その他	合計		幼児		小学生		中学生	
		交差点内	交差点付近				構成率(%)	交差点	その他	交差点	その他	交差点	その他
人対車両				0		0	0.0						
車両相互	正面衝突			0	1	1	2.8		1				
	追突			0	2	2	5.6						
	出会い頭	17	2	19	7	26	72.2			3	3	16	4
	追越・追抜	1		1		1	2.8					1	
	転回・後退時			0		0	0.0			1			
	進路変更・すれ違い時			0		0	0.0						
	右折時	2		2		2	5.6					2	
	左折時	3		3		3	8.3					3	
	その他	1		1		1	2.8				2		
計		24	2	26	10	36	100.0	0	1	4	5	22	4
車両単独				0		0	0.0						
列車				0		0	0.0						
合計		24	2	26	10	36	100.0	0	1	4	5	22	4

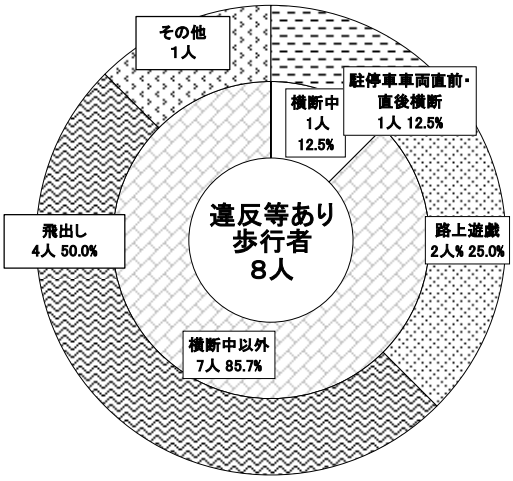
(9)　違反別

ア　歩行者

歩行者の傷者29人のうち、何らかの違反が認められた者は８人で、子供の歩行者被害の27.6%を占めている。

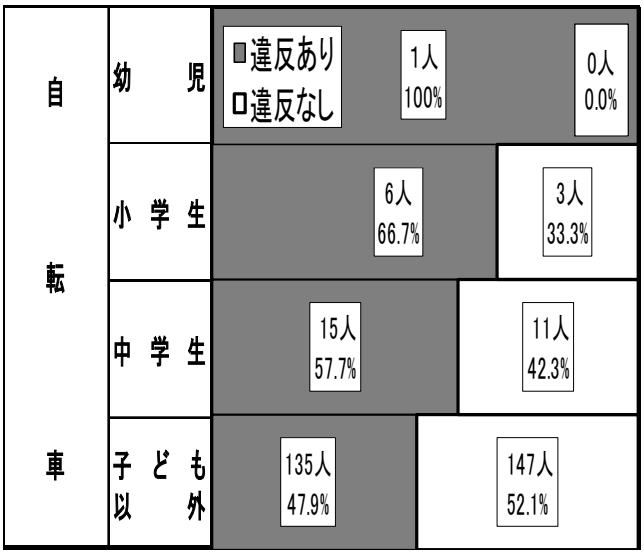
違反の内容をみると、飛び出しが４人と最も多く、違反のあった子供の歩行者被害の50.0%を占めている。

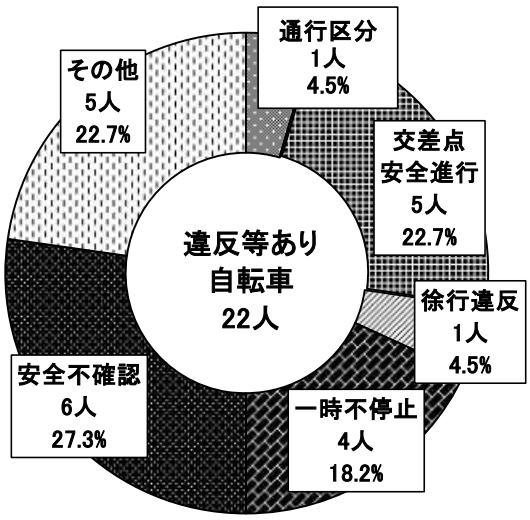




イ　自転車

自転車の傷者36人のうち、何らかの違反が認められたのは22人で自転車傷者数の61.1%を占めている。違反の内容をみると安全不確認が６人（27.3%）で最も多く、次いで交差点安全進行義務違反５人（22.7%）、一時不停止４人となっている。





5　高校生の事故

(1)　高校生の事故

ア　概　　況

高校生が第１当事者となった事故は、

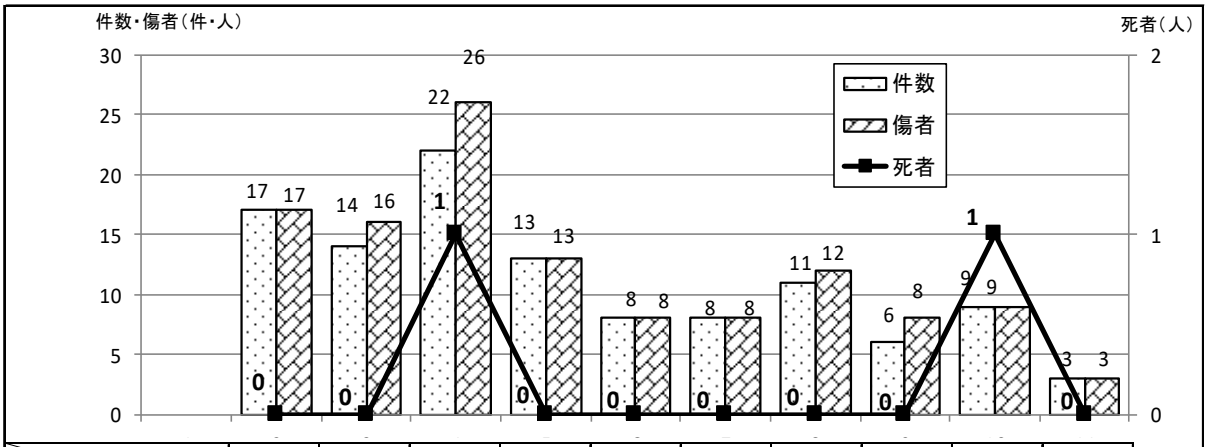
発生件数	３件	（前年比	－６件　66.7%減）
死者数	０人	（前年比	－１人 100.0%減）
傷者数	３人	（前年比	－６人　66.7%増）

で、発生件数、死者数、傷者数全て減少した。

過去10年間の推移をみると、発生件数が最も多いのは平成27年の22件で、令和４年の３件は過去10年で最少であり、最多だった平成27年と比べると86.4%減少している。

死者は、平成27年、令和３年が１人となっている。

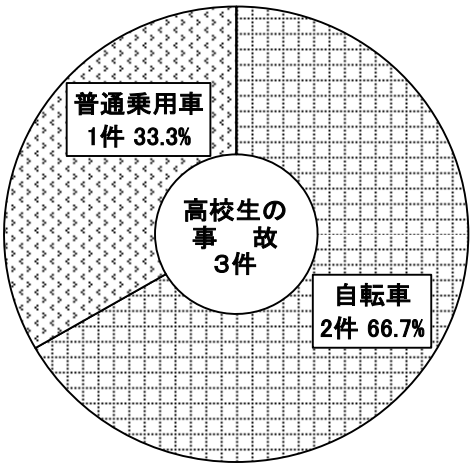
（単位：件・人・%）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件数		17	14	22	13	8	8	11	6	9	3
死者		0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
傷者		17	16	26	13	8	8	12	8	9	3
全事故に占める割合（%）	件数	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.2	0.3	0.2	0.3	0.1
	死者	0.0	0.0	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0
	傷者	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1	0.1	0.3	0.2	0.3	0.1

イ　当事車種別

高校生が第１当事者となった事故は、自転車が２件で66.7%を占め、次いで、普通乗用車の１件（33.3%）となっている。



ウ　違反別

悪質違反による事故は２件で66.7%を占め、一時不停止が２件となっている。

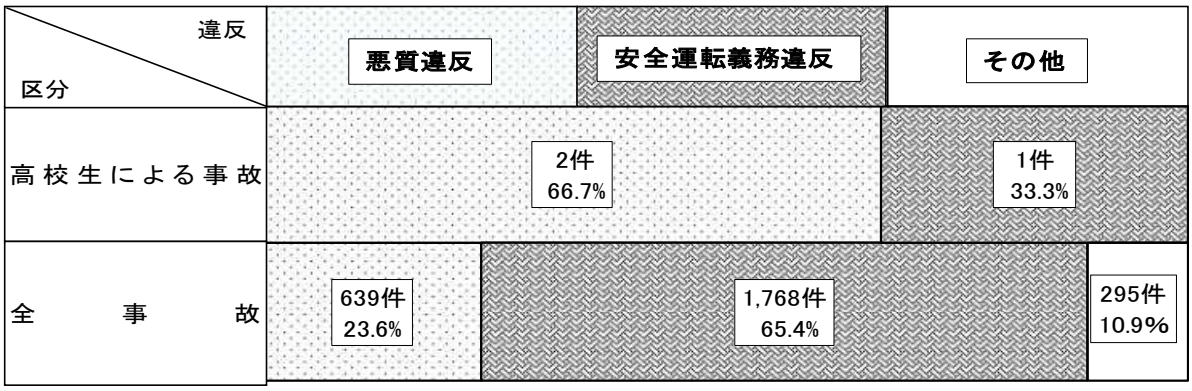
安全運転義務違反による事故は１件で、動静不注視となっている。

（単位：件・%）

区分 / 違反		高校生事故	構成率(%)	全事故	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	169	6.3
	最高速度		0.0	4	0.1
	通区・追越		0.0	61	2.3
	歩行者妨害等		0.0	175	6.5
	一時不停止	2	66.7	226	8.4
	酒酔い運転		0.0	4	0.1
	計	2	66.7	639	23.6
横断禁止等			0.0	6	0.2
右・左折違反			0.0	8	0.3
優先通行妨害等			0.0	116	4.3
交差点安全進行			0.0	106	3.9

区分 / 違反		高校生事故	構成率(%)	全事故	構成率(%)
徐行違反			0.0	13	0.5
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		0.0	195	7.2
	前方不注意		0.0	591	21.9
	動静不注視	1	33.3	348	12.9
	安全不確認		0.0	572	21.2
	安全速度		0.0	33	1.2
	その他		0.0	29	1.1
	計	1	33.3	1,768	65.4
その他			0.0	46	1.7
合計		3	100.0	2,702	100.0
無免許（内数）		1	33.3	13	0.5

高校生の事故を全事故と構成率で比較すると、悪質違反が全事故より高い割合になっている。



エ　道路形状別・当事者別

高校生が第１当事者となる事故は、自動車で１件、自転車で２件発生し、うち交差点において２件発生し、全事故の66.7%を占める。

（単位:件）

当事者 / 道路形状		交差点	付近(内数)	その他	合計	カーブ(内数) 右	カーブ(内数) 左
自動車		1			1		
二輪車	小型二輪				0		
	軽二輪				0		
	原付二種				0		
	原付				0		
	計	0	0	0	0	0	0
自転車		1	0	1	2		
歩行者					0		
合計		2	0	1	3	0	0

(2)　高校生の被害

ア　概況

交通事故で被害に遭った高校生は

死者数　　０人（前年比　　±０人）

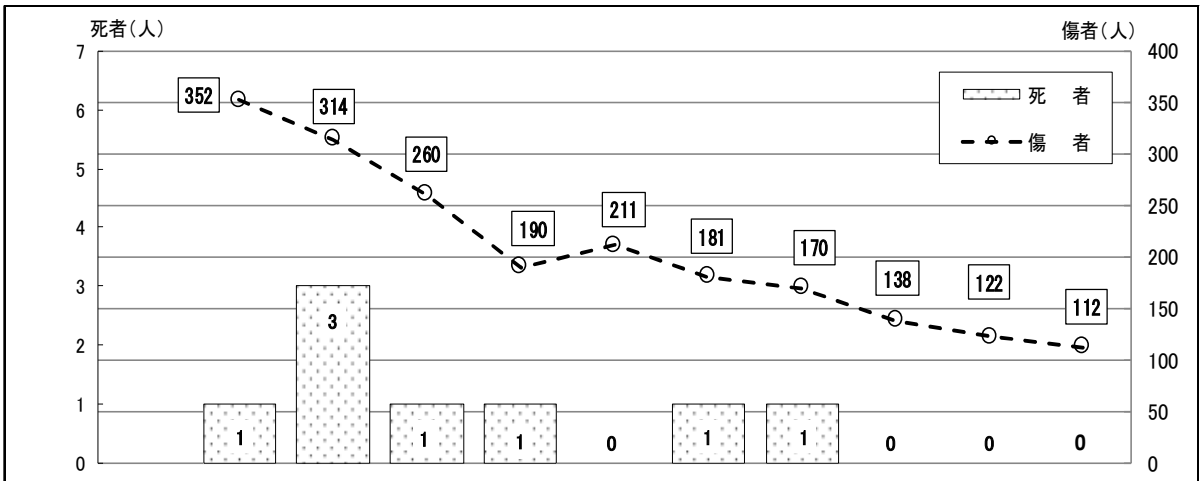
傷者数　112人（前年比　　－10人　　8.2%減）

で昨年に続き死者は０人で、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、死者が最も多いのは平成26年の３人で、その他は平成29年、令和２年、令和３年を除き１人が亡くなっている。

傷者が最も多いのは平成25年の352人で、最も少ないのは令和４年の112人となっており、傷者数を比較すると令和４年は平成25年から約68.2パーセント減少している。

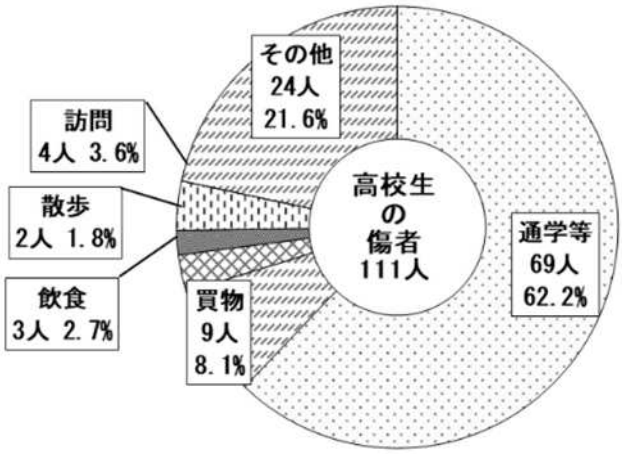
（単位：人・％）



区分 ＼ 年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
被害	死　者	1	3	1	1	0	1	1	0	0	0
	傷　者	352	314	260	190	211	181	170	138	122	112
全被害に占める割合	死者	1.3	3.4	1.3	1.1	0.0	1.3	1.6	0.0	0.0	0.0
	傷者	3.2	3.3	3.1	2.7	3.1	3.3	3.6	3.6	3.5	3.6

イ　通行目的

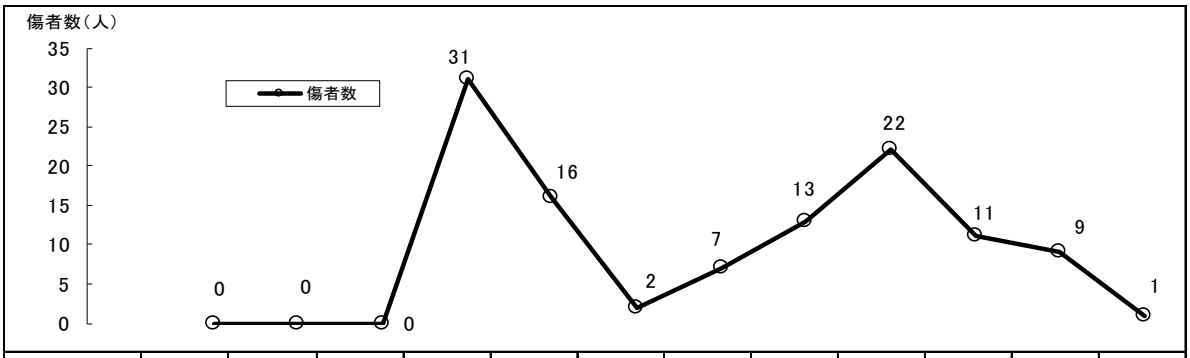
通学等の傷者は69人で高校生傷者の62.2%を占め最も多い。



※通行目的が道路外の人等は除く

ウ　時間別

傷者数は、登・下校時間帯の６～８時が31人、16～18時が22人と多く、この時間帯の傷者は、高校生傷者の47.3%を占めている。　（単位：人）



時　　間	0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24
傷　者　数	0	0	0	31	16	2	7	13	22	11	9	1

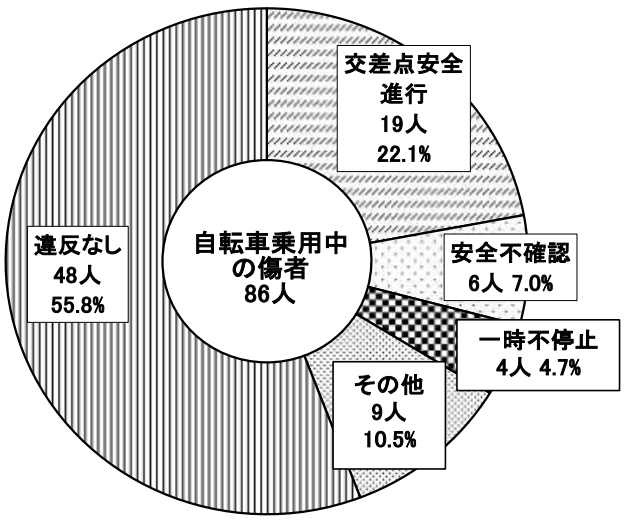
エ　状態別

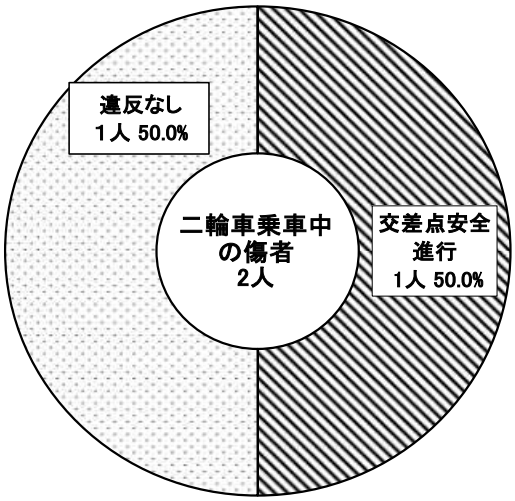
高校生の傷者は自転車乗用中が 86人と最も多く高校生傷者の76.8%を占め、次いで自動車同乗中の17人(15.2%)、歩行中の６人(5.4%)の順となっている。　（単位：人・%）

区分＼状態	自動車		自動二輪車		原付	自転車	歩行中	その他	合計
	運転中	同乗中	運転中	同乗中	乗車中	乗用中			
死　者	0	0	0	0	0	0	0	0	0
構成率(%)	－	－	－	－	－	－	－	－	－
傷　者	0	17	2	0	0	86	6	1	112
構成率(%)	0.0	15.2	1.8	0.0	0.0	76.8	5.4	0.9	100.0

自転車の違反状況をみると、44.2%に何らかの違反が認められた。

自動二輪車の違反は、交差点安全進行義務違反の１人である。



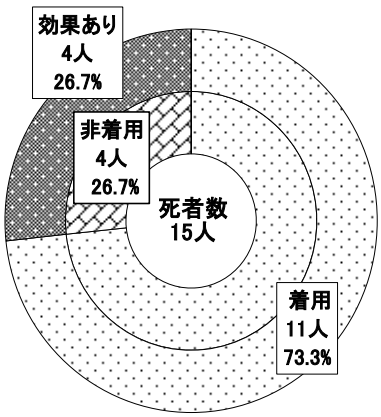


6　自動車のシートベルト着用状況

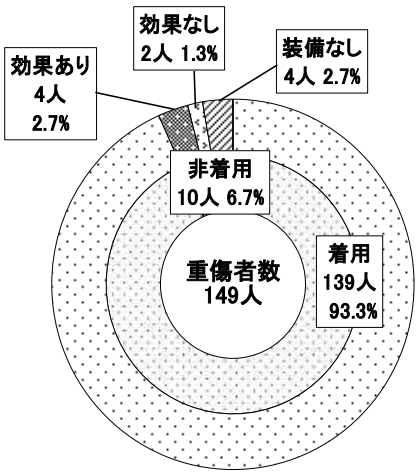
(1)　死傷者のシートベルト着用状況

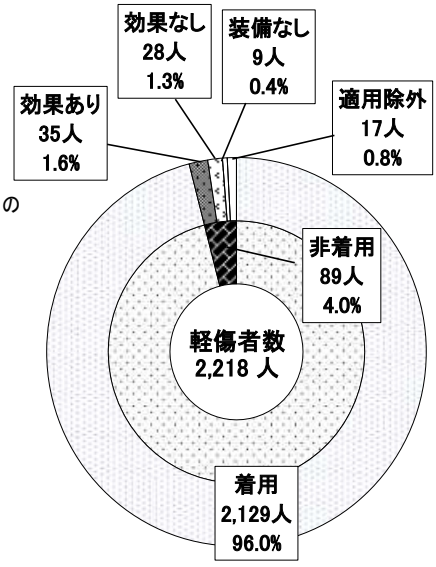
死傷者のシートベルト着用状況は、死者の着用率が最も低く、軽傷者、重傷者の順に着用率が高くなっている。

シートベルトの着用効果の有無を死者でみると、非着用者４人中４人（100.0%）はシートベルトをしていれば救命効果があったものと認められる。



※着用不明を除いた数



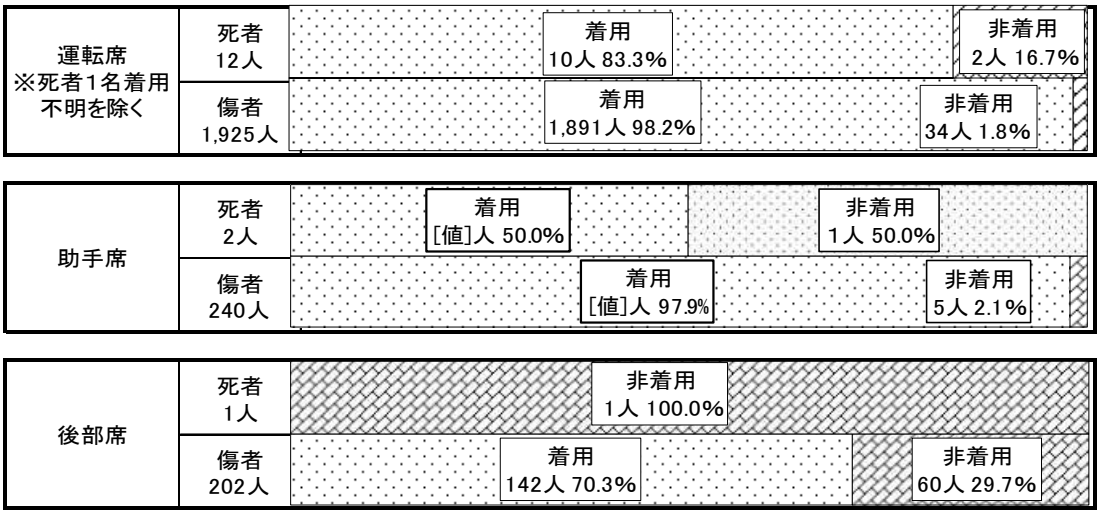


（注）効果あり・・・・・シートベルトを着用していれば、
損傷部位等から怪我の程度が軽くすんだと予想されるもの
効果なし・・・・・シートベルトを着用していても、損傷部位等から
怪我の程度に関係なかったと予想されるもの

(2)　座席別着用状況

傷者の着用率は、運転席が98.2%、助手席が97.9%、後部席が70.3%である。

死者の着用率は、運転席が83.3%、助手席が50.0%、後部席は0.0%であった。



(3) 年齢別

年齢別に死者の着用率をみると、25～29歳が0.0%と最も低く、次いで70歳代が57.1%となっている。傷者の着用率は、20歳未満が89.5%と最も低く、25～29歳が97.3%と最も高い。

（単位：人・%）

年齢＼区分		運転席			助手席			後部席			合計		
		総数	着用者	着用率	総数	着用者	着用率	総数	着用者	着用率	総数	着用者	着用率
20歳未満	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	23	23	100.0	28	27	96.4	73	61	83.6	124	111	89.5
20～24歳	死者	2	2	100.0			－			－	2	2	100.0
	傷者	128	126	98.4	31	30	96.8	13	8	61.5	172	164	95.3
25～29歳	死者	1		－			－			－	1	0	0.0
	傷者	186	181	97.3	24	24	100.0	10	9	90.0	220	214	97.3
30歳代	死者	1	1	100.0	1	1	100.0			－	2	2	100.0
	傷者	414	405	97.8	40	39	97.5	20	13	65.0	474	457	96.4
40歳代	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	454	445	98.0	40	40	100.0	23	15	65.2	517	500	96.7
50歳代	死者	1	1	100.0			－			－	1	1	100.0
	傷者	323	319	98.8	25	24	96.0	20	10	50.0	368	353	95.9
60～64歳	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	118	117	99.2	9	9	100.0	9	6	66.7	136	132	97.1
65～69歳	死者	2	2	100.0			－			－	2	2	100.0
	傷者	127	126	99.2	13	12	92.3	5	3	60.0	145	141	97.2
70歳以上	死者	5	4	80.0	1		－	1		0.0	7	4	57.1
	傷者	152	149	98.0	30	30	100.0	29	17	58.6	211	196	92.9
合計	死者	12	10	83.3	2	1	50.0	1	0	0.0	15	11	73.3
	傷者	1,925	1,891	98.2	240	235	97.9	202	142	70.3	2,367	2,268	95.8

※死者数は着用不明を除いた数

(4) 時間別

時間別に死者の着用率をみると、６～８時、18～20時が０%で０～２時、８～10時、14～16時、22～24時が100%となっている。

傷者は14～16時が97.7%と最も高く、０～２時が66.7%と最も低い。

（単位：人・%）

時間＼区分		運転席			助手席			後部席			合計		
		総数	着用者	着用率	総数	着用者	着用率	総数	着用者	着用率	総数	着用者	着用率
0～2	死者	1	1	－			－			－	1	1	100.0
	傷者	13	12	92.3	5	4	80.0	6		0.0	24	16	66.7
2～4	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	10	9	90.0	3	2	66.7	1		0.0	14	11	78.6
4～6	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	23	22	95.7	5	5	100.0	2		0.0	30	27	90.0
6～8	死者	1		0.0			－			－	1	0	0.0
	傷者	255	252	98.8	8	8	100.0	13	8	61.5	276	268	97.1
8～10	死者	1	1	100.0			－			－	1	1	100.0
	傷者	249	247	99.2	19	19	100.0	28	19	67.9	296	285	96.3
10～12	死者	1	1	100.0			－	1		－	2	1	50.0
	傷者	249	246	98.8	33	33	100.0	30	20	66.7	312	299	95.8
12～14	死者	2	2	100.0	1		－			－	3	2	66.7
	傷者	265	260	98.1	47	45	95.7	25	19	76.0	337	324	96.1
14～16	死者	1	1	100.0			－			－	1	1	100.0
	傷者	228	224	98.2	40	40	100.0	31	28	90.3	299	292	97.7
16～18	死者	3	3	100.0	1	1	－			－	4	4	100.0
	傷者	325	320	98.5	38	38	100.0	43	33	76.7	406	391	96.3
18～20	死者	1		0.0			－			－	1	0	0.0
	傷者	206	201	97.6	20	20	100.0	15	11	73.3	241	232	96.3
20～22	死者			－			－			－	0	0	－
	傷者	74	70	94.6	15	14	93.3	5	3	60.0	94	87	92.6
22～24	死者	1	1	－			－			－	1	1	100.0
	傷者	28	28	100.0	7	7	100.0	3	1	33.3	38	36	94.7
合計	死者	12	10	83.3	2	1	50.0	1	0	0.0	15	11	73.3
	傷者	1,925	1,891	98.2	240	235	97.9	202	142	70.3	2,367	2,268	95.8

※死者数は着用不明を除いた数

(5)　６歳未満のシートベルト・チャイルドシート着用状況

四輪乗車中に死傷した６歳未満の幼児は

死者数　　０人（前年比　±０人）

傷者数　　22人（前年比　　６人　　37.5%減）

で、昨年に続き死者は０人で、傷者数は増加した。

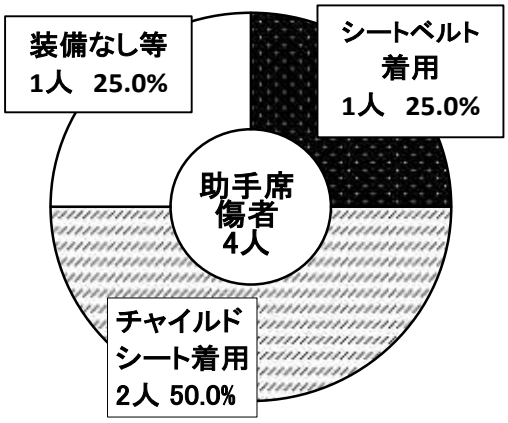
乗車位置別死傷者数は、助手席が４人（うち死者０人）、後部座席が18人（うち死者０人）となっている。

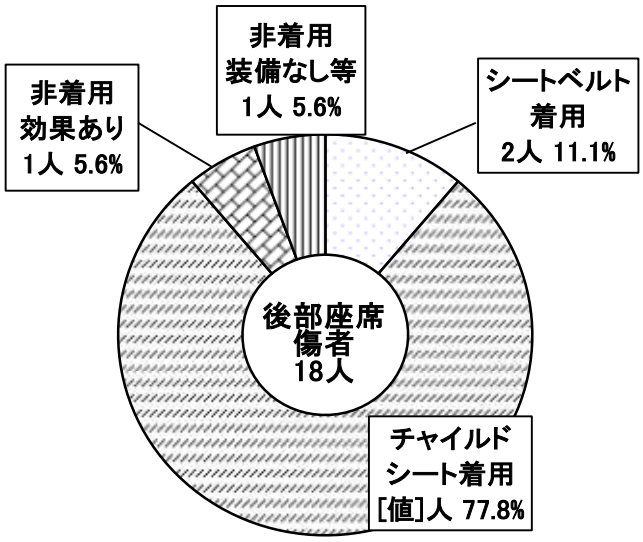
【助手席】　（単位：人）

着用の有無等 ＼ 助手席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	1		
	チャイルドシート	2		
	計	3	0	0
非着用	効果あり			
	効果なし			
	計	0	0	0
装備なし等		1		
合計		4	0	0

【後部座席】　（単位：人）

着用の有無等 ＼ 後部席死傷者		死傷者数	内死亡	内重傷
着用	シートベルト	2		
	チャイルドシート	14		
	計	16	0	0
非着用	効果あり	1		
	効果なし			
	計	1	0	0
装備なし等		1		
合計		18	0	0





非着用のうち	
効果あり	0人
効果なし	0人

非着用のうち	
効果あり	1人
効果なし	0人

助手席乗車中のうち	
死　亡	0人
重　傷	0人

後部席乗車中のうち	
死　亡	0人
重　傷	0人

7　青年運転者の事故

(1)　概況

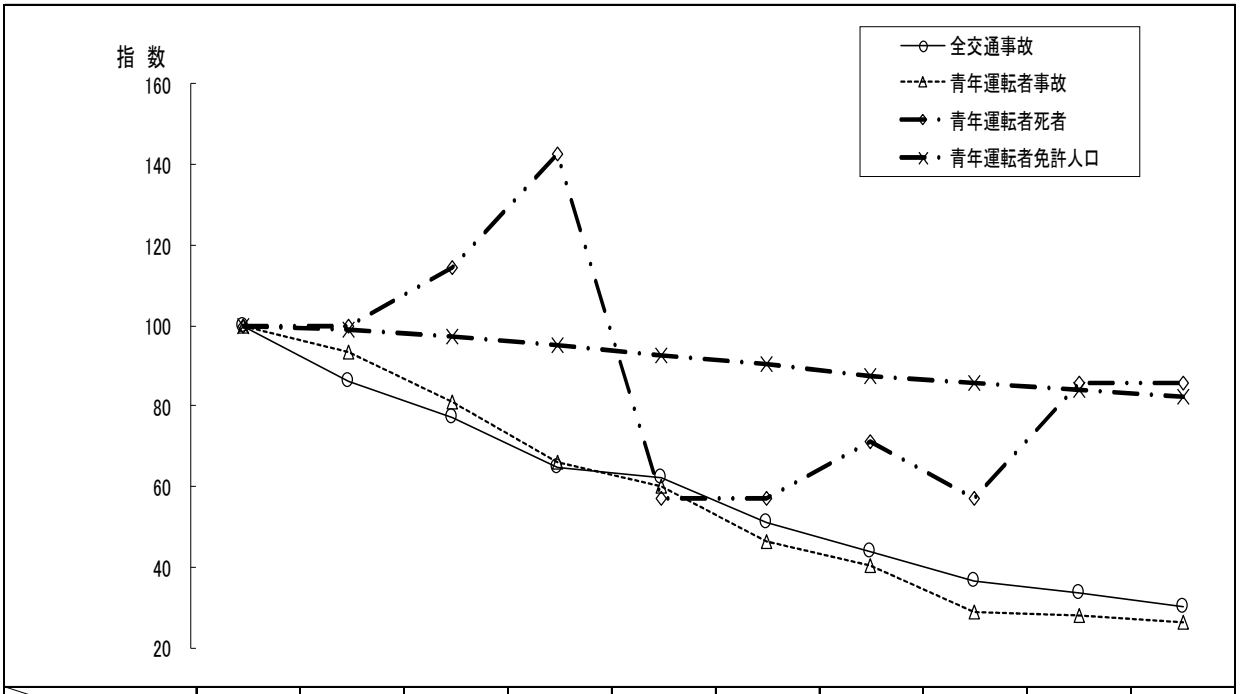
青年運転者が第１当事者となった事故は、

発生件数	359件（前年比	－20件	5.3%減）
死者数	６人（前年比	±０人	）
傷者数	432人（前年比	－19人	4.2%減）

で、発生件数、傷者数は減少し、死者数の増減はなかった。

全事故に占める割合は、件数が13.3%、死者数が12.8%、傷者数が13.8%となっている。

（単位：件・人・%）



区分＼年			平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
全交通事故			8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592	3,919	3,266	2,997	2,702
		指数	100	86	77	65	62	51	44	36	33	30
青年運転者	件数		1,357	1,266	1,099	895	816	627	547	390	379	359
		指数	100	93	81	66	60	46	40	29	28	26
	死者		7	7	8	10	4	4	5	4	6	6
		指数	100	100	114	143	57	57	71	57	86	86
	傷者		1,737	1,619	1,366	1,150	1,016	786	698	468	451	432
		指数	100	93	79	66	58	45	40	27	26	25
	免許人口		99,104	98,009	96,548	94,397	91,898	89,595	86,499	84,986	83,112	81,543
		指数	100	99	97	95	93	90	87	86	84	82
	全事故に占める割合(%)	件数	15.2	16.4	15.9	15.4	14.6	13.7	14.0	11.9	12.6	13.3
		死者	8.9	8.0	10.4	11.1	5.9	5.3	8.2	7.0	12.2	12.8
		傷者	15.7	17.1	16.4	16.2	15.1	14.3	14.9	12.1	13.1	13.8

(2)　車種別・違反別

車種別では、普通乗用車が177件で最も多く、青年運転者の49.3%を占めている。

違反別では、前方不注意が84件で最も多く23.4%を占めている。

悪質違反による事故は76件で青年運転者の21.2%を占め、うち一時不停止が30件と最も多く、次いで信号無視が25件となっている。

（単位：件）

違反＼車種		自動車							二輪車				合計
		大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	特殊	小二	軽二	原二	原付	
悪質違反	信号無視		15	9		1							25
	最高速度		2										2
	通区・追越		6	3			1						10
	歩行者妨害等		1	6		2							9
	一時不停止		19	11									30
	酒酔い運転												0
計		0	43	29	0	3	1	0	0	0	0	0	76
横断禁止等			1										1
右折違反													0
左折違反													0
優先通行妨害等			9	7		2							18
交差点安全進行			9	4					1				14
徐行違反													0
過労運転				1									1
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		20	13			1						34
	前方不注意		36	34	5	4	5						84
	動静不注視		24	25	3	3	5						60
	安全不確認		30	25			1						56
	安全速度		4	2									6
	その他			3		1							4
	計	0	114	102	8	8	12	0	0	0	0	0	244
その他			1	3	1								5
合計		0	177	146	9	13	13	0	1	0	0	0	359

(3)　時間別・道路別

時間別では、18～20時が62件と最も多く、次いで６～８時、16～18時の59件となっている。

道路別では、が市町村道131件と最も多く、次いで国道が108件となっている。

（単位：件）

区分＼時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計
国道	4号	2		2	5	3	4	5	1	4	7	4	1	38
	6号				3	2	2	2	1	1	5			16
	13号								1	1	2	1		5
	49号				2		1	1		4	1	1	1	11
	三桁			1	4	4	4	4	6	5	9		1	38
計		2	0	3	14	9	11	12	9	15	24	6	3	108
県道		1			21	12	7	10	7	17	21	6	5	107
市町村道		1	2	2	23	15	14	13	11	24	17	8	1	131
高速道						2		1		1				4
その他				1	1	1	1	2		2		1		9
合計		4	2	6	59	39	33	38	27	59	62	21	9	359

(4)　事故類型別

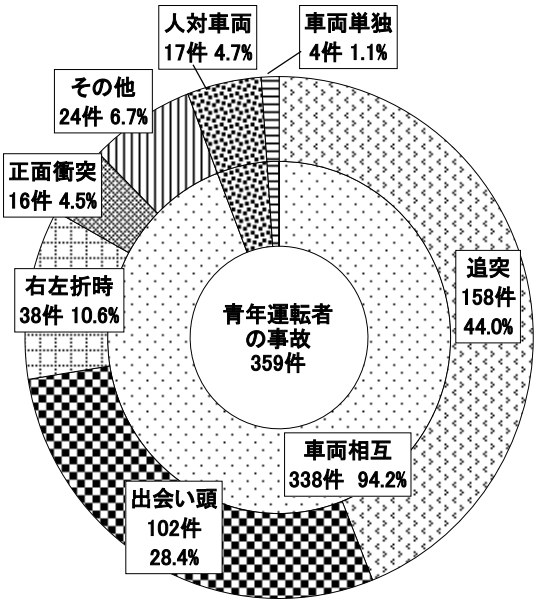
車両相互が338件で青年運転者事故の94.2%を占めている。

特に、

追　　突：　158件（44.0%）

出会い頭：　102件（28.4%）

が多く、両事故類型を合わせると260件で車両相互の72.4%を占めている。

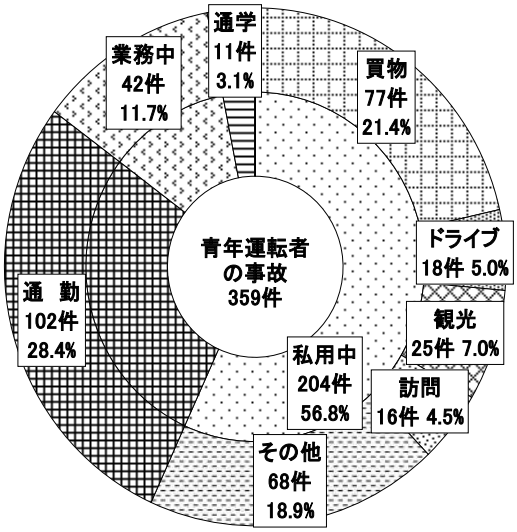


(5)　通行目的別

私用中が204件で青年運転者事故の56.8%を占めている。

特に、買物が77件と多く、私用中事故の21.4%を占め、次いで観光が25件、ドライブが18件となっている。

また通勤時の事故も 102件発生し、青年運転者事故の28.4%を占めている。



(6)　車種別・速度別（事故直前速度）

事故直前の速度をみると、50キロメートル以下が 315件で最も多く、青年運転者事故の87.7%を占めている。

（単位：件）

速度＼車種	自動車											二輪車				合計
	大乗	中乗	準中型	普乗	軽乗	大貨	中貨	準中型	普貨	軽貨	特殊	小二	軽二	原二	原付	
停止中																0
50 km/h 以下				151	135		1	3	12	12		1				315
60 km/h 以下				14	11			2		1						28
70 km/h 以下				6				1								7
80 km/h 以下				3												3
90 km/h 以下						1										1
100 km/h 以下				1												1
101 km/h 以上				1				1	1							3
調査不能				1												1
合計	0	0	0	177	146	1	1	7	13	13	0	1	0	0	0	359

(7)　人的原因別

発見の遅れが239件と多く、青年運転者による事故の66.6%を占めている。

このうち前方不注意が143件と最も多くなっており、発見の遅れの59.8%を占めている。

交通事故の人的原因（第１当）		（単位：件・人）
合　計	件数	359
	死者	6
	傷者	432
発見の遅れ　計	件数	239
	死者	3
	傷者	291
前方不注意　計	件数	143
	死者	2
	傷者	179
内在的（漫然等）　計	件数	55
	死者	0
	傷者	68
居眠り運転	件数	3
	死者	0
	傷者	5
ラジオ・ステレオを聴いていた	件数	0
	死者	0
	傷者	0
雑談や携帯電話等で話していた	件数	2
	死者	0
	傷者	3
その他、考え事等の漫然運転	件数	50
	死者	0
	傷者	60
外在的（脇見等）　計	件数	88
	死者	2
	傷者	111
物を落とした、物を取ろうとした	件数	16
	死者	1
	傷者	20
同乗者、同乗の動物等に脇見	件数	5
	死者	0
	傷者	6
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	件数	4
	死者	0
	傷者	7
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	件数	3
	死者	0
	傷者	4
雑誌、地図帳等を見ていた	件数	2
	死者	0
	傷者	4
道、案内標識等を探して脇見	件数	5
	死者	0
	傷者	6
風景、地物等に脇見	件数	30
	死者	0
	傷者	37
他の車、歩行者に脇見	件数	11
	死者	0
	傷者	14
バックミラーやドアミラーを見ていた	件数	0
	死者	0
	傷者	0
その他脇見	件数	12
	死者	1
	傷者	13
安全不確認　計	件数	96
	死者	1
	傷者	112
安全確認をしなかった	件数	37
	死者	0
	傷者	45
安全確認が不十分だった	件数	59
	死者	1
	傷者	67

交通事故の人的原因（第１当）		（単位：件・人）
判断の誤り等　計	件数	82
	死者	1
	傷者	97
動静不注視　計	件数	69
	死者	1
	傷者	79
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	件数	2
	死者	0
	傷者	3
他の危険を避けようとして注視を怠った	件数	4
	死者	0
	傷者	6
その他特に具体的危険性がないとして注視を怠った	件数	63
	死者	1
	傷者	70
予測不適　計	件数	6
	死者	0
	傷者	10
運転感覚（速度、車幅、距離等）を誤った	件数	2
	死者	0
	傷者	4
相手がルールを守ると思った	件数	0
	死者	0
	傷者	0
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	件数	2
	死者	0
	傷者	4
他の事故（危険）を避けようと思った	件数	0
	死者	0
	傷者	0
その他相手の行動予見等の判断を誤った	件数	2
	死者	0
	傷者	2
交通環境　計	件数	7
	死者	0
	傷者	8
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	件数	1
	死者	0
	傷者	1
道路環境（路面凍結や霧など）に対する認識を誤った	件数	4
	死者	0
	傷者	5
交通規制に対する認識を誤った	件数	2
	死者	0
	傷者	2
交通安全施設に対する認識を誤った	件数	0
	死者	0
	傷者	0
障害物等に対する認識を誤った	件数	0
	死者	0
	傷者	0
その他の交通環境に対する認識を誤った	件数	0
	死者	0
	傷者	0
操作上の誤り（操作不適）　計	件数	37
	死者	0
	傷者	44
ブレーキとアクセルの踏み違い	件数	1
	死者	0
	傷者	1
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	件数	9
	死者	0
	傷者	10
急ブレーキをかけた	件数	5
	死者	0
	傷者	7
エンジン・ブレーキを使用しなかった	件数	0
	死者	0
	傷者	0
ハンドルの操作不適	件数	3
	死者	0
	傷者	4
ギヤの入れ違い	件数	1
	死者	0
	傷者	1
ブレーキをかけながらハンドル操作	件数	1
	死者	0
	傷者	1
オートスピードコントロール装置等の操作不適	件数	0
	死者	0
	傷者	0
その他の操作不適	件数	17
	死者	0
	傷者	20
調査不能	件数	1
	死者	2
	傷者	0

8　高齢者の事故（65歳以上）

(1)　高齢運転者による事故

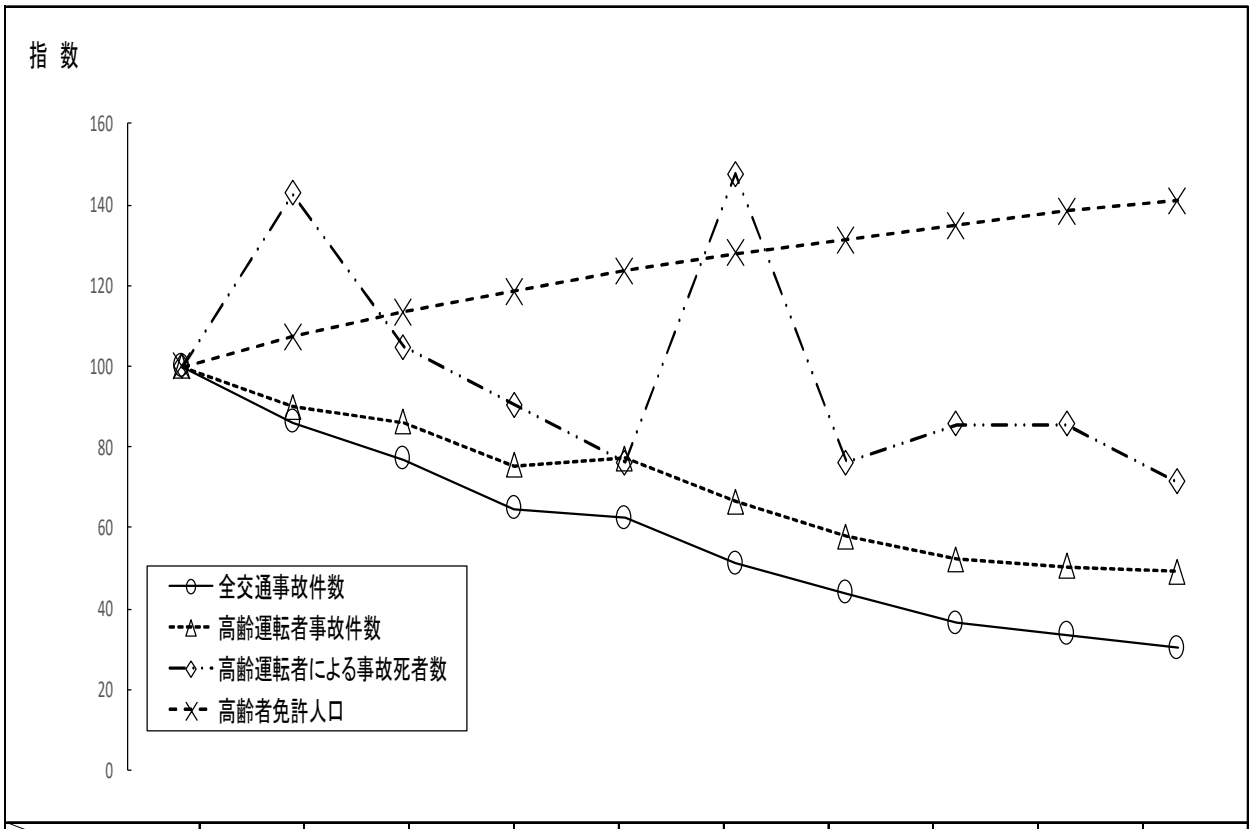
ア　概況

高齢運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数	786件（前年比	－20件	2.5%減）
死者数	15人（前年比	－３人	16.7%減）
傷者数	904人（前年比	－22人	2.4%減）

で、発生件数、死者数、傷者数は減少した。

（単位：件・人・%）



区分＼年			平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
全交通事故			8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592	3,919	3,266	2,997	2,702
		指数	100	86	77	65	62	51	44	36	33	30
高齢運転者	件数		1,601	1,439	1,379	1,207	1,238	1,064	925	837	806	786
		指数	100	90	86	75	77	66	58	52	50	49
	死者		21	30	22	19	16	31	16	18	18	15
		指数	100	143	105	90	76	148	76	86	86	71
	傷者		1,930	1,756	1,659	1,429	1,469	1,247	1,068	1,003	926	904
		指数	100	91	86	74	76	65	55	52	48	47
	免許人口		259,319	277,955	293,866	307,407	320,917	331,891	340,409	349,625	358,802	365,882
		指数	100	107	113	119	124	128	131	135	138	141
	全事故に占める割合(%)	件数	17.9	18.7	20.0	20.8	22.2	23.2	23.6	25.6	26.9	29.1
		死者	26.6	34.5	28.6	21.1	23.5	41.3	26.2	31.6	36.7	31.9
		傷者	17.4	18.6	19.9	20.1	21.9	22.7	22.8	26.0	26.9	28.9

イ　時間別・道路別

時間別では10～12時が139件と最も多く、次いで16～18時の135件、14～16時の126件の順となっている。

８時～18時までの発生が627件と高齢運転者事故の79.8％を占めている。

また、路線別では県道・市町村道のいわゆる生活道路で多発し、526件と高齢運転者事故の66.9％を占めている。

（単位：件）

区分＼時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24	合計	昼間	夜間
国道	4号		1		2	4	11	5	4	7	6	1	2	43	32	11
	6号			1	2	5	2	1	4	3		1		19	16	3
	13号			1	1	2	3		2	2	2			13	9	4
	49号				3	4	5	7		4	2			25	21	4
	三桁			1	9	15	22	6	20	19	5	3	3	103	83	20
	計	0	1	3	17	30	43	19	30	35	15	5	5	203	161	42
県道				1	20	27	34	36	32	32	13	1	1	197	176	21
市町村道		1		1	31	43	48	54	55	65	22	8	1	329	274	55
高速道												1		1		1
その他		1	2	1	2	7	14	11	9	3	5	1		56	49	7
合計		2	3	6	70	107	139	120	126	135	55	16	7	786	660	126

ウ　車種別

車種別では普通乗用車が374件で、高齢運転者事故の47.6％を占め、次いで軽乗用車の260件、軽貨物車の111件と続いている。

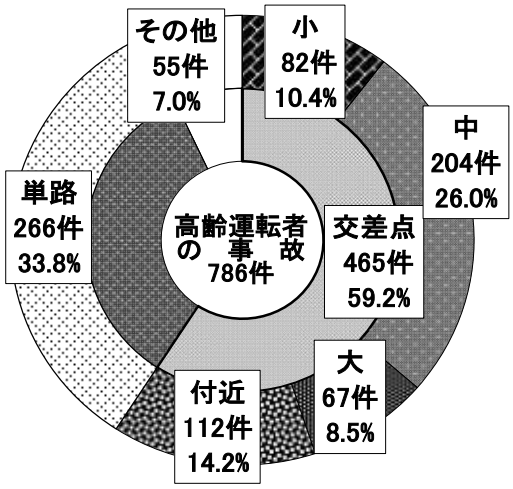
。　（単位：件）

年齢＼車種	自動車						特殊車	二輪車			合計
	大乗等	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨		自二	原二	原付	
65～69歳		127	81	9	5	28					250
70歳代	1	184	135	11	10	59	1			2	403
80歳以上	1	63	44			24			1		133
合計	2	374	260	20	15	111	1	0	1	2	786

エ　道路形状別

交差点での事故は465件で、高齢運転者事故の59.2パーセントを占めている。

特に交差点（中）での発生が多く、交差点事故全体の26.0％を占めている。



オ　違反別

安全不確認による事故が188件と最も多く、高齢運転者事故の23.9%を占め、次いで前方不注意が153件となっている。

悪質違反は219件で、一時不停止が72件と最も多く、次いで歩行者妨害等の65件、信号無視の57件の順に多い。

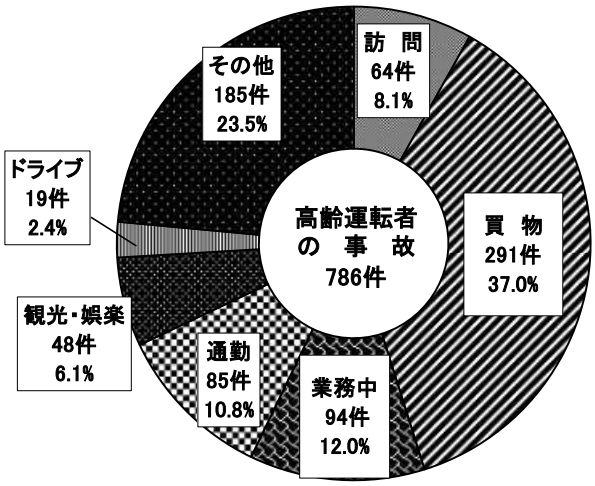
高齢運転者の悪質違反による事故の占める割合は27.9%となっており、全年齢運転者の交通事故に占める悪質違反の割合23.8%と比較すると4.1ポイント上回るなど悪質運転による事故の占める割合が高い。

（単位：件・%）

違反／区分	悪質違反							横断禁止等	右折	左折	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反							その他	合計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転	計							ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注視	安全不確認	安全速度	その他	計		
件数	57	1	24	65	72		219	2	1		44	34	3	59	153	61	188	6	6	473	10	786
構成率(%)	7.3	0.1	3.1	8.3	9.2	0.0	27.9	0.3	0.1	0.0	5.6	4.3	0.4	7.5	19.5	7.8	23.9	0.8	0.8	60.2	1.3	100.0

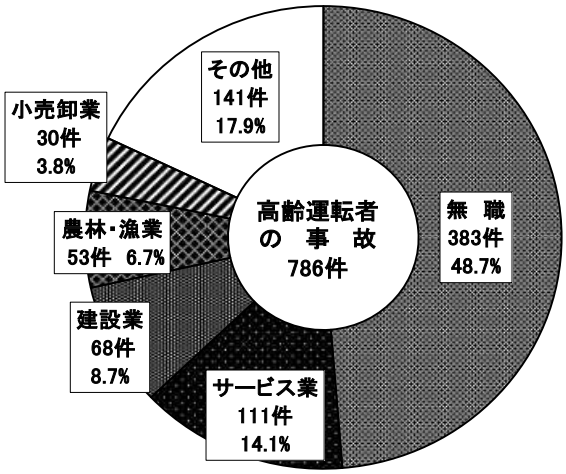
カ　通行目的別

買物が 291件と多く、高齢運転者事故の37.0%を占めている。



キ　職業別

無職が383件と最も多く、高齢運転者の48.7%を占めている。



ク　免許人口に占める事故率（年齢別交通事故発生状況）

（単位：人・件・%）

区分＼年齢	25歳未満	25～64歳	65歳以上	合計
免許人口	81,543	822,686	365,882	1,270,111
構成率(%)	6.4	64.8	28.8	100
件数	359	1,526	786	2,671
構成率(%)	13.4	57.1	29.4	100
死者	6	26	15	47
構成率(%)	12.8	55.3	31.9	100
傷者	432	1,765	904	3,101
構成率(%)	13.9	56.9	29.2	100

※　原付以上の運転者が対象（不明除く）　　（免許人口は令和4年12月末現在）

(2)　高齢者の死傷者

ア　概況

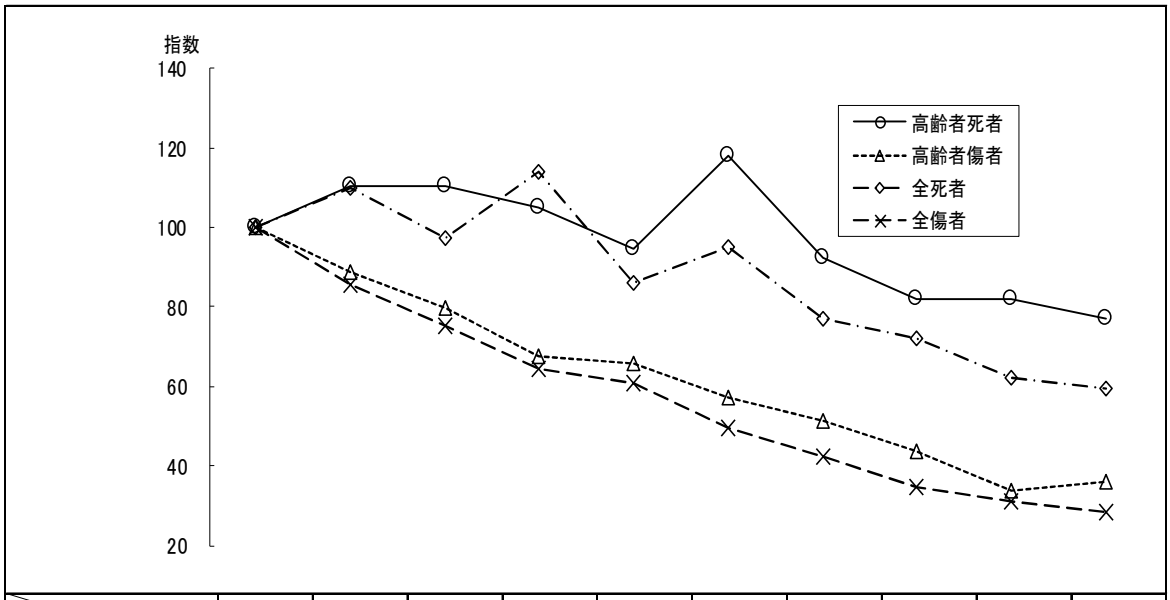
交通事故で死傷した高齢者は、

死者数　　30人（前年比　－２人　　6.3%減）

傷者数　　571人（前年比　　34人　　6.3%増）

で、死者数は減少し、傷者数は増加した。

（単位：人）



死傷者＼年			平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
高齢者死傷者	死者		39	43	43	41	37	46	36	32	32	30
		指数	100	110	110	105	95	118	92	82	82	77
	傷者		1,587	1,411	1,266	1,075	1,043	905	812	694	537	571
		指数	100	89	80	68	66	57	51	44	34	36
全死傷者	死者		79	87	77	90	68	75	61	57	49	47
		指数	100	110	97	114	86	95	77	72	62	59
	傷者		11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482	4,683	3,857	3,446	3,132
		指数	100	85	75	64	61	50	42	35	31	28

イ　道路別

市町村道での死傷者が多く、死者は９人で高齢者死者の30.0%、傷者は223人で高齢者傷者の39.1%を占めている。

（単位：人・%）

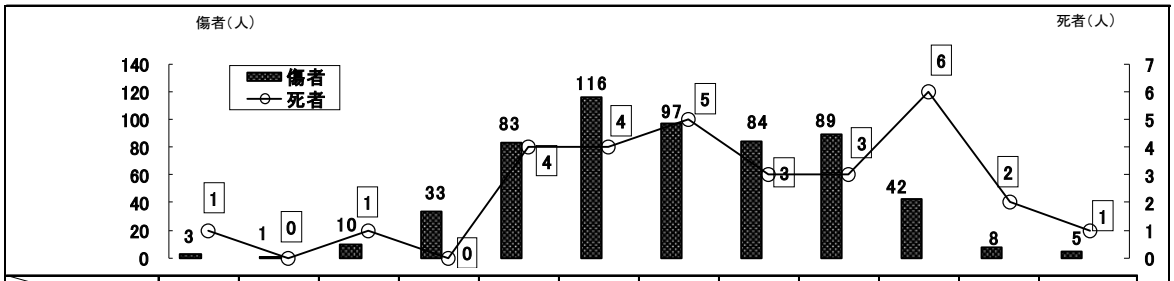
区分＼道路		国道 4号	国道 6号	国道 13号	国道 49号	国道 三桁	計	県道	市町村道	高速	その他	合計
死者		1			3	5	9	9	9		3	30
	構成率(%)	3.3	0.0	0.0	10.0	16.7	30.0	30.0	30.0	0.0	10.0	100.0
傷者		41	23	4	18	72	158	146	223	4	40	571
	構成率(%)	7.2	4.0	0.7	3.2	12.6	27.7	25.6	39.1	0.7	7.0	100.0

ウ　時間別

死者は18～20時の６人が最も多く、高齢者死者の20.0%を占め、次いで12～14時の５人、８～10時、10～12時の４人の順となっている。

傷者は10～12時の116人が最も多く、高齢者傷者の20.3%を占め、次いで12～14時の97人、16～18時の89人の順となっている。

（単位：人・%）



区分＼時間		0-2	2-4	4-6	6-8	8-10	10-12	12-14	14-16	16-18	18-20	20-22	22-24
死者		1	0	1	0	4	4	5	3	3	6	2	1
	構成率(%)	3.3	0.0	3.3	0.0	13.3	13.3	16.7	10.0	10.0	20.0	6.7	3.3
傷者		3	1	10	33	83	116	97	84	89	42	8	5
	構成率(%)	0.5	0.2	1.8	5.8	14.5	20.3	17.0	14.7	15.6	7.4	1.4	0.9

エ　年齢別・状態別

死者は歩行者の19人が最も多く、高齢死者の63.3%を占め、次いで四輪運転の７人の順となっている。

傷者は四輪運転が最も多く、次いで歩行者の順となっている。　（単位：人）

状態＼年齢	65～69歳		70歳代		80歳以上		合計	
	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者	死者	傷者
歩行者	5	21	4	53	10	62	19	136
自転車	1	7	1	28		28	2	63
原付		3		4		2	0	9
自二		3				1	0	4
四輪運転	2	127	5	126		26	7	279
四輪同乗		18	1	38	1	21	2	77
その他		1				2	0	3
合計	8	180	11	249	11	142	30	571

オ　違反別

(ｱ)　歩行者

死者のうち何らかの違反があったのは９人で47.4%を占め、横断歩道外横断が４人と多く、傷者のうち何らかの違反があったのは32人で23.5%を占め、横断歩道外横断が20人と多くなっている。

（単位：人）

区分＼違反	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	通行区分	横断					酩酊・徘徊	その他		
			横断歩道外	斜め横断	駐車停車両	直前直後走行車両	横断禁止場所				
死者	1	1	4				1	1	1	10	19
傷者	2	2	20	1	1	3		2	1	104	136

(ｲ)　自転車

死者の違反については、安全不確認１人となっている。

傷者のうち、何らかの違反があったのは31人で49.2%を占め、うち安全不確認が９人と多い。

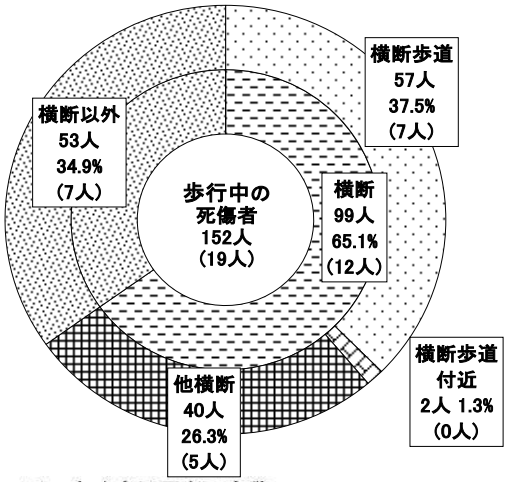
（単位：人）

区分＼違反	違反あり									違反なし	合計
	信号無視	右側通行	横断等禁止	優先通行妨害	交差点安全進行	一時不停止	酒酔い	安全不確認	その他		
死　者								1		1	2
傷　者	2	1			6	1		9	12	32	63

カ　事故類型別

(ｱ)　歩行者

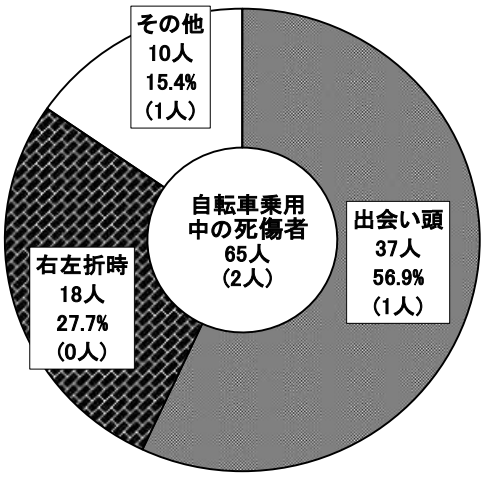
横断が152人と多く、歩行中死傷者の65.1%を占めている。



＊1　(　)内は死者で内数
＊2　人対車両事故以外の事故による歩行者の負傷者を除く

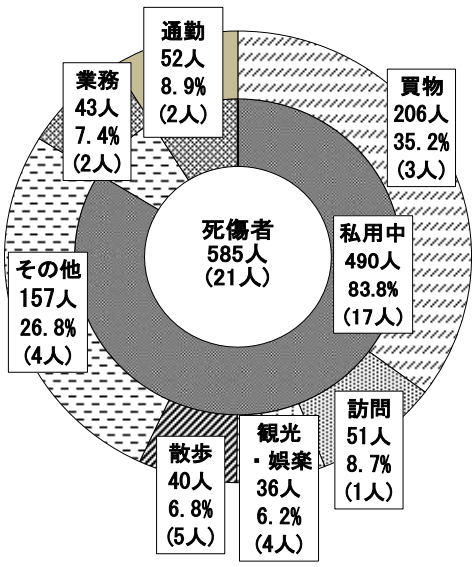
(ｲ)　自転車

出会い頭事故が37人と多く、自転車事故死傷者の56.9%を占めている。



キ　通行目的別

買物が206人と最も多く、高齢者死傷者全体の35.2%を占め、次いで通勤・訪問と続いている。



＊1　(　)内は死者で内数
＊2　通行目的が調査不能、道路外の人等を除く

9　初心運転者の事故

(1)　概況

初心運転者が第1当事者となった事故は、

発生件数　　90件（前年比　　－20件　　18.2%減）

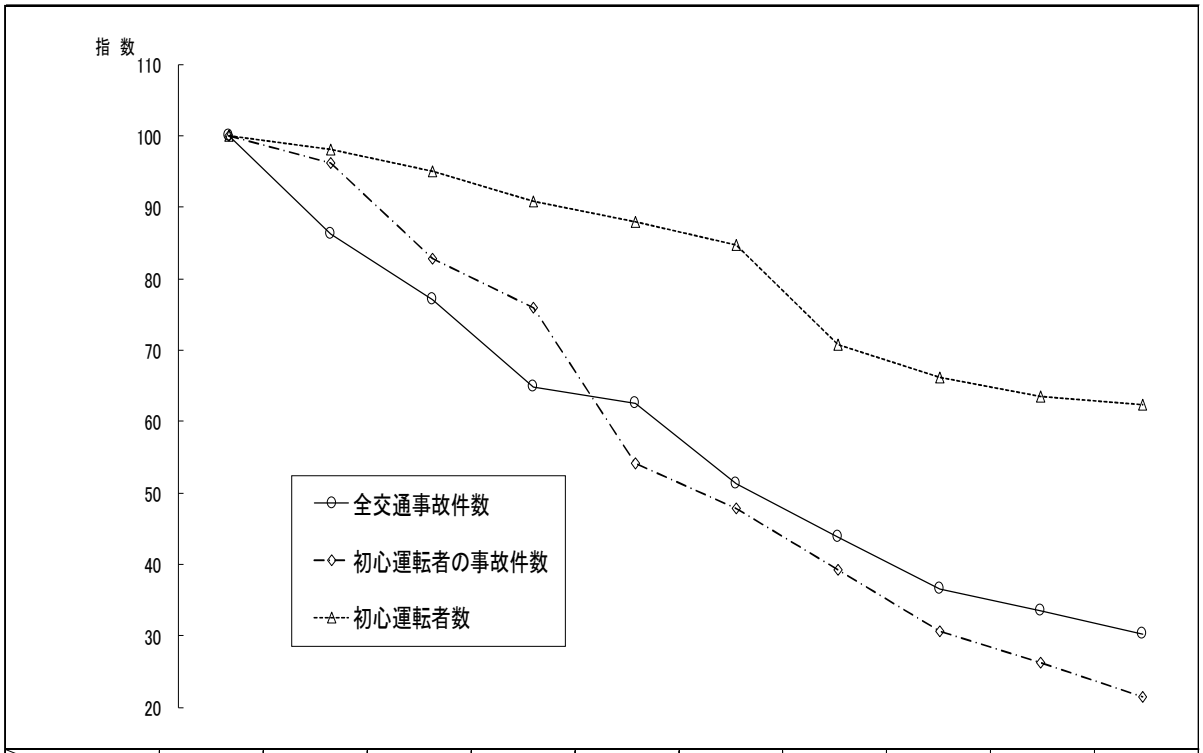
死者数　　1人（前年比　　－1人　　50.0%減）

傷者数　　104人（前年比　　－35 人　　25.2%減）

で、発生件数、死者数、傷者数は減少した。

過去10年間の推移をみると、初心運転者数は減少傾向にあり、全事故に占める初心運転者の事故割合もおおよそ減少傾向にある。

（単位：件・人・%）

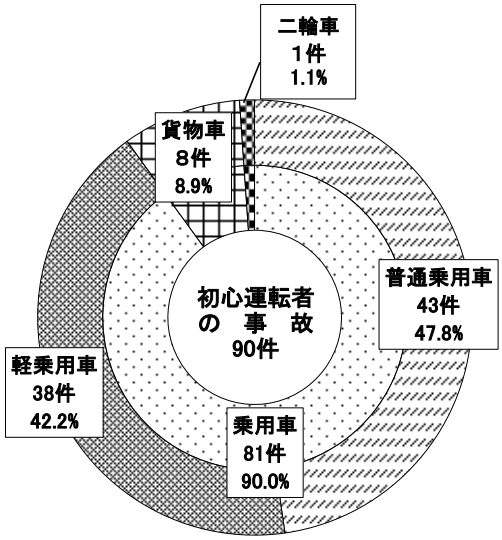


区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
全交通事故		8,948	7,710	6,894	5,802	5,588	4,592	3,919	3,266	2,997	2,702
	指数	100	86	77	65	62	51	44	36	33	30
初心運転者事故	件数	418	402	346	317	226	200	164	128	110	90
	指数	100	96	83	76	54	48	39	31	26	22
	死者	5	5	4	5	2	2	2	3	2	1
	指数	100	100	80	100	40	40	40	60	40	20
	傷者	534	519	450	395	285	248	205	166	139	104
	指数	100	97	84	74	53	46	38	31	26	19
全免許人口		1,305,412	1,306,025	1,308,015	1,308,583	1,307,658	1,303,412	1,298,162	1,289,837	1,283,186	1,270,111
	指数	100	100	100	100	100	100	99	99	98	97
初心運転者数		30,489	29,928	28,979	27,687	26,788	25,803	21,571	20,192	19,362	19,023
	指数	100	98	95	91	88	85	71	66	64	62
全事故に占める割合		4.7	5.2	5.0	5.5	4.0	4.4	4.2	3.9	3.7	3.3

(2)　車種別

乗用車が81件で初心運転者事故の90.0%を占め、普通乗用車の占める割合が47.8%と高い。

また、車種別全事故に占める初心運転者の事故割合をみると、小型二輪による事故３件のうち１件は初心運転者の事故で、その割合は33.3%であった。



（単位：件・%）

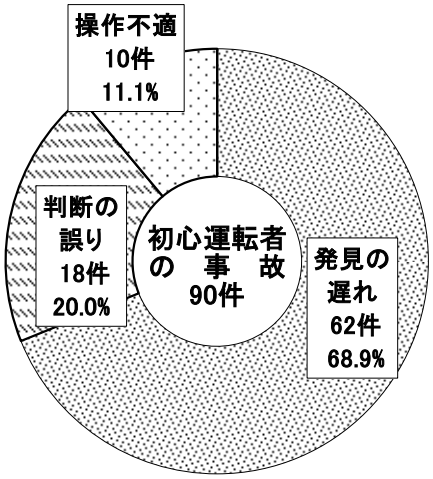
車　　種	事故件数	全事故に占める車種別初心運転者事故の占める割合
大型・中型・準中乗用車	0	0.0
普　通　乗　用　車	43	3.2
軽　乗　用　車	38	4.4
普　通　貨　物　車	2	1.8
軽　貨　物　車	6	2.7
大型・中型・準中貨物車	0	0.0
特　殊　車	0	0.0
小　型　二　輪　車	1	33.3
軽　二　輪　車	0	0.0
二　種　原　付	0	0.0
原　付	0	0.0

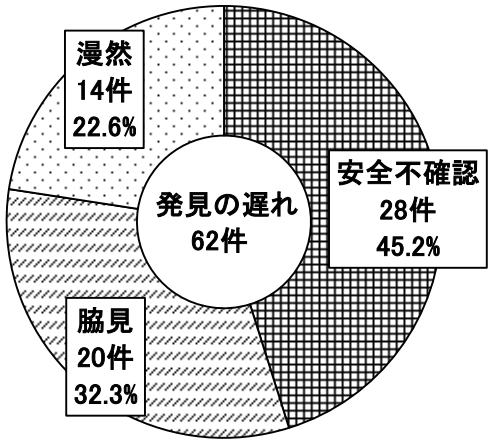
0.0　5.0　10.0　15.0　20.0　25.0　30.0　35.0(%)

(3)　人的原因

発見の遅れが62件で最も多く、初心運転者事故の68.9%を占めている。

発見の遅れのうち、安全不確認が28件と最多で、脇見が20件、漫然が14件となっている。





(4)　違反別

前方不注意が22件で初心運転者事故の24.4%を占め最も多く、次いで多いのが安全不確認の13件となっている。

悪質違反は22件で同事故の24.4%を占め、うち一時不停止が10件で最も多く、次いで信号無視が７件となっている。両違反を合わせると17件となり、悪質違反の77.3%を占めている。

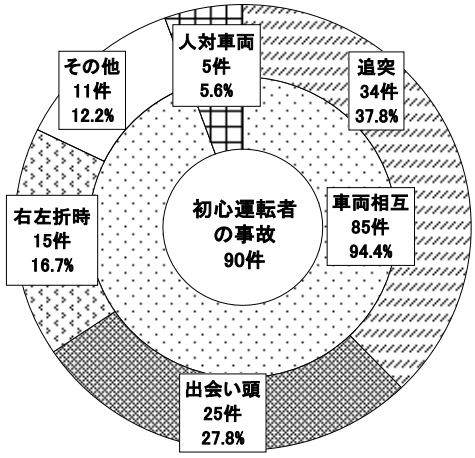
（単位：件・%）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	7	7.8	徐行違反			0.0
	最高速度	1	1.1	過労運転			0.0
	通区・追越	2	2.2	安全運転義務違反	ハンドル操作		0.0
	歩行者妨害等	2	2.2		ブレーキ操作	8	8.9
	一時不停止	10	11.1		前方不注意	22	24.4
	酒酔い運転		0.0		動静不注視	12	13.3
計		22	24.4		安全不確認	13	14.4
横断禁止等			0.0		安全速度	2	2.2
車間距離不保持			0.0		予測不適		0.0
進路変更禁止			0.0		その他	2	2.2
右・左折違反			0.0	計		59	65.6
優先通行妨害等		5	5.6	その他			0.0
交差点安全進行		4	4.4	合計		90	100.0

(5)　事故類型別

車両相互の事故が85件で初心運転者事故の94.4%を占めている。

その中でも追突が34件と多く、次いで出会い頭が25件と続いており、両事故で65.6%を占めている。



(6)　通行目的・年齢別

通行目的別では、買い物、出勤、退社が多く、合わせて50件で初心運転者事故の55.6%を占めており、年齢別では19歳未満の事故が62件（68.9%）となっている。　（単位：件・%）

通行目的＼区分		件数	構成率(%)	年齢別＼区分			件数	構成率(%)
業務	職業運転		0.0	年齢別	青年	16～19歳	62	68.9
	業務目的	3	3.3			20～24歳	22	24.4
通勤等	出勤	16	17.8		計		84	93.3
	退社	14	15.6		25～29歳		1	1.1
	通学	5	5.6		30歳代		3	3.3
私用	観光・娯楽	3	3.3		40歳代		1	1.1
	ドライブ	7	7.8		50歳代		0	0.0
	散歩		0.0		60～64歳			0.0
	飲食	2	2.2		計		5	5.6
	買物	20	22.2		高齢者	65～69歳		0.0
	訪問	3	3.3			70歳代		0.0
	帰省	2	2.2			80歳以上	1	1.1
	その他	15	16.7		計		1	1.1
調査不能			0.0	合計			90	100.0
合計		90	100.0	（内数）高校生				0.0

10　飲酒運転の事故

（注）各表の○は酒酔いで内数（以下飲酒運転事故表中の○は同じ）

(1)　概況

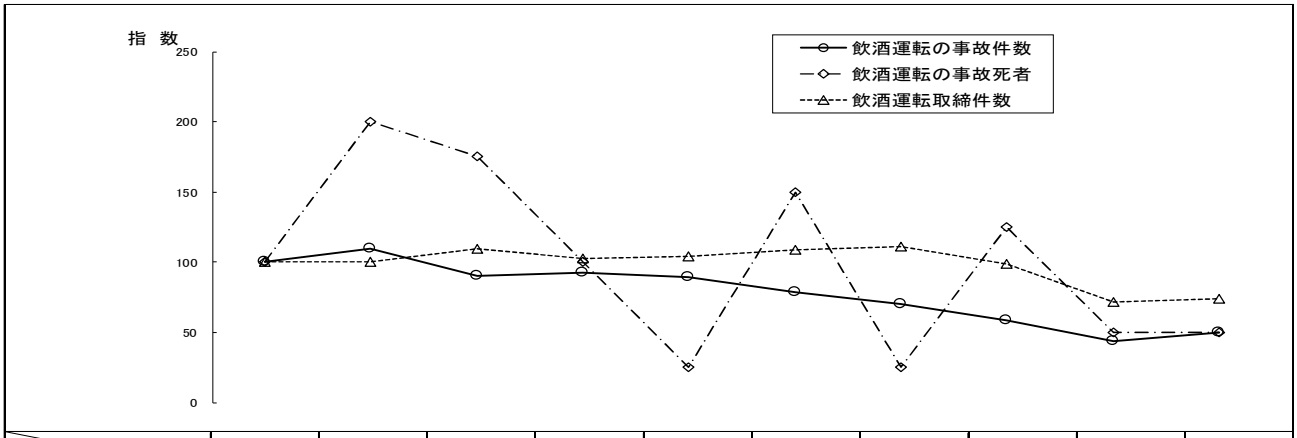
第１当事者が飲酒の状態で車両を運転して起こした事故は、

発生件数　47件（前年比　　６件　　14.6%増）　うち酒酔い　４件　前年比＋３件

死者数　　２人（前年比　　±０人）　　うち酒酔い　０人　前年比±０人

傷者数　　63人（前年比　　13人　　26.0%増）　うち酒酔い　４人　前年比＋３人

で、死者数は、前年と同数であったが発生件数、傷者数が増加した。　**（単位：件・人・%）**



区分＼年			平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
飲酒運転の事故	件数		94	103	85	87	84	74	66	55	41	47
		指数	100	110	90	93	89	79	70	59	44	50
	死者		4	8	7	4	1	6	1	5	2	2
		指数	100	200	175	100	25	150	25	125	50	50
	傷者		129	132	109	116	112	93	97	61	50	63
	酒酔い運転（内数）	件数	9	12	13	9	10	8	7	4	1	4
		死者	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
		傷者	11	21	22	11	12	15	11	7	1	4
全事故に占める割合(%)		件数	0.9	1.1	1.3	1.2	1.5	1.5	1.6	1.7	1.4	1.7
		死者	7.9	5.1	9.2	9.1	4.4	1.5	8.0	1.6	4.1	4.3
		傷者	1.1	1.2	1.4	1.3	1.6	1.7	1.7	2.1	1.5	2.0
取締り件数	酒酔い		35	47	49	46	36	26	36	31	11	16
	酒気帯び		379	367	405	377	394	423	425	376	284	291
	合計		414	414	454	423	430	449	461	407	295	307
		指数	100	100	110	102	104	108	111	98	71	74

(2)　月別

飲酒運転が最も多いのは11月の８件となっている。　**（単位：件・人）**

区分＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数	2	① 3	3	1	4	① 7	1	6	2	① 3	① 8	7	④ 47
全事故に占める割合	1.0	1.4	1.4	0.5	2.0	2.9	0.5	2.9	1.0	1.1	3.3	2.7	1.7
死者											1	1	2
傷者	2	① 3	4	1	7	① 7	1	8	3	① 6	① 9	12	④ 63

(3)　曜日・時間別

日曜日が12件と最も多く、次いで土曜日の10件となっている。

時間別では、20～22時が９件と多く、次に16～18時が８件と多い。　　（単位：件・%）

時間＼曜日	日		月		火		水		木		金		土		合計		全事故に占める割合
0 ～ 2		2														2	9.1
2 ～ 4	①	2												1	①	3	17.6
4 ～ 6						2		2		1						5	12.5
6 ～ 8		1		1								3		1		6	1.8
8 ～ 10		1								1			①	1	①	3	0.9
10 ～ 12								1						2		3	0.9
12 ～ 14		1			①	1				1		1	①	1	②	5	1.5
14 ～ 16																0	0.0
16 ～ 18		1		1				1		3		1		1		8	1.8
18 ～ 20		2														2	0.7
20 ～ 22		2						3				1		3		9	8.0
22 ～ 24								1								1	2.2
合計	①	12		2	①	3		8		6		6	②	10	④	47	1.7
全事故に占める割合		4.4		0.5		0.7		1.9		1.6		1.3		2.7		1.7	

(4)　発生地別

市部で42件発生し、飲酒運転の89.4%を占めている。特に郡山市、いわき市が多く、二市の合計は24件で、市部の57.1%を占めている。　　（単位：件・人）

区分＼発生地	福島市		二本松市		伊達市		本宮市		郡山市		須賀川市		白河市		田村市		会津若松市		喜多方市		いわき市		南相馬市		相馬市		各町村		合計	
件数	②	4								8		2		6				2		2	①	16		1		1	①	5	④	47
死者																						2								2
傷者	②	4								14		2		11				6		2	①	16		1		1	①	6	④	63

(5)　道路別

道路別で発生件数をみると、市町村道が18件で飲酒運転の38.3%を占めている。

死者は２人で、県道、市町村道で１人となっている。　　（単位：件・人）

区分＼道路	国道 4号		6号		13号		49号		三桁		計		県道 主要地方道		一般県道		計		市町村道		その他		合計	
件数		5		4				3		5		17	①	5		6		11	③	18		1	④	47
死者												0				1		1		1				2
傷者		8		4				5		8		25	①	8		9		17	③	20		1	④	63

(6)　事故類型別　　（単位：件・人）

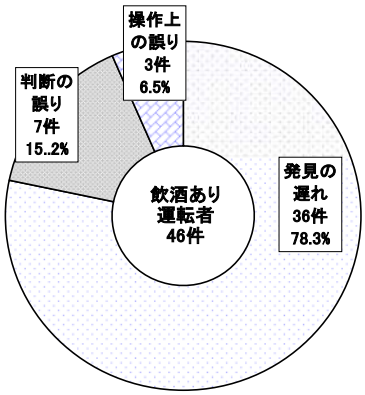
追突が最も多く、20件（42.6%）となっており、次いで出会い頭９件の順となっている。

車両相互の事故が発生件数、傷者数とも全体の約８割と高い割合を占めている。

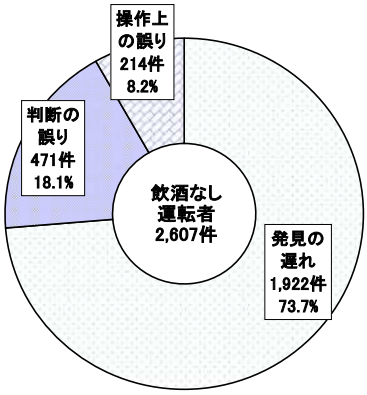
事故類型＼区分		件数		構成率(%)	死者		傷者		全事故に占める割合(%)
人対車両	対面・背面歩行中			0.0					0.0
	横断中		5	10.6		1		4	2.3
	その他	①	1	2.1			①	1	1.2
	計	①	6	12.8		1	①	5	1.7
車両相互	正面衝突		4	8.5				4	3.8
	追突	①	20	42.6			①	31	2.2
	出会い頭	②	9	19.1			②	13	1.2
	転回時			0.0					0.0
	右・左折時		4	8.5				5	1.4
	その他		1	2.1				1	0.4
	計	③	38	80.9		0	③	54	1.6
車両単独	工作物衝突		2	4.3				4	7.4
	路外逸脱			0.0					0.0
	駐車車両衝突			0.0					0.0
	転倒			0.0					0.0
	その他		1	2.1		1			14.3
	計		3	6.4		1		4	5.9
列車				0.0					0.0
合計		④	47	100.0		2	④	63	1.7

(7)　人的原因

飲酒なし運転者と比較すると、「発見の遅れ」の割合が4.6%と高くなっている。



※　調査不能1件を除く



※　第1当事者が歩行者、不明、調査不能を除く

(8)　飲酒動機・飲酒理由・飲酒場所

飲酒動機をみると、「少ししか飲まない」が11件、次いで「交通量が少なかった」が６件と多く、両項目で飲酒運転事故の36.2%を占めている。　　（単位：件・人）

区分＼動機		他に乗り物がなかった	翌日の出勤に困る	少ししか飲まない	酔さましをした	車を置いていくのが不安	運転代行がなかった	深夜なので大丈夫と思った	交通量が少なかった	その他不明	合計	飲酒運転のうち 酒酔い運転	飲酒運転のうち 酒気帯び運転
件数		3	2	11	3		3	5	6	14	47	4	39
	構成率(%)	6.4	4.3	23.4	6.4	0.0	6.4	10.6	12.8	29.8	100.0	8.5	83.0
死者					1					1	2		2
傷者		5	2	15	3		7	7	7	17	63	4	55

飲酒理由は「酒好き・晩酌等」が最も多く32件で68.1%を占めている。

飲酒場所は「自宅」が22件で46.8%を占めている。　　（単位：件・人）

飲酒場所＼飲酒理由		新年会忘年会	歓送迎会等	冠婚葬祭等の行事	花見祭典	各種会合	他家訪問	友人等とのつきあい	晩酌酒好き等	その他不明	合計	件数の構成率（%）
自宅	件数	0	0	0	0	0	0	0	21	1	22	46.8
	死者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	26	1	27	
知人・友人宅	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
取引・勤務先	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
料理店・キャバレー・バー・スナック	件数	1	1	0	0	0	0	5	6	1	14	29.8
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	5	1	0	0	0	0	8	7	1	22	
その他の料理店	件数	0	0	0	0	0	0	4	3	0	7	14.9
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	0	0	0	0	0	0	7	4	0	11	
旅館・ホテル等の宿泊施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2.1
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
ドライブイン・酒類販売店等	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
自動販売機付近	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他（不明）	件数	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3	6.4
	死者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
	傷者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
合計	件数	1	1	0	0	0	0	9	32	4	47	100.0
	死者	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	
	傷者	5	1	0	0	0	0	15	39	3	63	
件数の構成率(%)		2.1	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	19.1	68.1	8.5	100.0	

11　無免許運転の事故

「無免許運転」とは、停止中・無資格・審査未済・免許外・期限切れ・その他の無免許・条件違反による運転及び仮免許等違反をいう。

(1)　概況

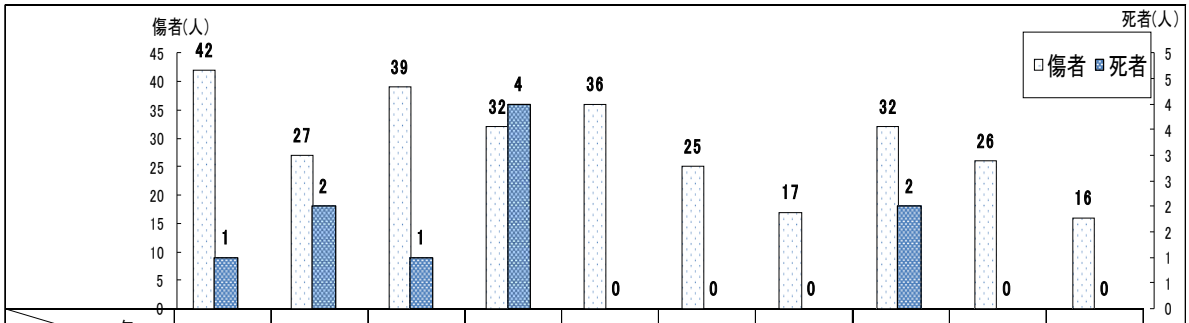
第１当事者が無免許運転であった事故は、

発生件数　　13件（前年比　　－６件　　31.6%減）

死者数　　０人（前年比　　±０人）

傷者数　　16人（前年比　　－10人　　38.5%減）

で、発生件数、傷者数で減少し、死者数は、前年と同じゼロであった。　　（単位：件・人・%）



区分＼年	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令2	令4
件数	29	23	30	26	25	19	10	26	19	13
全事故に占める割合	0.3	0.3	0.4	0.4	0.4	0.4	0.3	0.8	0.6	0.5
死者	1	2	1	4	0	0	0	2	0	0
全事故に占める割合	1.3	2.3	1.3	4.4	0.0	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0
傷者	42	27	39	32	36	25	17	32	26	16
全事故に占める割合	0.4	0.3	0.5	0.4	0.5	0.5	0.4	0.8	0.8	0.5

(2)　月別

10月に４件、４月、６月、９月でそれぞれ２件となっている。　　（単位：件・人）

区分＼月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件数			1	2	1	2			2	4		1	13
死者													0
傷者			1	2	1	2			2	7		1	16

(3)　発生地別

市部での発生が多く、最も多いいわき市は４件で無免許運転事故の30.8%を占めている。

（単位：件・人）

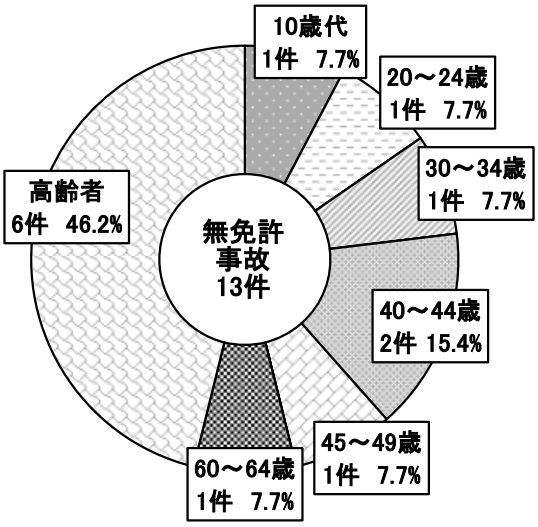
区分＼発生地	福島市	伊達市	二本松市	郡山市	本宮市	須賀川市	白河市	田村市	会津若松市	喜多方市	いわき市	南相馬市	相馬市	各町村	合計
件数	2	1		2		1		1	1		4			1	13
死者															0
傷者	2	1		2		1		1	1		7			1	16

(4)　年齢別

高齢者が６件（46.2%）で最も多く、次いで40歳代が３件となっている。

（単位：件）

区分／年齢		件数	区分／年齢	件数
10歳代	16歳未満	1	35 ～ 39 歳	
	16 歳		40 ～ 44 歳	2
	17 歳		45 ～ 49 歳	1
	18 歳		50 ～ 54 歳	
	19 歳		55 ～ 59 歳	
計		1	60 ～ 64 歳	1
20～24歳		1	高齢者	6
25～29歳			合計	13
30～34歳		1		



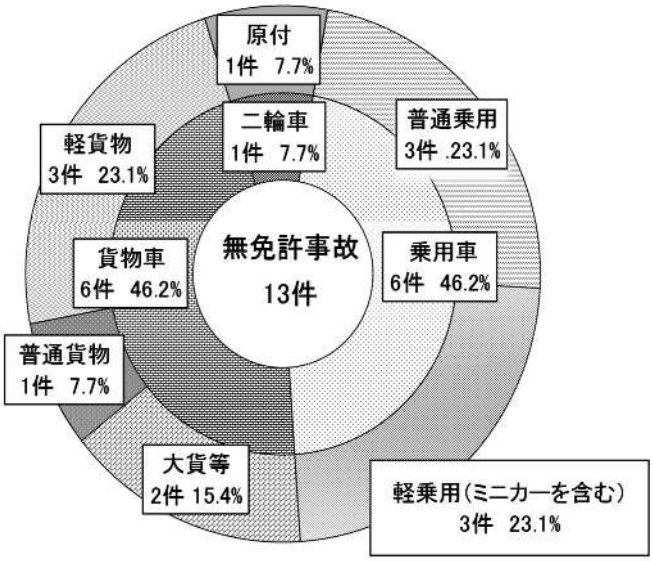
(5)　車種別

車種別では普通乗用車が３件、軽乗用車が３件となっており、全体の46.2%を占めている。

（単位：件・%）

区分／車種		件数	構成率(%)	全事故	無免許の割合
乗用車	バス・マイクロバス	0	0.0	8	0.0
	普通	3	23.1	1,340	0.2
	軽(ミニカーを含む)	3	23.1	854	0.4
	計	6	46.2	2,202	0.3
貨物車	大型・中型・準中型	2	15.4	122	1.6
	普通	1	7.7	111	0.9
	軽	3	23.1	221	1.4
	計	6	46.2	454	1.3
特殊車(大型・小型)		0	0.0	3	0.0
二輪車	小型二輪	0	0.0	3	0.0
	軽二輪	0	0.0	1	0.0
	二種原付	0	0.0	1	0.0
	原付	1	7.7	7	14.3
	計	1	7.7	12	8.3
合計		13	100.0	2,671	0.5

＊全事故は第1当事者が、軽車両、歩行者、不明など31件を除く



(6)　職業別

建設業が６件（46.2%）と多く、次いで無職が４件となっている。

（単位：件）

区分＼職業		職業運転手	官公署	農林漁業	建設業	製造業	卸小売業	運輸業	サービス業	主婦	無職	その他	合計
件数					6	1			1		4	1	13
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	46.2	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	30.8	7.7	100

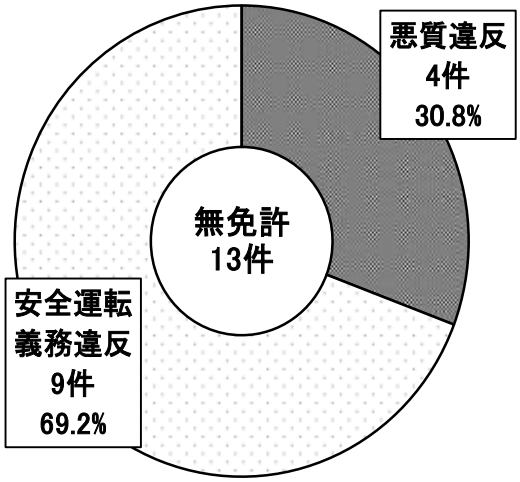
(7)　違反別・原因別

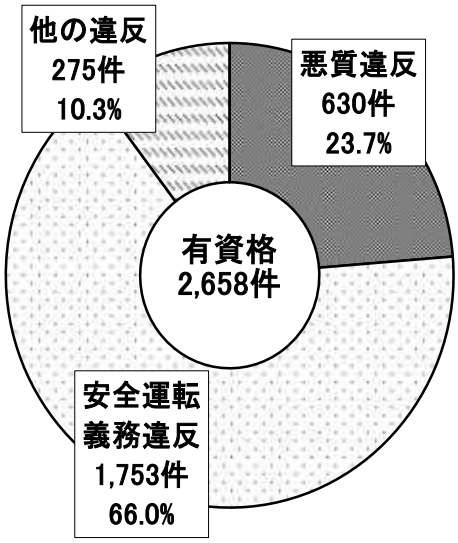
安全運転義務違反は９件で無免許運転全体の69.2%を占めており、うち前方不注意が最も多く６件（46.2%）となっている。

安全運転義務違反による事故の構成率は、無免許運転で69.2%、有資格者運転で66.0%といずれも高い割合となっている。

（単位：件）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	過労運転			0.0
	最高速度		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	7.7
	通区・追越	1	7.7		前方不注意	6	46.2
	歩行者妨害等	1	7.7		動静不注視		0.0
	一時不停止	2	15.4		安全不確認	1	7.7
	酒酔い運転		0.0		安全速度	1	7.7
計		4	30.8		その他		0.0
車間距離不保持			0.0	計		9	69.2
優先通行妨害等			0.0	その他			0.0
交差点安全進行			0.0	合計		13	100.0
左折違反			0.0	飲酒運転（内数）			0.0





(8)　人的原因別

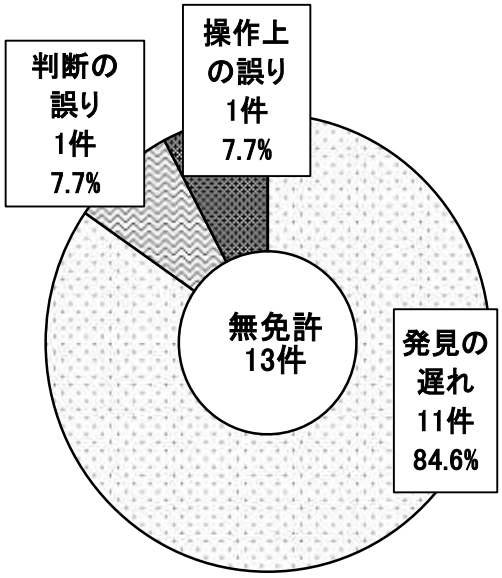
発見の遅れが11件で、無免許運転事故の84.6%を占め最も多い。

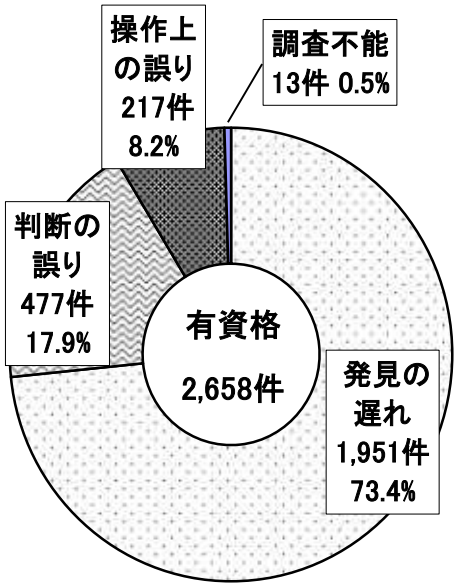
うち前方不注意が８件、安全不確認が３件となっている。　　（単位：件）

人的原因	件数
合計	13
発見の遅れ 計	11
前方不注意 計	8
内在的（漫然等） 計	4
居眠り運転	
ラジオ・ステレオを聴いていた	
雑談や携帯電話等で話していた	
その他、考え事等の漫然運転	4
外在的（脇見等） 計	4
物を落とした、物を取ろうとした	
同乗者、同乗の動物等に脇見	
スマートフォン、携帯電話等を操作していた	1
テレビ、ナビゲーション装置を見ていた、操作していた	
雑誌、地図帳等を見ていた	
道、案内標識等を探して脇見	1
風景、地物等に脇見	
他の車、歩行者に脇見	1
バックミラーやドアミラーを見ていた	
その他脇見	1
安全不確認 計	3
安全確認をしなかった	2
安全確認が不十分だった	1
判断の誤り等 計	1
動静不注視 計	0
相手が譲ってくれると思って注視を怠った	
他の危険を避けようとして注視を怠った	
危険性がないとして注視を怠った	

人的原因	件数
予測不適 計	1
運転感覚(速度、車幅、距離等)を誤った	1
相手がルールを守ると思った	
相手が譲ってくれる、停止してくれると思った	
他の事故(危険)を避けようと思った	
その他相手の行動予見等の判断を誤った	
交通環境 計	0
道路形状、道路線形に対する認識を誤った	
道路環境(路面凍結や霧など)に対する認識を誤った	
交通規制に対する認識を誤った	
交通安全施設に対する認識を誤った	
障害物等に対する認識を誤った	
その他の交通環境に対する認識を誤った	
操作上の誤り（操作不適） 計	1
ブレーキとアクセルの踏み違い	
ブレーキの踏みが弱い、踏み遅れ	
急ブレーキをかけた	
エンジン・ブレーキを使用しなかった	
ハンドルの操作不適	
ギヤの入れ違い	
ブレーキをかけながらハンドル操作	
オートスピードコントロール装置等の操作不適	
その他の操作不適	1
調査不能	

無免許運転と有資格者の事故を比較すると、無免許運転事故では発見の遅れの構成率が11.2%高くなっている。





12　二輪車の事故

(1)　二輪車による事故

ア　概況

二輪車が第１当事者になった事故は、

発生件数　　12件（前年比　　－５件　29.4%減）

死者数　　１人（前年比　　－３人　75.0%減）

傷者数　　12人（前年比　　－３人　20.0%減）

で、発生件数、死者数、傷者数ともに減少した。

車種別にみると、発生件数、死者数、傷者数の全てで原付が多く、発生件数は58.3%、死者数は100.0%、傷者数は58.3%を占めている。　　（単位：件・人）

区分 / 車種	本年 件数	構成率(%)	死者	構成率(%)	傷者	構成率(%)	増減数 件数	死者	傷者	増減率(%) 件数	死者	傷者
小型二輪	3	25.0	0	0.0	3	25.0	−1	−1	−1	−25.0	−100.0	−25.0
軽二輪	1	8.3	0	0.0	1	8.3	−3	−1	−2	−75.0	−100.0	−66.7
二種原付	1	8.3	0	0.0	1	8.3	0	0	−1	0.0	0.0	−50.0
原付	7	58.3	1	100.0	7	58.3	−1	−1	1	−12.5	−50.0	16.7
合計	12	100.0	1	100.0	12	100.0	−5	−3	−3	−29.4	−75.0	−20.0

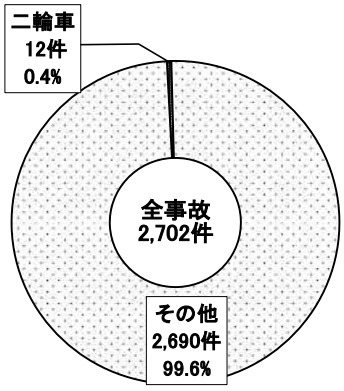
死亡事故率をみると原付が高くなっている。　　（単位：件・%）

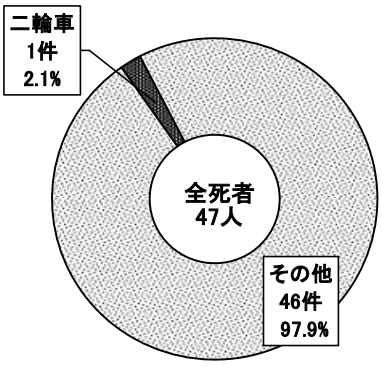
区分 / 車種	普乗	軽乗	大貨等	普貨	軽貨	四輪その他	二輪車 小型二輪	軽二輪	二種原付	原付	計	合計
車種別事故件数	1,340	854	122	111	221	11	3	1	1	7	12	2,671
死亡事故件数	17	11	8	1	6	2	0	0	0	1	1	46
死亡事故率	1.3	1.3	6.6	0.9	2.7	18.2	0.0	0.0	0.0	14.3	8.3	1.7

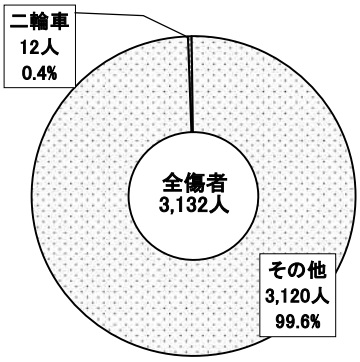
（軽車両、歩行者の第一当事者、当事者不明の交通事故を除く）

$$(注)死亡事故率＝\frac{死亡事故件数}{車種別事故件数}\times 100$$

全事故に占める二輪車事故の構成率は0.4%であるのに対し、死者の構成率は2.1%と高くなっている。





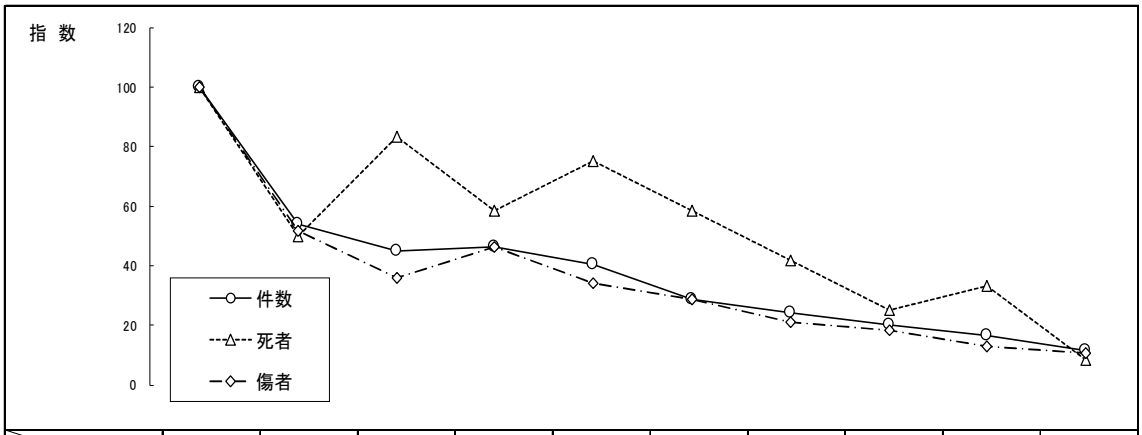


イ　年別推移

(ｱ)　発生件数、死者数、傷者数

発生件数、死者数、傷者数ともに減少している。

（単位：件・人）

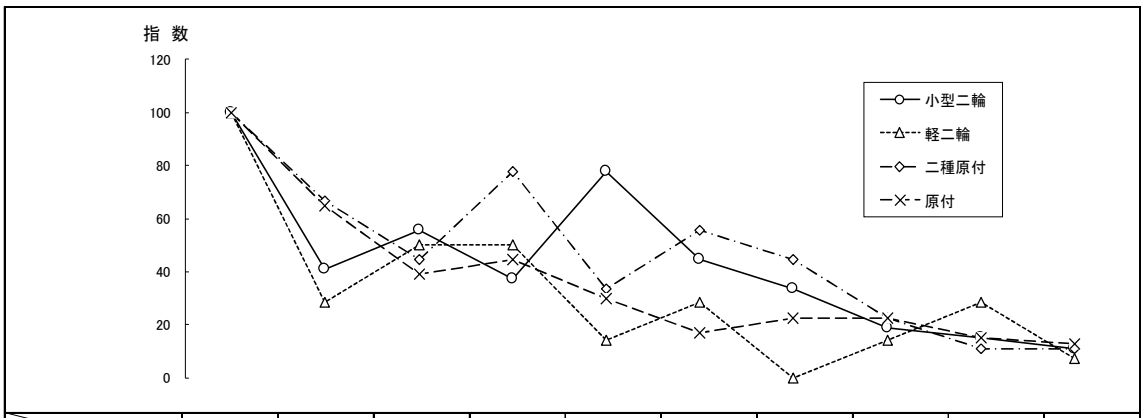


区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件数		104	56	47	48	42	30	25	21	17	12
	指数	100	54	45	46	40	29	24	20	16	12
死者		12	6	10	7	9	7	5	3	4	1
	指数	100	50	83	58	75	58	42	25	33	8
傷者		114	59	41	53	39	33	24	21	15	12
	指数	100	52	36	46	34	29	21	18	13	11

(ｲ)　車種別交通事故発生件数

全体的に減少傾向となっている。

（単位：件）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
小型二輪		27	11	15	10	21	12	9	5	4	3
	指数	100	41	56	37	78	44	33	19	15	11
軽二輪		14	4	7	7	2	4	0	2	4	1
	指数	100	29	50	50	14	29	0	14	29	7
二種原付		9	6	4	7	3	5	4	2	1	1
	指数	100	67	44	78	33	56	44	22	11	11
原付		54	35	21	24	16	9	12	12	8	7
	指数	100	65	39	44	30	17	22	22	15	13

ウ　年齢別

二輪車の事故は、30歳代で４件（33.3%）、25～29歳と高齢者で３件（25.0%）となっている。

（単位：件・%）

区分＼年齢		青年運転者 子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
全運転者の事故			1	92	266	359	187	349	406	385	199	786	2,671
	構成率(%)	0.0	0.0	3.4	10.0	13.4	7.0	13.1	15.2	14.4	7.5	29.4	100.0
二輪車事故				1		1	3	4			1	3	12
	構成率(%)	0.0	0.0	8.3	0.0	8.3	25.0	33.3	0.0	0.0	8.3	25.0	100.0
	全運転者事故に占める割合	0.0	0.0	1.1	0.0	0.3	1.6	1.1	0.0	0.0	0.5	0.4	0.4

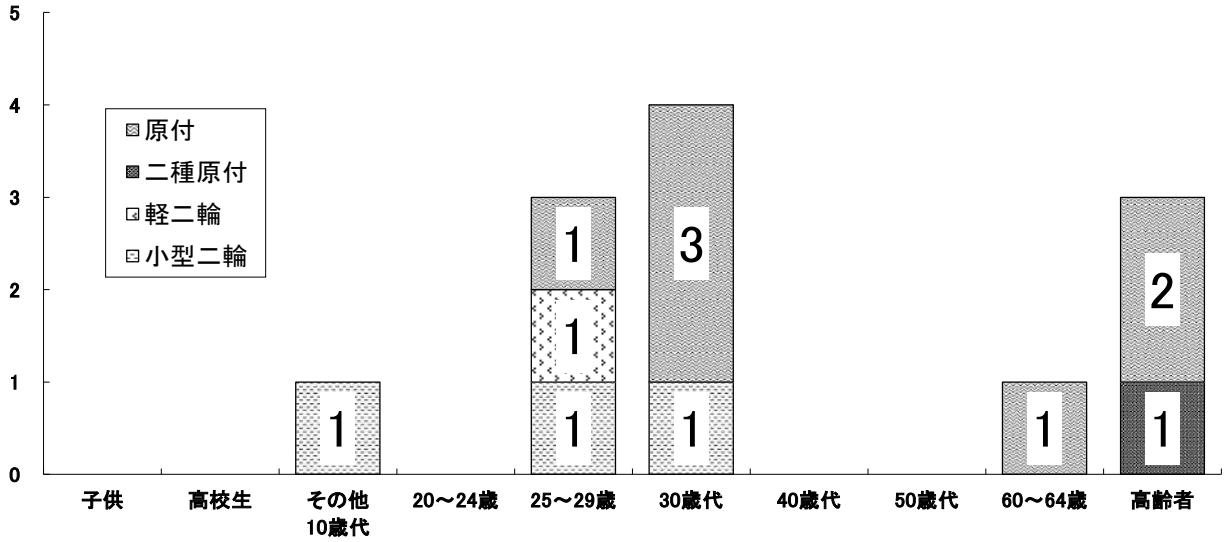
＊軽車両、歩行者の第1当事者、当事者不明の交通事故を除く

エ　年齢別・車種別

原付の年齢別構成率が高いのは、30歳代で３件、高齢者で２件となっている。

（単位：件）

区分＼年齢		青年運転者 子供	高校生	その他10歳代	20～24歳	計	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
小型二輪				1		1	1	1					3
	構成率(%)	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
軽二輪						0	1						1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
二種原付						0						1	1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
原付						0	1	3			1	2	7
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	42.9	0.0	0.0	14.3	28.6	100.0



オ　車種別・免許経験年数別

車種別事故当事者の運転免許経験年数をみると、二輪車全体では10年以上の占める割合が高く、構成率は58.3%を占めている。

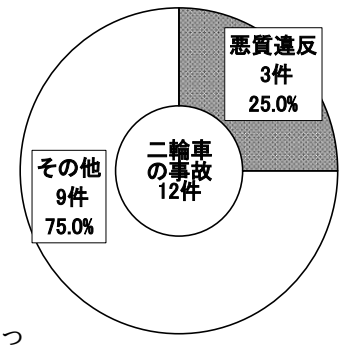
（単位：件）

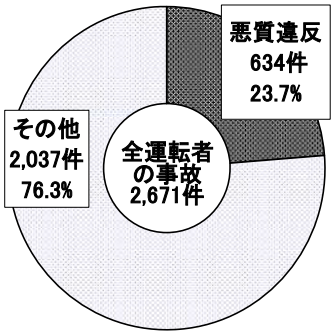
経験年数＼車種	小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)	合計	構成率(%)
1年未満	1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
1～2年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
2～3年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
3～4年		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
4～5年		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
10年未満	1	33.3	1	100.0		0.0		0.0	2	16.7
10年以上	1	33.3		0.0	1	100.0	5	71.4	7	58.3
無免許		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
合計	3	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0	12	100.0

カ　車種別・違反別

二輪事故のうち悪質違反の占める割合は25.0%となっており、全運転者の事故と比較して1.3%高くなっている。

車種別にみると、悪質違反の占める割合が高いのは原付で42.8%となっている。

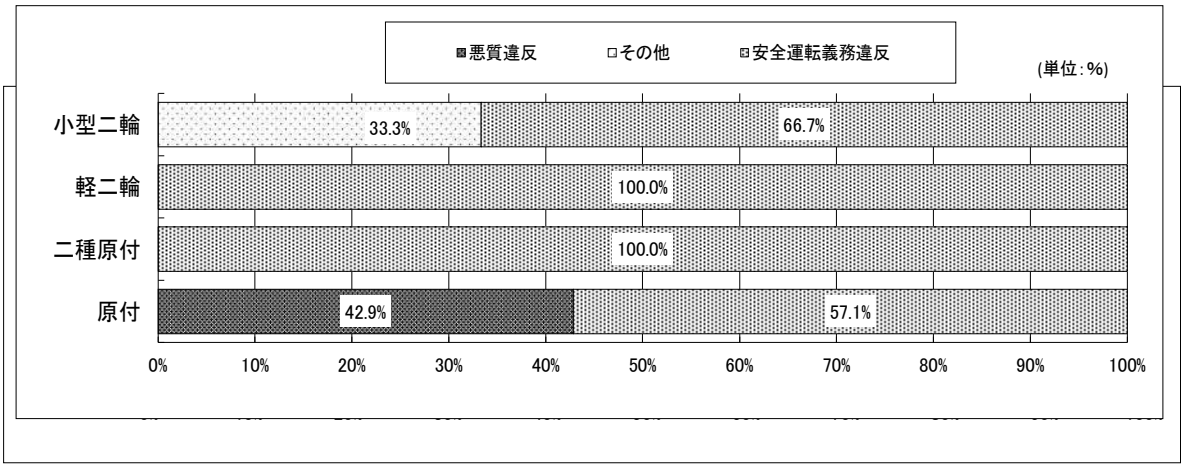




二輪車の車種別違反割合では、安全運転義務違反が高くなっている。

（単位：件）

違反＼車種		小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)	合計	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
	最高速度		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	通区・追越		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	歩行者妨害等		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
	一時不停止		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
	酒酔い運転		0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
	計	0	0.0	0	0.0	0	0.0	3	42.9	3	25.0
横断禁止等			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
右・左折違反			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
優先通行妨害等			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
交差点安全進行		1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
徐行違反			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ操作	1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
	前方不注意		0.0	1	100.0		0.0	2	28.6	3	25.0
	動静不注視		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
	安全不確認		0.0		0.0	1	100.0		0.0	1	8.3
	安全速度	1	33.3		0.0		0.0		0.0	1	8.3
	その他		0.0		0.0		0.0	1	14.3	1	8.3
	計	2	66.7	1	100.0	1	100.0	4	57.1	8	66.7
その他			0.0		0.0		0.0		0.0	0	0.0
合計		3	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0	12	100.0



キ　車種別・事故類型別　　（単位：件・％）

類型＼車種		全事故	構成率(%)	二輪合計	構成率(%)	小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)
人対車両	横断中	213	8.0	3	25.0	2	66.7	0	0.0	0	0.0	1	14.3
	対面・背面	38	1.4	2	16.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	2	28.6
	その他	84	3.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	335	12.5	5	41.7	2	66.7	0	0.0	0	0.0	3	42.9
車両相互	正面衝突	105	3.9	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	追突 進行中	81	3.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	追突 駐・停止中	826	30.9	3	25.0	0	0.0	1	100.0	0	0.0	2	28.6
	出会い頭	744	27.9	3	25.0	0	0.0	0	0.0	1	100.0	2	28.6
	追越・追抜	18	0.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	右折時	215	8.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	左折時	61	2.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	235	8.8	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	2,285	85.5	6	50.0	0	0.0	1	100.0	1	100.0	4	57.1
車両単独	工作物衝突	27	1.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	路外逸脱	1	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	転倒	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	駐車車両衝突	14	0.5	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	その他	7	0.3	1	8.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	計	49	1.8	1	8.3	1	33.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0
踏切		2	0.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計		2,671	100.0	12	100.0	3	100.0	1	100.0	1	100.0	7	100.0

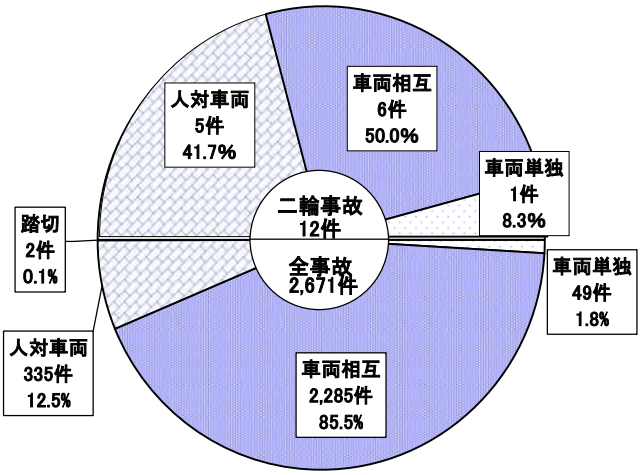
全事故の類型別構成率と二輪合計の類型別構成率の対比では、二輪合計の類型別の方が

・人対車両・・・・ 29.2%高い

・車両相互・・・・ 35.5%低い

・車両単独・・・・ 6.5%高い

特に人対車両では、横断中の占める割合が高い。



ク　昼夜別・道路別

二輪車事故が昼間、夜間それぞれ50.0%（６件）ずつ発生している。

道路別に対比すると、県道、市町村道での発生が５件と最も多く41.7%を占める。

夜間の発生は国道で１件、県道で２件、市町村道で３件発生している。　（単位：件・％）

昼夜		国道 4号	6号	13号	49号	三桁	計	県道 主要	一般県道	計	市町村道	高速道	その他	合計
昼間						1	1	2	1	3	2			6
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	16.7	50.0	33.3	0.0	0.0	100.0
夜間						1	1	2		2	3			6
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	33.3	50.0	0.0	0.0	100.0
薄暮(内数)							0	1		1				1
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0
合計		0	0	0	0	2	2	4	1	5	5	0	0	12
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7	33.3	8.3	41.7	41.7	0.0	0.0	100.0

ケ　道路線形別

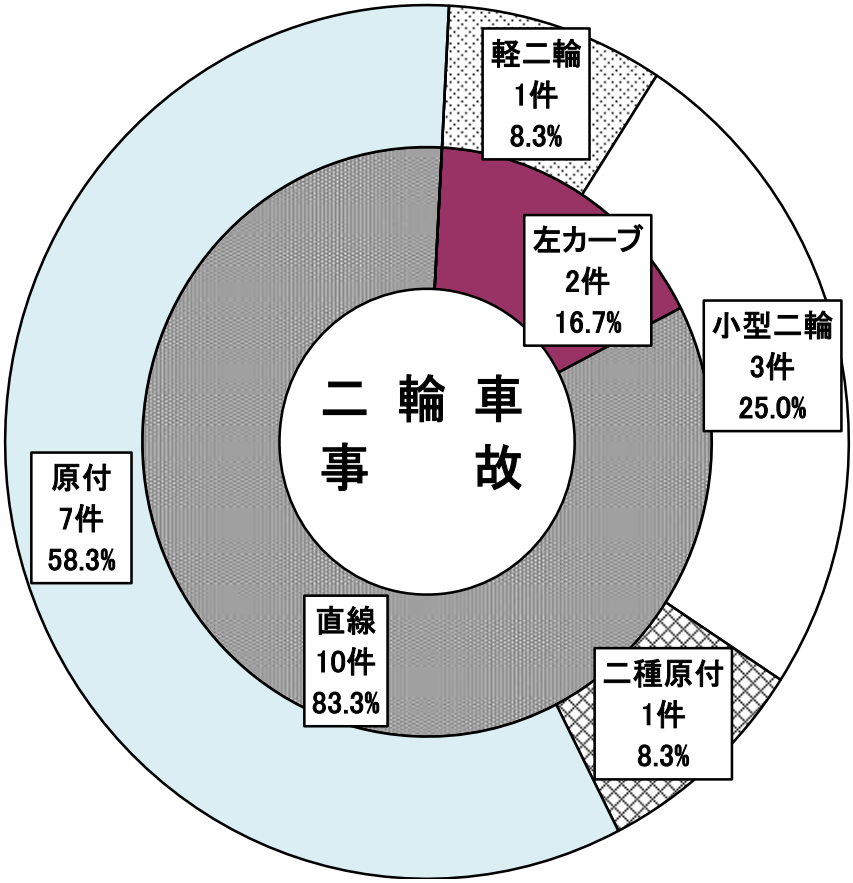
二輪車事故のうち直線の平坦な場所で発生した事故が75.0%を占め、カーブでの事故件数は２件だが割合は16.7%と全事故と比較して高くなっている。

（単位：件）

線形＼車種		全事故	構成率(%)	二輪合計	構成率(%)	小型二輪	構成率(%)	軽二輪	構成率(%)	二種原付	構成率(%)	原付	構成率(%)
上り	右カーブ	9	0.4	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	10	0.4	1	8.3	1	33.3		0.0		0.0		0.0
下り	右カーブ	16	0.6	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	18	0.7	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	14.3
平坦	右カーブ	27	1.1	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	左カーブ	43	1.7	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
直線	上り	59	2.3	0	0.0		0.0		0.0		0.0		0.0
	下り	91	3.6	1	8.3		0.0		0.0		0.0	1	14.3
	平坦	2,242	89.1	9	75.0	2	66.7	1	100.0	1	100.0	5	71.4
合計	右カーブ	52	2.1	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	左カーブ	71	2.8	2	16.7	1	33.3	0	0.0	0	0.0	1	14.3
全事故件数		2,515	100.0	12	100	3	100	1	100.0	1	100	7	100

＊一般交通の場所（駐車場等）は除く。

＊全事故は第1当事者が軽車両、歩行者、不明を除く。



(2)　二輪車の死傷者

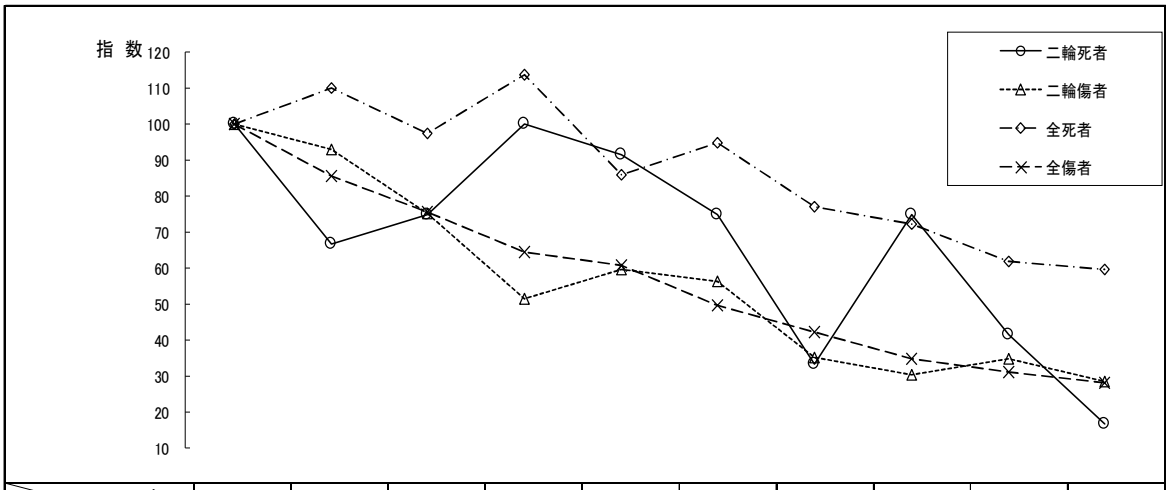
ア　概況

二輪乗車中（同乗者を含む）の死傷者は

死者数　　２人（前年比　　－３人　　60.0%減）

傷者数　　95人（前年比　　－21人　　18.1%減）

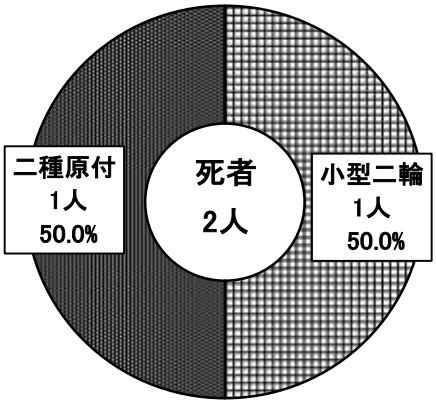
で、死者数、傷者数ともに減少した。　　（単位：人）

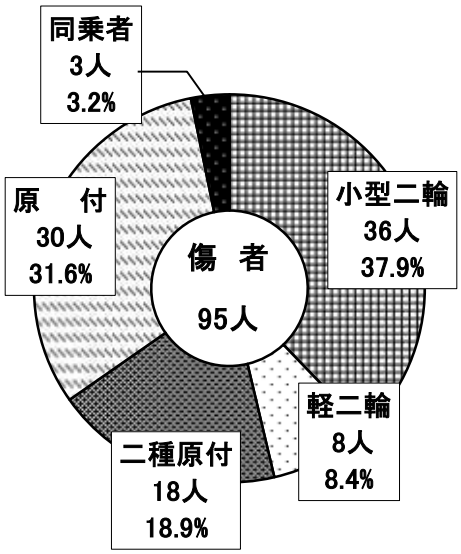


区分		年	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
二輪車の事故	死者		12	8	9	12	11	9	4	9	5	2
		指数	100	67	75	100	92	75	33	75	42	17
	傷者		334	311	251	172	199	188	118	102	116	95
		指数	100	93	75	51	60	56	35	31	35	28
全被害	死者		79	87	77	90	68	75	61	57	49	47
		指数	100	110	97	114	86	95	77	72	62	59
	傷者		11,061	9,450	8,344	7,112	6,710	5,482	4,683	3,857	3,446	3,132
		指数	100	85	75	64	61	50	42	35	31	28

イ　車種別

車種別にみると、死者は小型二輪、二種原付でそれぞれ１人で、傷者は小型二輪が37.9%を占めている。





ウ　年齢別

年齢別にみると、死者は30歳代、40歳代がそれぞれ１人で50.0％を占め、傷者は40歳代と50歳代で合計39人と41.1％を占めている。　（単位：人）

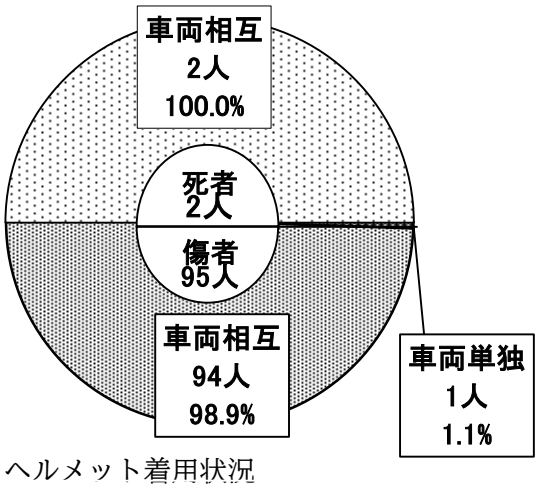
車種 ＼ 年齢		20歳未満	20～24歳	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者	合計
二輪車計	死者	0	0	0	1	1	0	0	0	2
	構成率(%)	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100
	傷者	9	5	8	14	20	19	7	13	95
	構成率(%)	9.5	5.3	8.4	14.7	21.1	20.0	7.4	13.7	100.0
小型二	死者					1				1
	傷者	2	1	4	4	11	11	2	1	36
軽二輪	死者									0
	傷者	2			2	1	2	1		8
二種原	死者				1					1
	傷者			2	3	3	5	2	3	18
原付	死者									0
	傷者	4	4	1	4	5	1	2	9	30
同乗者	死者									0
	傷者	1		1	1					3

エ　事故類型別・道路形状別

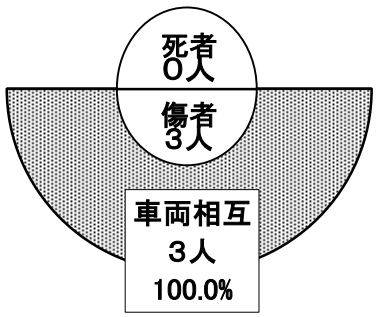
全二輪事故では、死者は車両相互で２人となっており、傷者は車両単独１人、車両相互で94人となっている。

カーブ・屈折では、死者はおらず、傷者は全て車両相互である。

全　二　輪



カーブ・屈折



オ　ヘルメット着用状況

自動二輪の着用率は98.5％、原付の着用率は100％となっている。　（単位：人）

区分 ＼ 車種	死者	ヘルメット着用	構成率(%)	傷者	ヘルメット着用	構成率(%)	合計	ヘルメット着用	構成率(%)
自動二輪	2	2	100.0	65	64	98.5	67	66	98.5
原付	0	0	－	30	30	100.0	30	30	100.0
合計	2	2	100.0	95	94	98.9	97	96	99.0

13　タクシーの事故

(1)　概況

タクシーが第１当事者となった事故は、

発生件数　　25件（前年比　　－１件　3.8%減）

死者数　　０人（前年比　　±０人）

傷者数　　28人（前年比　　－３人　9.7%減）

で、昨年に続き死者は０人で、発生件数、傷者数は減少した。

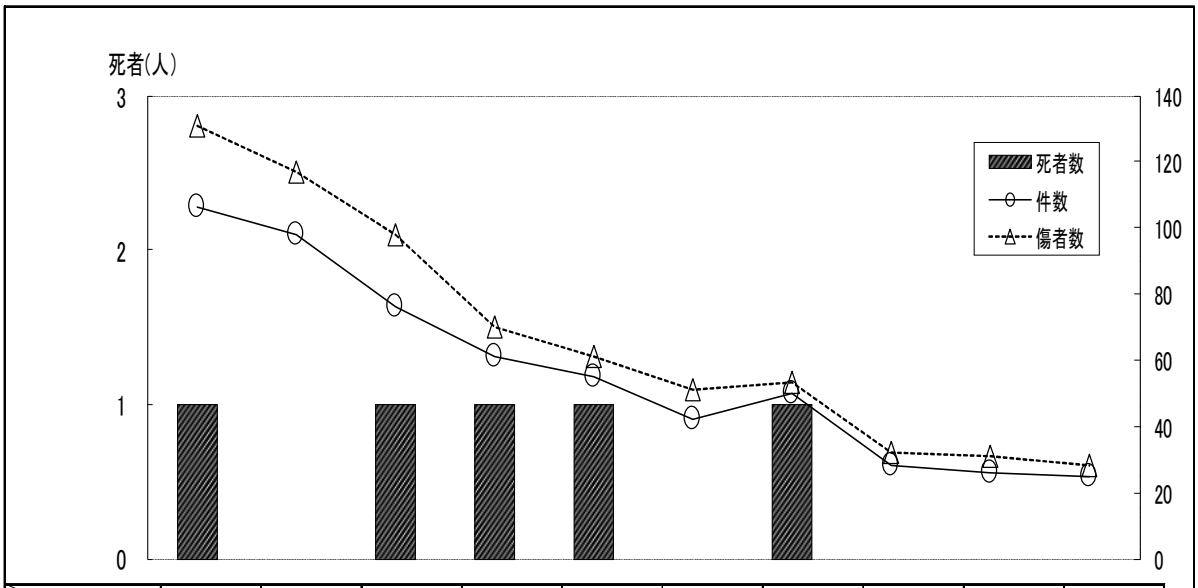
タクシーが第２当事者になった事故は、

発生件数　　18件（前年比　　＋１件　0.6%増）

死者数　　０人（前年比　　±０人）

傷者数　　27人（前年比　　＋９人　50.0%増）

で、昨年に続き死者は０人で、発生件数、傷者数は増加した。　　（単位：件・人）



区分＼年	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件　　数	106	98	76	61	55	42	50	28	26	25
指　数	100	92	72	58	52	40	47	26	25	24
死　者　数	1	0	1	1	1	0	1	0	0	0
傷　者　数	131	117	98	70	61	51	53	32	31	28

(2)　月別

11月が５件、12月が４件と多くなっている。　　（単位：件・人）

区分＼年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　　数	2	1	1	2	3	2		2		3	5	4	25
死　者　数													0
傷　者　数	2	1	1	3	3	2		3		3	6	4	28

(3)　年齢別

高齢者が14件、60～64歳が８件の順に多く、60歳以上が88.0%を占めている。　（単位：件）

区分＼年齢	25未満	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者（65歳以上）	合計
件数				1	2	8	14	25
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	4.0	8.0	32.0	56.0	100.0

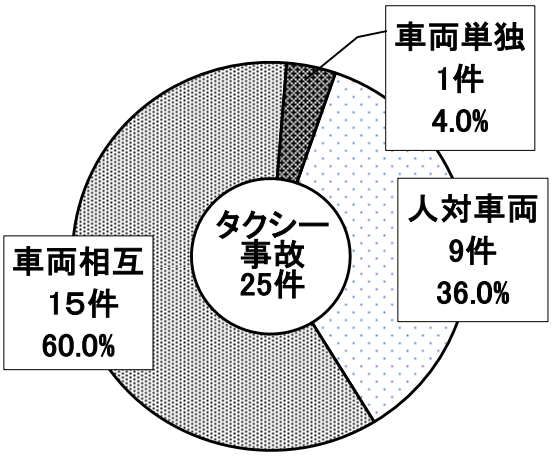
(4)　事故類型別

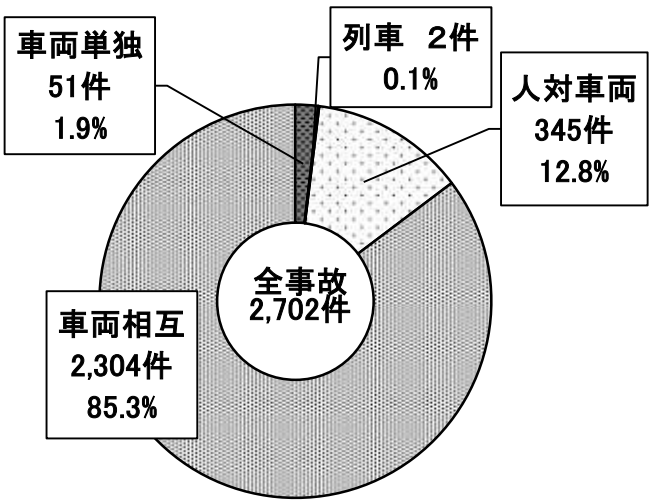
車両相互の事故が15件（60.0%）と最も多く、うち追突が７件で28.0%を占めている。

全事故と比較すると、人対車両の占める割合が高くなっている。

（単位：件）

区分＼類型	人対車両				車両相互							車両単独				合計
	通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他	計	
件数		2	7	9		7	3	2	2	1	15			1	1	25
構成率(%)	0.0	8.0	28.0	36.0	0.0	28.0	12.0	8.0	8.0	4.0	60.0	0.0	0.0	4.0	4.0	100





(5)　違反別

安全運転義務違反の事故が18件と多く、72.0%を占めている。

悪質違反は４件でうち３件が横断歩行者妨害となっている。　（単位：件）

区分＼違反	悪質違反							横断禁止等	右・左折違反	優先通行妨害等	交差点安全進行	徐行違反	安全運転義務違反						その他	合計
	信号無視	最高速度	通区・追越	歩行者妨害等	一時不停止	酒酔い運転	計						ハンドル・ブレーキ	前方不注意	動静不注視	安全不確認	その他	計		
件数				3	1		4						2	3	4	9		18	3	25
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	12.0	4.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.0	12.0	16.0	36.0	0.0	72.0	12.0	100

14　バスの事故

(1)　概況

バスが第１当事者となった事故は、

発生件数　　４件（前年比　＋２件　100.0%増）

死者数　　０人（前年比　±０人）

傷者数　　４人（前年比　＋２人　100.0%増）

で、昨年に続き死者数は０人で、発生件数、傷者数は増加した。

バスが第２当事者となった事故は、

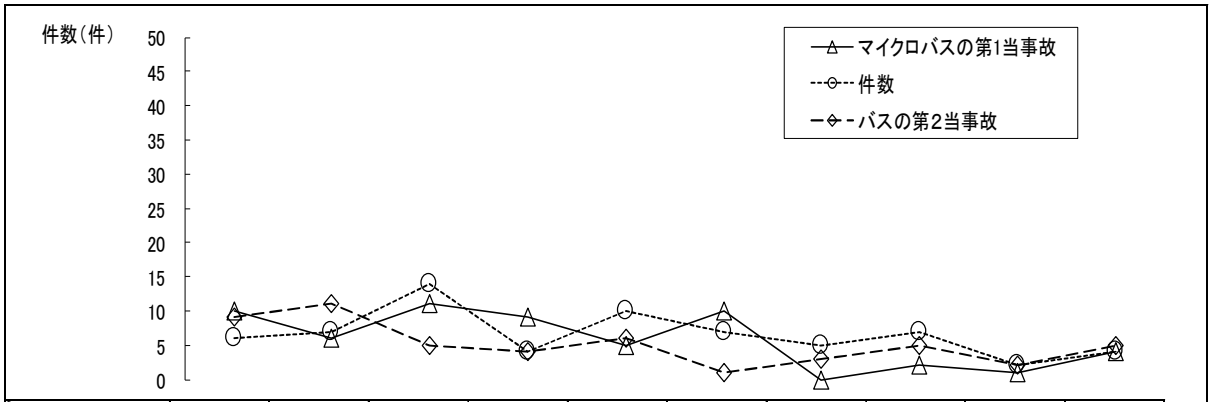
発生件数　　５件（前年比　＋３件　150.0%増）

死者数　　０人（前年比　±０人）

傷者数　　８人（前年比　＋６件　300.0%増）

で、昨年に続き死者数は０人で、発生件数、傷者数は増加した。

（単位：件）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件数		6	7	14	4	10	7	5	7	2	4
	指数	100	117	233	67	167	117	83	117	33	67
バスが第2当事者となった事故		9	11	5	4	6	1	3	5	2	5
マイクロバスが第1当事者となった事故		10	6	11	9	5	10	0	2	1	4

※　バス～乗車定員が30人以上、マイクロバス～乗車定員が11～30人未満

〈参考〉

マイクロバスが第１当事者となった事故

発生件数　　４件（前年比　＋３件　300.0%増）

死者数　　１人（前年比　＋１人）

傷者数　　４人（前年比　＋３人　300.0%増）

マイクロバスが第２当事者となった事故

発生件数　　２件（前年比　＋２件）

死者数　　０人（前年比　±０人）

傷者数　　３人（前年比　＋３人）

(2)　月別

バス運転者が第１当事者となった事故は、２月、６月、10月、11月に１件ずつ発生している。第２当事者になった事故は２月、３月、５月、７月、12月に１件ずつ発生している。

（単位：件・人）

区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
第一当事者	件数		1				1				1	1		4
	死者数													0
	傷者数		1				1				1	1		4
第二当事者	件数		1	1		1		1					1	5
	死者数													0
	傷者数		3	1		1		2					1	8

(3)　用途別

バス運転者が第１当事者となった事故は、路線バスと貸切バスでそれぞれ２件発生し、第２当事者になった事故は、路線バスで４件、貸切バスで１件発生した。

（単位：件・人）

区分＼用途	第１当事者			計	第２当事者			計
	路線バス	貸切バス	自家用バス		路線バス	貸切バス	自家用バス	
件数	2	2		4	4	1		5
死者				0				0
傷者	2	2		4	7	1		8

(4)　年齢別

第１当事者となった事故が40歳代で２件、50歳代、60～64歳でそれぞれ１件発生し、第２当事者となった事故は50歳代で３件、60～64歳で２件発生している。

（単位：件）

区分＼年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	65歳以上（高齢者）	合計
第１当事者				2	1	1		4
第２当事者					3	2		5

(5)　道路別

第１当事者となった事故は、国道49号と市町村道でそれぞれ２件で発生しており、第２当事者となった事故は三桁国道で２件、県道、市町村道、高速道でそれぞれ１件ずつ発生している。

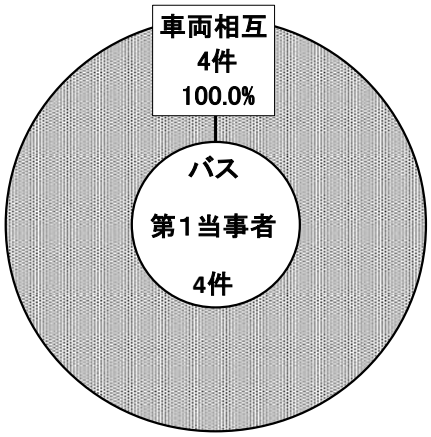
（単位：件）

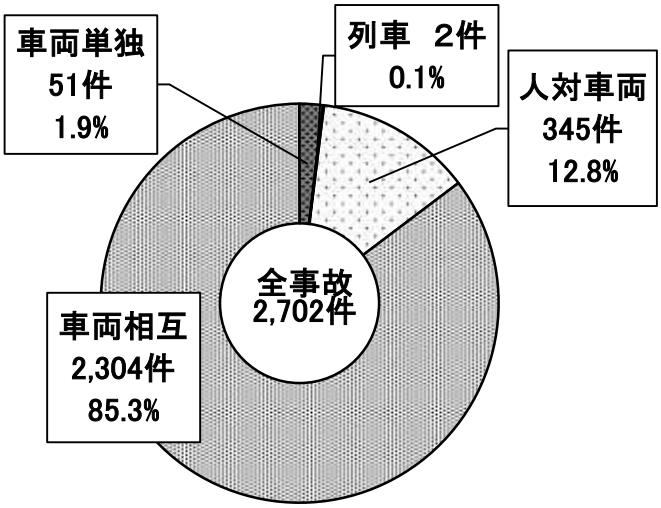
区分＼道路	国道					計	県道			市町村道	高速道	その他	合計
	4号	6号	13号	49号	三桁		主要地方道	一般県道	計				
第１当事者				2		2			0	2			4
第２当事者					2	2	1		1	1	1		5

(6)　事故類型別

全て車両相互で発生している。　　（単位：件）

区分＼類型	人対車両				車両相互							車両単独				合計
	通行中	横断中	その他	計	正面衝突	追突	出会い頭	後退・転回	右・左折時	その他	計	工作物衝突	路外逸脱	その他	計	
件数				0		1	1	1	1		4				0	4
構成率(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100





(7)　違反別

優先通行妨害と安全不確認が１件ずつとなっている。　　（単位：件）

区分＼違反		件数	構成率(%)	区分＼違反		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視		0.0	交差点安全進行			0.0
	最高速度		0.0	過労運転			0.0
	通区・追越		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ		0.0
	歩行者妨害等		0.0		前方不注意		0.0
	一時不停止		0.0		動静不注視	1	25.0
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	3	75.0
計		0	0.0		安全速度		0.0
横断禁止等			0.0		その他		0.0
車間距離不保持			0.0	計		4	100.0
進路変更禁止			0.0	その他			0.0
右・左折			0.0	歩行者の違反			0.0
優先通行妨害等			0.0	合計		4	100

15　ダンプカーの事故

(1)　概況

ダンプカーが第１当事者になった事故は、

発生件数　　17件（前年比　＋１件　　6.3%増）

死者数　　１人（前年比　＋１人）

傷者数　　19人（前年比　±０人）

で発生件数、死者数は増加したが、傷者数は前年同数だった。

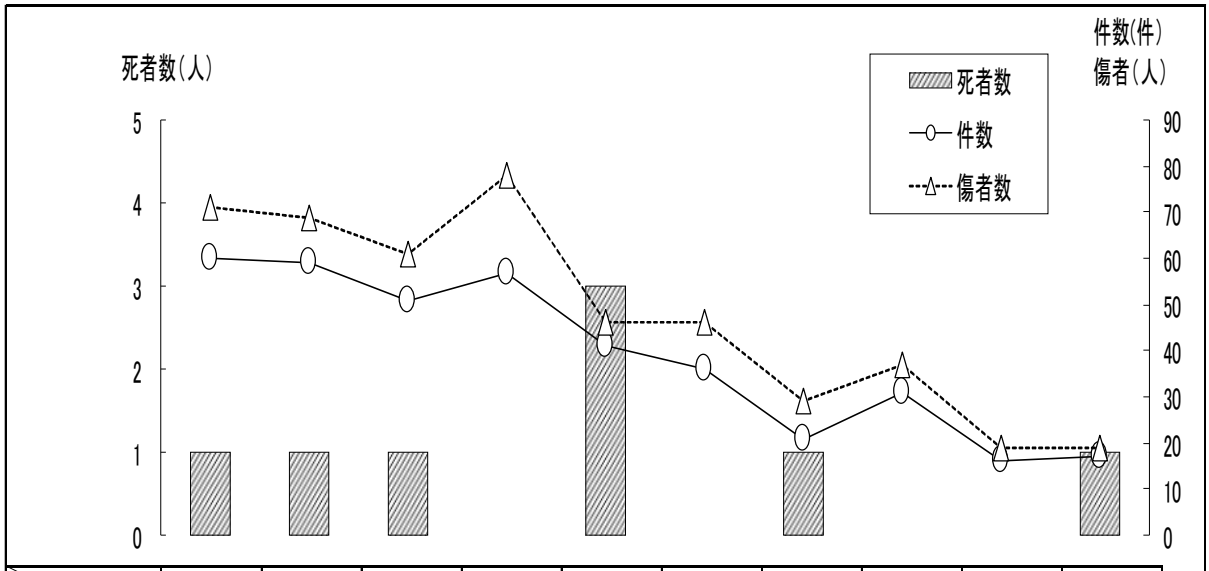
ダンプカーが第２当事者になった事故は、

発生件数　　３件（前年比　－７件　　70.0%減）

死者数　　０人（前年比　±０人）

傷者数　　３人（前年比　－10人　　76.9%減）

で、発生件数、傷者数は減少し、前年同様死者はなかった。　　（単位：件・人）



区分＼年	平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件　数	60	59	51	57	41	36	21	31	16	17
指　数	100	98	85	95	68	60	35	52	27	28
死　者　数	1	1	1	0	3	0	1	0	0	1
傷　者　数	71	69	61	78	46	46	29	37	19	19

(2)　月別

５月、11月以外で発生し、２月に死亡事故が発生している。　　（単位：件・人）

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
件　数	2	4	1	1		2	1	1	2	2		1	17
死　者　数		1											1
傷　者　数	2	4	1	1		2	1	2	2	3		1	19

(3)　年齢別・免許年数経過別

年齢別では、40歳代が５件で最も多く、全体の29.4%を占めている。また、免許経過年数では10年以上が16件でダンプ事故の94.1%を占めている。　（単位：件）

区分＼年齢	24歳以下	25～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60～64歳	高齢者（65歳以上）	合計
1年未満								0
1～2年								0
2～3年								0
3～4年								0
4～5年	1							1
10年未満								0
10年以上			1	5	3	4	3	16
無免許								0
合計	1	0	1	5	3	4	3	17

(4)　違反別

安全運転義務違反13件でダンプ事故の76.5%を占めている。

悪質違反は信号無視、歩行者妨害等がそれぞれ１件である。　（単位：件）

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	1	5.9	交差点安全進行		1	5.9
	最高速度		0.0	徐行違反			0.0
	通区・追越		0.0	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	1	5.9
	歩行者妨害等	1	5.9		前方不注意	4	23.5
	一時不停止		0.0		動静不注視	4	23.5
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	4	23.5
	計	2	11.8		安全速度		0.0
横断禁止等			0.0		その他		0.0
車間距離不保持			0.0		計	13	76.5
進路変更禁止			0.0	その他			0.0
右・左折		1	5.9	歩行者の違反			0.0
優先通行妨害等			0.0	合計		17	100.0

(5)　用途別

自家用ダンプの事故が多く、第１当事者では82.4%、第２当事者では100.0%を占めている。

（単位：件・人）

用途＼区分		件数	死者	傷者
第一当事者	事業用	3		4
	自家用	14	1	15
	合計	17	1	19

（単位：件・人）

用途＼区分		件数	死者	傷者
第二当事者	事業用			
	自家用	3		3
	合計	3	0	3

16　安全運転管理者選任事業所の事故

(1)　概況

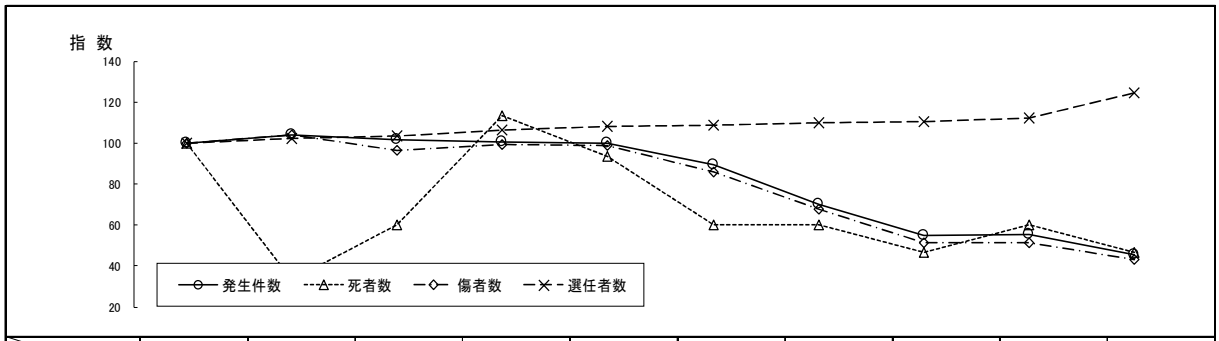
県内で発生した安全運転管理者選任事業所（以下安管という。）従業員の事故は、

発生件数　　481件（前年比　－101件　　17.4%減）

死者数　　７人（前年比　－２人　　22.2%減）

傷者数　　559人（前年比　－101人　　15.3%減）

で、発生件数、死者数、傷者数それぞれ減少した。　　（単位：件・人）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件数		1,053	1,094	1,072	1,057	1,055	938	736	575	582	481
	指数	100	104	102	100	100	89	70	55	55	46
死者		15	5	9	17	14	9	9	7	9	7
	指数	100	33	60	113	93	60	60	47	60	47
傷者		1,291	1,344	1,243	1,285	1,272	1,112	873	666	660	559
	指数	100	104	96	100	99	86	68	52	51	43
選任者数		8,501	8,693	8,782	9,052	9,195	9,253	9,342	9,402	9,522	10,566
	指数	100	102	103	106	108	109	110	111	112	124

（注）選任数は各年12月末の数値

（単位：件・人・%）

区分＼通行目的		件数	割合（%）	死者	傷者
業務中		264	54.9	5	297
	通勤	151	31.4	3	170
業務外		217	45.1	2	262
調査不能		0	0.0	0	0

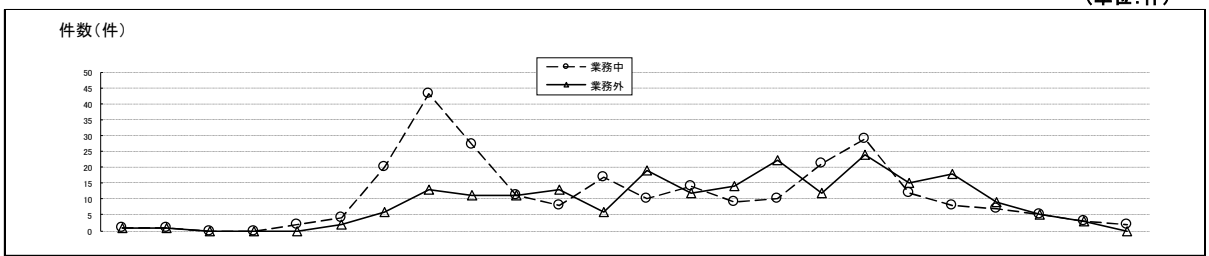
業務中の事故が54.9%を占めている。

(2)　安管の事故特徴

ア　時間別

業務中ついては、午前６時から午前９時までが90件、業務外については、午後５時から午後８時までが57件と多くなっている。

（単位：件）



区分＼時間	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	合計
業務中	1	1			2	4	20	43	27	11	8	17	10	14	9	10	21	29	12	8	7	5	3	2	264
業務外	1	1				2	6	13	11	11	13	6	19	12	14	22	12	24	15	18	9	5	3		217

※業務中は通勤を含む

イ　車種別・用途別

（ｱ）　車種別

業務中では、普通乗用車が125件で47.3%、次いで軽乗用車が60件で22.7%を占めている。

業務外では、普通乗用車が149件と最も多く68.7%を占めている。　（単位：件）

区分＼車種		乗用車 大型中型	乗用車 普通	乗用車 軽	乗用車 計	貨物車 大型中型準中型	貨物車 普通	貨物車 軽	貨物車 計	特殊車	二輪車 小型二輪	二輪車 軽二輪	二輪車 二種原付	二輪車 原付	二輪車 計	合計
業務中		4	125	60	189	26	24	24	74					1	1	264
	構成率(%)	1.5	47.3	22.7	71.6	9.8	9.1	9.1	28.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.4	100
業務外			149	65	214			3	3						0	217
	構成率(%)	0.0	68.7	30.0	98.6	0.0	0.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100

（ｲ）　用途別

業務中、業務外ともに自家用(その他)で最も多く、業務中事故では92.0%、業務外事故では100.0%を占めている。　（単位：件）

区分＼車種		事業用	自家用 レンタカー	自家用 スクールバス	自家用 代行運転 代行	自家用 代行運転 随伴	自家用 その他	自家用 計	その他	合計
業務中		21	3		3		237	243		264
	構成率(%)	8.0	1.1	0.0	1.1	0.0	89.8	92.0	0.0	100
業務外			1				216	217		217
	構成率(%)	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	99.5	100.0	0.0	100

ウ　事故類型別

業務中、業務外とも車両相互の割合が高く、なかでも追突が業務中で41.3%、業務外で28.1%を占めている。　（単位：件）

区分＼類型		人対車両 横断中	人対車両 その他	人対車両 計	車両相互 正面衝突	車両相互 追突	車両相互 出会い頭	車両相互 後退・転回	車両相互 右・左折時	車両相互 その他	車両相互 計	車両単独 工作物衝突	車両単独 路外逸脱	車両単独 その他	車両単独 計	列車	合計
業務中		16	13	29	12	109	70	6	26	8	231	3		1	4		264
	構成率(%)	6.1	4.9	11.0	4.5	41.3	26.5	2.3	9.8	3.0	87.5	1.1	0.0	0.4	1.5	0.0	100
業務外		23	14	37	12	61	63	9	25	8	178			2	2		217
	構成率(%)	10.6	6.5	17.1	5.5	28.1	29.0	4.1	11.5	3.7	82.0	0.0	0.0	0.9	0.9	0.0	100

エ　違反別

業務中、業務外とも安全運転義務違反の割合が最も高く、どちらも約６割以上を占めている。

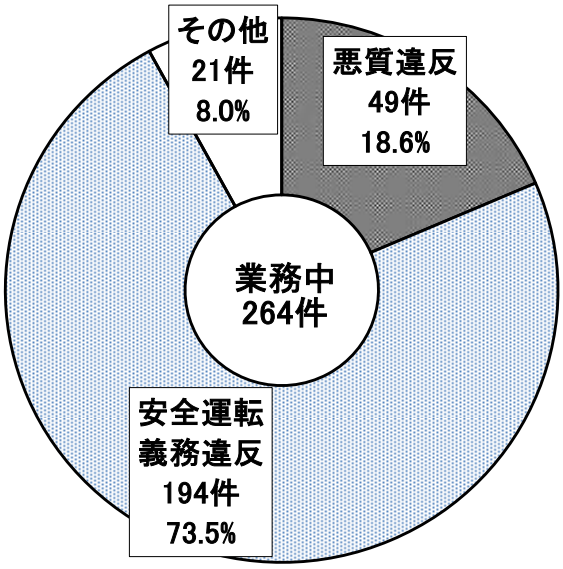
悪質違反では、業務中が一時不停止と信号無視の占める割合が高く、業務外では、一時不停止と歩行者妨害等の占める割合が高い。

（単位：件）

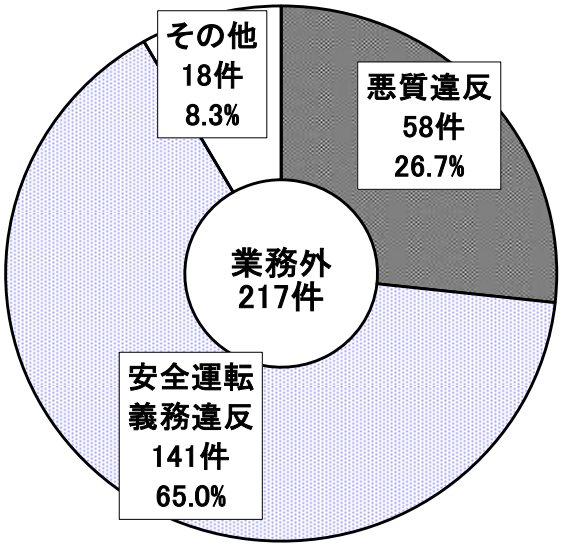
区分／違反		業務中	構成率(%)	業務外	構成率(%)
悪質違反	信号無視	14	5.3	13	6.0
	最高速度	1	0.4		0.0
	通区・追越	9	3.4	5	2.3
	歩行者妨害等	9	3.4	18	8.3
	一時不停止	16	6.1	21	9.7
	酒酔い運転		0.0	1	0.5
	計	49	18.6	58	26.7
横断禁止等			0.0		0.0
車間距離不保持		1	0.4		0.0
進路変更禁止			0.0		0.0
右・左折		1	0.4		0.0
優先通行妨害等		7	2.7	11	5.1
交差点安全進行		9	3.4	4	1.8

区分／違反		業務中	構成率(%)	業務外	構成率(%)
徐行違反		1	0.4	2	0.9
過労運転			0.0	1	0.5
安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	21	8.0	10	4.6
	前方不注意	65	24.6	50	23.0
	動静不注視	45	17.0	28	12.9
	安全不確認	54	20.5	51	23.5
	安全速度	3	1.1		0.0
	予測不適	1	0.4	1	0.5
	その他	5	1.9	1	0.5
	計	194	73.5	141	65.0
安全不確認ドア開放			0.0		0.0
その他		2	0.8		0.0
合計		264	100.0	217	100.0

（単位：件）



（単位：件）



オ　原因別

（単位：件）

業務中、業務外とも、発見の遅れが高い割合を占めている。

区分／原因	業務中	構成率(%)	業務外	構成率(%)
発見の遅れ	181	68.6	170	78.3
判断の誤り等	56	21.2	35	16.1
操作上の誤り	25	9.5	12	5.5
調査不能	2	0.8		0.0
合計	264	100	217	100

17　県外居住者の事故

(1)　概況

県外居住者が第1当事者となった事故は、

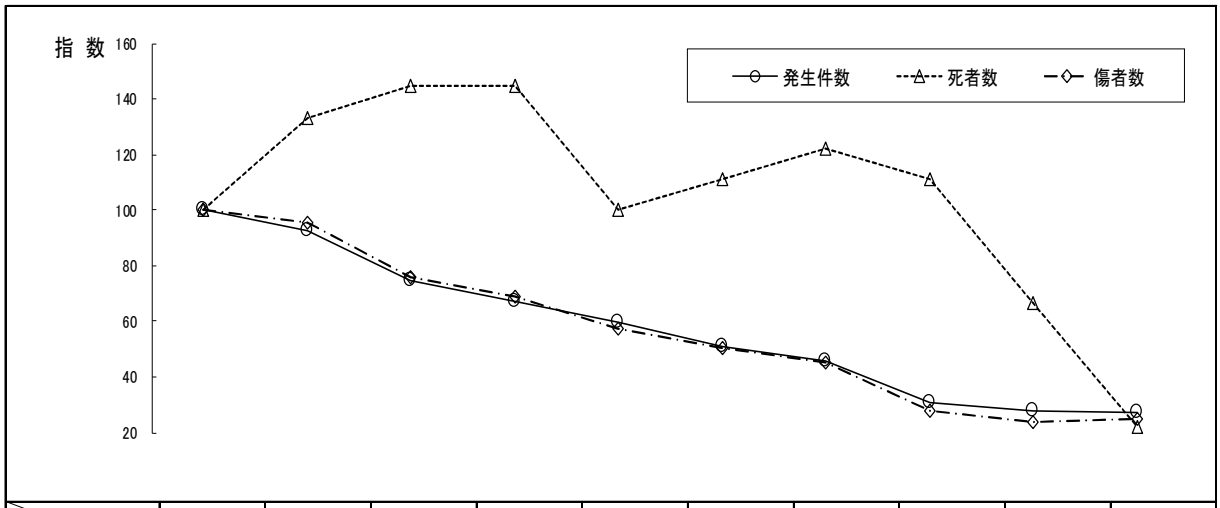
発生件数　　172件（前年比　　－３件　　1.7%減）

死者数　　２人（前年比　　－４人　　66.7%減）

傷者数　　211人（前年比　　＋12人　　6.0%増）

で、発生件数、死者数が減少し、傷者数は増加した。

（単位：件・人）



区分＼年		平25	平26	平27	平28	平29	平30	令元	令2	令3	令4
件数		626	579	466	421	374	320	286	193	175	172
	指数	100	92	74	67	60	51	46	31	28	27
死者		9	12	13	13	9	10	11	10	6	2
	指数	100	133	144	144	100	111	122	111	67	22
傷者		840	800	636	577	483	424	381	235	199	211
	指数	100	95	76	69	58	50	45	28	24	25

(2)　月別

10月が18件で最も多く、次いで２月、８月、９月の16件となっている。

全事故に占める割合でみると、８月、９月が7.8%で最も高く、最も低い７月（4.6%）と比較すると3.2ポイントの差となっている。

（単位：件・人・%）

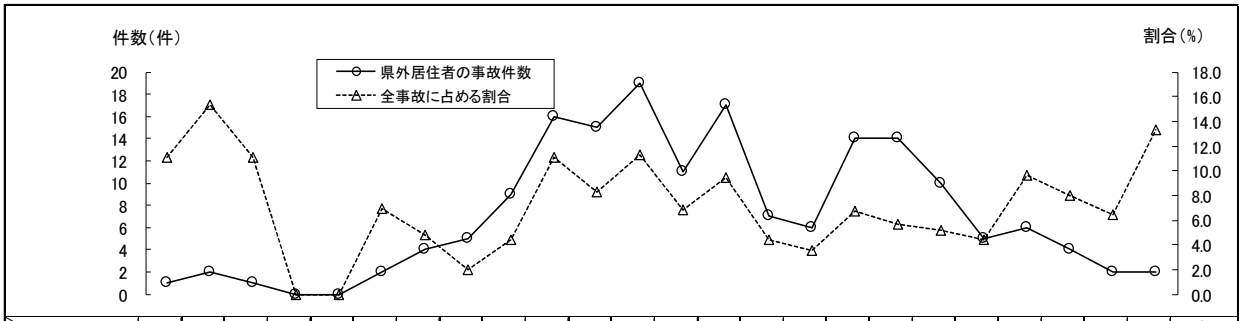
区分＼月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
全事故		206	220	220	218	203	245	197	205	205	276	244	263	2,702
県外居住者	件数	15	16	12	12	11	13	9	16	16	18	14	20	172
	全事故に占める割合	7.3	7.3	5.5	5.5	5.4	5.3	4.6	7.8	7.8	6.5	5.7	7.6	6.4
	死者										2			2
	傷者	21	21	13	13	14	18	9	17	23	23	16	23	211

(3)　時間別

発生件数が最も多いのは、11～12時の19件、次いで９～10時の16件の順となっている。

また、全事故に占める割合でみると、１～２時の15.4%が最も高い。

（単位：件・%）



区分＼時間	0～1	1～2	2～3	3～4	4～5	5～6	6～7	7～8	8～9	9～10	10～11	11～12	12～13	13～14	14～15	15～16	16～17	17～18	18～19	19～20	20～21	21～22	22～23	23～24	合計
件数	1	2	1			2	4	5	9	16	15	19	11	17	7	6	14	14	10	5	6	4	2	2	172
構成率(%)	0.6	1.2	0.6	0.0	0.0	1.2	2.3	2.9	5.2	9.3	8.7	11.0	6.4	9.9	4.1	3.5	8.1	8.1	5.8	2.9	3.5	2.3	1.2	1.2	100.0
全事故に占める割合	11.1	15.4	11.1	0.0	0.0	6.9	4.8	2.0	4.4	11.0	8.2	11.3	6.8	9.4	4.4	3.6	6.7	5.6	5.2	4.4	9.7	8.0	6.5	13.3	6.4

(4)　道路別

国道での発生が75件で、県外居住者事故の43.6%を占めている。

特に、国道４号は20件で幹線国道事故の41.7%を占めている。

全事故に占める割合では、高速道路が47.6%と最も高く、次いで国道49号の順となっている。

（単位：件・%）

区分＼道路	国道							県道	市町村道	高速道	その他	合計
	幹線国道					三桁国道	計					
	4号	6号	13号	49号	計							
件数	20	12	2	14	48	27	75	36	44	10	7	172
構成率(%)	11.6	7.0	1.2	8.1	27.9	15.7	43.6	20.9	25.6	5.8	4.1	100.0
全事故に占める割合	9.3	12.1	5.7	13.7	10.7	9.4	10.2	5.1	4.1	47.6	4.2	6.4

(5)　当事者別

普通乗用車が97件で最も多く、県外居住者事故の56.4%を占めている。

全事故に占める割合でみると、大型貨物車が26.2%と高い割合となっている。

（単位：件・%）

区分＼車種	乗用車						貨物車						二輪車			特殊車	自転車	歩行者
	大型	中型	準中型	普通	軽	計	大型	中型	準中型	普通	軽	計	自動二輪	原付	計			
件数		1		97	28	126	11	6	7	12	10	46			0			
構成率(%)	0.0	0.6	0.0	56.4	16.3	73.3	6.4	3.5	4.1	7.0	5.8	26.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全事故に占める割合	0.0	25.0	0.0	7.2	3.3	5.7	26.2	20.7	13.7	10.8	4.5	10.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(6)　年齢別

高齢者が37件で最も多く、次いで20～24歳が23件となっている。

全事故に占める割合については、55～59歳の10.1%が最も高くなっている。　**(単位：件・%)**

区分＼年齢		子ども	高校生	その他10歳代	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	高齢者	合計
件数				4	23	12	9	13	17	13	15	19	10	37	172
	構成率(%)	0.0	0.0	2.3	13.4	7.0	5.2	7.6	9.9	7.6	8.7	11.0	5.8	21.5	100.0
全体に占める割合		0.0	0.0	4.2	8.6	6.3	5.1	7.4	10.0	5.5	7.6	10.1	5.0	4.7	6.4

(7)　通行目的別

私用中が111件で県外居住者事故の64.5%を占めており、特に、観光が43件で最も多く、死者数は１人となっている。業務中の事故は46件発生し、26.7%を占め死者数は１人となっている。

(8)　違反別

安全運転義務違反の占める割合が70.9%と高く、うち前方不注意が44件と最も多い。

また、悪質違反のうち一時不停止が15件と最も多い。

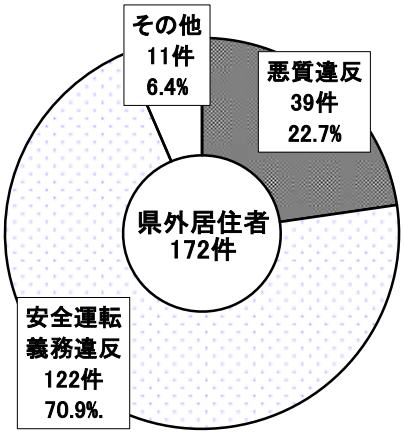
全事故と比較すると、安全運転義務違反の割合が、5.5ポイント高くなっている。

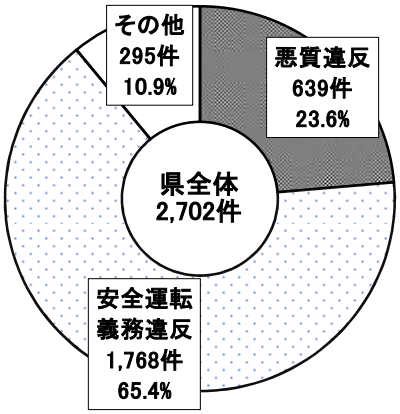
(単位：件・人・%)

通行目的＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
業務		46	26.7	1	55
通勤		15	8.7		17
通学			0.0		
私用	観光	43	25.0	1	60
	ドライブ	11	6.4		12
	散歩		0.0		
	飲食	3	1.7		3
	買物	22	12.8		26
	訪問	9	5.2		10
	帰省	12	7.0		14
	その他	11	6.4		14
	計	111	64.5	1	139
不明			0.0		
合計		172	100.0	2	211

(単位：件・%)

違反＼区分		件数	構成率(%)	違反＼区分		件数	構成率(%)
悪質違反	信号無視	10	5.8	交差点安全進行		5	2.9
	最高速度	2	1.2	徐行違反			0.0
	通区・追越	9	5.2	安全運転義務違反	ハンドル・ブレーキ	16	9.3
	歩行者妨害等	3	1.7		前方不注意	44	25.6
	一時不停止	15	8.7		動静不注視	29	16.9
	酒酔い運転		0.0		安全不確認	26	15.1
	計	39	22.7		安全速度	2	1.2
過労運転			0.0		その他	5	2.9
横断禁止			0.0		計	122	70.9
進路変更禁止			0.0	その他		2	1.2
右・左折		1	0.6	歩行者の違反			0.0
優先通行妨害等		3	1.7	合計		172	100.0





(9) 市町村別

（単位：件・%）

順位	市町村	県外者件数	全件数	割合
1	いわき市	32	643	5.0
2	福島市	21	455	4.6
3	郡山市	15	551	2.7
4	会津若松市	11	136	8.1
5	白河市	11	84	13.1
6	須賀川市	6	116	5.2
7	南相馬市	5	79	6.3
8	伊達市	5	64	7.8
9	相馬市	4	44	9.1
9	喜多方市	4	44	9.1
11	猪苗代町	4	27	14.8
12	国見町	4	10	40.0
12	楢葉町	4	10	40.0
14	西郷村	3	22	13.6
15	新地町	3	9	33.3
16	会津美里町	3	8	37.5
17	南会津町	3	7	42.9
18	二本松市	2	40	5.0
19	会津坂下町	2	15	13.3
20	棚倉町	2	12	16.7
21	泉崎村	2	8	25.0
22	西会津町	2	4	50.0
22	柳津町	2	4	50.0
22	湯川村	2	4	50.0
25	矢祭町	2	3	66.7
26	本宮市	1	47	2.1
27	石川町	1	12	8.3
28	桑折町	1	11	9.1
29	平田村	1	5	20.0
29	天栄村	1	5	20.0

順位	市町村	県外者件数	全件数	割合
31	古殿町	1	3	33.3
31	鮫川村	1	3	33.3
33	下郷町	1	2	50.0
34	田村市		36	0.0
35	矢吹町		24	0.0
36	三春町		20	0.0
37	鏡石町		15	0.0
38	大玉村		14	0.0
39	小野町		9	0.0
40	川俣町		7	0.0
41	富岡町		5	0.0
41	広野町		5	0.0
43	玉川村		4	0.0
43	浪江町		4	0.0
45	磐梯町		3	0.0
45	中島村		3	0.0
47	塙町		2	0.0
47	葛尾村		2	0.0
47	浅川町		2	0.0
50	大熊町		1	0.0
50	金山町		1	0.0
50	川内村		1	0.0
50	飯舘村		1	0.0
50	北塩原村		1	0.0
50	双葉町		1	0.0
50	只見町		1	0.0
57	三島町			−
57	昭和村			−
57	檜枝岐村			−

（注）高速道路で発生した交通事故を除く。

(10) 居住県別

（単位：件・人）

区分 / 都道府県別	本年 件数	構成率(%)	死者	傷者	前年 件数	構成率(%)	死者	傷者
北海道		0.0			2	1.1		3
青森	1	0.6		1	3	1.7		6
岩手	3	1.7		4	4	2.3		5
宮城	46	26.7	1	55	44	25.1		48
秋田	1	0.6		1	1	0.6	1	
山形	8	4.7		11	12	6.9	1	11
東京	16	9.3	1	19	14	8.0	2	14
茨城	31	18.0		38	33	18.9	1	35
栃木	19	11.0		22	15	8.6		19
群馬	6	3.5		6	4	2.3		4
埼玉	5	2.9		8	12	6.9		14
千葉	10	5.8		12	6	3.4		11
神奈川	8	4.7		12	7	4.0		11
新潟	10	5.8		11	9	5.1		10
山梨		0.0			1	0.6		1
長野		0.0			1	0.6		1
静岡	2	1.2		4	1	0.6		1
富山		0.0				0.0		
石川		0.0				0.0		
福井		0.0				0.0		
岐阜	1	0.6		1	1	0.6		1
愛知	1	0.6		2	2	1.1	1	1
滋賀		0.0				0.0		
三重		0.0			1	0.6		1
京都	1	0.6		1		0.0		
大阪	2	1.2		2		0.0		
兵庫	1	0.6		1	1	0.6		1
奈良		0.0				0.0		
和歌山		0.0				0.0		
鳥取		0.0			1	0.6		1
島根		0.0				0.0		
岡山		0.0				0.0		
広島		0.0				0.0		
山口		0.0				0.0		
香川		0.0				0.0		
愛媛		0.0				0.0		
徳島		0.0				0.0		
高知		0.0				0.0		
福岡		0.0				0.0		
佐賀		0.0				0.0		
長崎		0.0				0.0		
熊本		0.0				0.0		
大分		0.0				0.0		
宮崎		0.0				0.0		
鹿児島		0.0				0.0		
沖縄		0.0				0.0		
合計	172	100	2	211	175	100	6	199

18　道路環境等

(1)　道路形状別

交差点での事故（付近も含む）は、1,535件で全事故の56.8%を占めている。

交差点事故を交差点形状で見ると、第１進入路「中」が658件で最も多く、交差点事故の59.4%を占め、第１進入路「小」が235件となっている。

（単位：件・人）

道路形状＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
交差点	大	215	8.0	8	245
	中	658	24.4	8	742
	小	235	8.7	1	264
	付近	427	15.8	2	504
	計	1,535	56.8	19	1,755
単路	トンネル	7	0.3		8
	橋	18	0.7		21
	カーブ・屈折	98	3.6	8	118
	その他	885	32.8	16	1,056
	計	1,008	37.3	24	1,203
踏切		2	0.1	2	1
一般交通の場所		157	5.8	2	173
合計		2,702	100	47	3,132

（単位：件・人）

交差点第1進入路＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
大（13m以上）	交差路 小	19	1.7	3	17
	交差路 中	125	11.3	3	150
	交差路 大	71	6.4	2	78
	計	215	19.4	8	245
中（5.5m以上13m未満）	交差路 小	76	6.9	1	85
	交差路 中	506	45.7	7	573
	交差路 大	76	6.9	0	84
	計	658	59.4	8	742
小（5.5m未満）	交差路 小	54	4.9	0	64
	交差路 中	149	13.4	0	162
	交差路 大	32	2.9	1	38
	計	235	21.2	1	264
合計		1,108	100	17	1,251

(2)　道路線形別

直線での事故は2,420件で全事故の89.6%を占めている。

一方、カーブ・屈折での事故は125件で全事故の4.6%となっている。

勾配でみると、上り坂は78件（全事故の2.9%）、下り坂は129件（全事故の4.8%）、平坦は2,338件（全事故の86.5%）となっている。

（単位：件・人）

道路線形＼区分			件数	構成率(%)	死者
カーブ・屈折	右	上り	9	0.3	0
		下り	17	0.6	1
		平坦	27	1.0	2
	左	上り	10	0.4	2
		下り	18	0.7	2
		平坦	44	1.6	1
	計		125	4.6	8
直線	上り		59	2.2	3
	下り		94	3.5	3
	平坦		2,267	83.9	31
	計		2,420	89.6	37
一般交通の場所			157	5.8	2
合計			2,702	100.0	47

(3)　地形別

（単位：件・人）

市街地での事故が1,827件で、全事故の67.6%を占めている。

死者数は市街地23人・非市街地24人とほぼ同数である。

地形＼区分		件数	構成率(%)	死者	傷者
市街地	人口集中地区	963	35.6	11	1,100
	その他	864	32.0	12	1,006
	計	1,827	67.6	23	2,106
非市街地		875	32.4	24	1,026
合計		2,702	100	47	3,132

（注）　市街地：道路に沿っておおむね５００メートル以上にわたって、住宅、事業所又は工場等の建造物が連立し、又はこれらが混在して連立している状態であって、その地域における建造物及び敷地の占める割合が８０パーセント以上になる、いわゆる市街地的形態をなしている地域。

(4)　道路幅員別

交差点「中」の道路での事故が658件で最も多く、全事故の24.4%を占めている。

（単位：件・人）

区分＼幅員		3.5m未満	3.5m以上	5.5m以上	9.0m以上	13.0m以上	19.5m以上	交差点 小	交差点 中	交差点 大	その他	合計
件数		29	100	627	357	268	56	235	658	215	157	2,702
	構成率(%)	1.1	3.7	23.2	13.2	9.9	2.1	8.7	24.4	8.0	5.8	100
死者		2	3	13	3	5	2	1	8	8	2	47
傷者		30	112	749	433	323	61	264	742	245	173	3,132

(5)　道路状態別

乾燥した舗装路での発生が2,161件で最も多く、全事故の80.0%を占めている。　（単位：件・人）

地形＼路面状態		舗装 乾燥	舗装 湿潤	舗装 凍結	舗装 積雪	計	非舗装	合計
件数		2,161	396	107	36	2,700	2	2,702
	構成率(%)	80.0	14.7	4.0	1.3	99.9	0.1	100.0
死者		39	7	1		47		47
傷者		2,512	451	128	39	3,130	2	3,132

(6)　中央分離施設別

中央線がペイントされた道路での発生が1,273件で最も多く、全事故の47.1%を占めている。

（単位：件・人）

地形＼施設		中央分離帯	中央線 高輝度標示	中央線 チャッターバー等	中央線 ポストコーン	中央線 ペイント	計	中央分離帯なし	その他	合計
件数		309	1	46	13	1,273	1,333	903	157	2,702
	構成率(%)	11.4	0.0	1.7	0.5	47.1	49.3	33.4	5.8	100.0
死者		2	0	1	0	19	20	23	2	47
傷者		379	1	54	16	1,476	1,547	1,033	173	3,132

19　その他

(1)　特殊事故

特殊事故は496件で、全事故の18.4%を占め、約６件に１件の割合で発生している。

件数が多いのは次のとおりで

・多重衝突331件

全事故の　8.2件に１件

・スリップ88件

全事故の　30.7件に１件

・ひき逃げ54件

全事故の　50.0件に１件

の割合で発生している。

（単位：件・人）

区分 / 特殊事故			件数	構成率(%)	死者	傷者
事故内容	共同危険行為			0.0		
	暴走行為			0.0		
	ひき逃げ		54	2.0	2	62
	無申告		14	0.5		16
	多重衝突		331	12.3	12	483
	左折巻込み			0.0		
	荷崩れ			0.0		
	自然発車		1	0.0		1
	ドア開閉			0.0		
	車両火災		2	0.1	2	
	スリップ事故		88	3.3	1	100
当事者内容	薬物影響		1	0.0		1
	発作・急病	てんかん	1	0.0		1
		心臓マヒ		0.0		
		脳血管	1	0.0		2
		その他	2	0.1		2
	身障者		1	0.0		1
	緊急用務自動車			0.0		
合計			496	18.4	17	669

（注）１　表中の構成率は全事故に占める割合

２　他の項目と重複するものがあるため、合計欄は延べ件数となっている。

(2)　天候別

晴天時（雲量が80%未満）の事故が、1,507件で全事故の55.8%を占め最も多く、次いで曇天時（雲量が80%以上）の事故が790件となっており、合わせると全事故の85.0%を占めている。

（単位：件・人）

区分 / 天候	晴	曇	雨	霧	雪	合計
件数	1,507	790	292	2	111	2,702
構成率(%)	55.8	29.2	10.8	0.1	4.1	100.0
死者	29	12	6			47
傷者	1,748	918	332	2	132	3,132

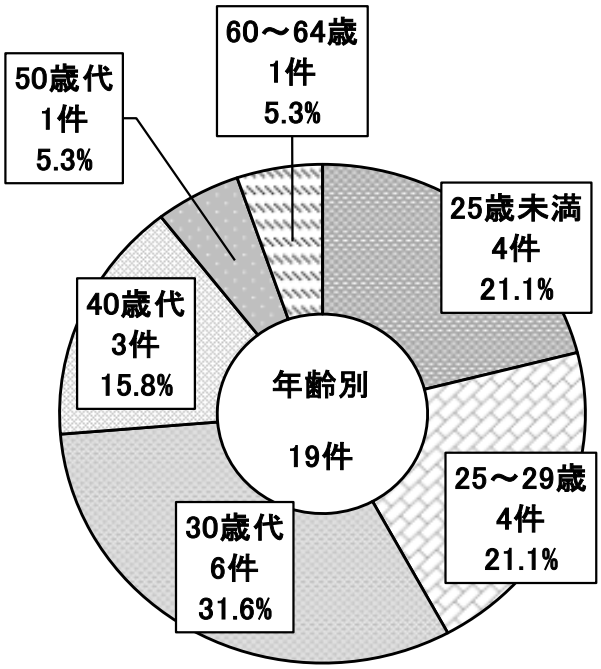
(3)　携帯電話使用中の事故

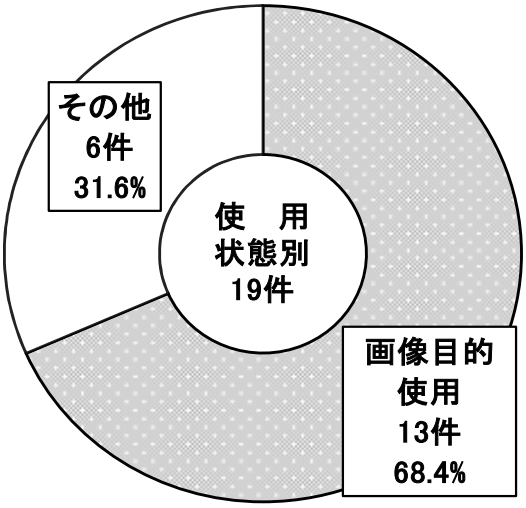
携帯電話使用中の事故は19件発生し、死者は０人、傷者は29人となっている。

事故類型別にみると、追突が14件で最も多く、73.7%を占め、全事故に占める追突事故の割合の約2.2倍となっている。

（単位：件）

区分＼態様		携帯電話使用中事故		全事故	
			構成率(%)		構成率(%)
人対車両		2	10.5	345	12.8
車両相互	追突	14	73.7	910	33.7
	出会い頭	1	5.3	755	27.9
	正面衝突	2	10.5	106	3.9
	その他		0.0	533	19.7
車両単独			0.0	51	1.9
列車			0.0	2	0.1
合計		19	100.0	2,702	100.0





年齢別にみると、30歳代が６件で最も多く31.6%、次いで25歳未満、25～29歳が４件となっている。事故直前の使用状況は、画像目的使用13件、その他が６件となっている。